Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

© 2026 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2026 年 11 月 8 日

目次

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose 7
Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster ライセンスのアクティベート 7
Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster でジョブを開く 8
Fiery Impose、Fiery Compose および Fiery JobMaster でジョブグループを開く 8
新規ジョブの追加 9
ページまたはイメージファイルの挿入 9
セッション間で保存されるユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容 9
Fiery Impose および Fiery JobMaster の環境設定 10
ユーザー環境設定について 10
PS を PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定の選択 13
デフォルトの拡大縮小値 13
フィニッシャーのデフォルトのデバイスプロファイルを設定する 15
章開始の自動追加 15
ユーザー定義面付けテンプレートの場所の変更 16
スキャンコンテンツの確認 16
シートの選択 17
PS から PDF に変換 17
macOS での PS から PDF への変換 17

Fiery Impose 19
Fiery Impose へのアクセス 19
スプール済みまたは待機ジョブにする 19
Command WorkStation から Fiery Impose にアクセスするには 20
ジョブのプロパティから Fiery Impose にアクセスするには 20
面付けレイアウト 20
面付けレイアウトについて 21
Fiery Impose および Fiery Compose または Fiery JobMaster での Adobe PDF Print Engine の処理 22
製本方法 23
クリープ 24
ブランクページを挿入してレイアウトを調整するには 25
面付けするジョブのプレビュー 25
シート寸法の表示と測定 26
面付けされたジョブのシートを表示するには 26
ジョブの面付け 26
面付けテンプレート 27

ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート 27
面付けテンプレートの適用 29
面付けされたジョブを保存するには 30
面付けテンプレートリファレンス 31
Fiery Impose でのギャングアップ印刷 39
上辺とじのギャングアップ 41
動的トリムボックスの自動化 42
ギャングアップ反復に合わせる 43
Fiery Impose でのギャングアップ設定の指定 45
Fiery Impose でのギャングアップ方法の設定 47
ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ 47
ギャングアップの行と列のレイアウト設定を指定する 48
VDP ジョブでのギャングアップ面付け方法 49
面付け設定 51
製品インテントワークフローの選択 51
Fiery Impose の仕上がりサイズオプション 52
Fiery Impose でのシートサイズの設定 53
Fiery Impose での両面設定 53
Fiery Impose における拡大縮小設定 54
拡大縮小設定の指定 54
表紙の用紙の設定 55
レイアウト方向の設定 55
Fiery Impose でのワークフローごとのブリード 56
ブリードの設定 56
レイアウトのオフセット 56
マージンを設定する 57
Fiery Impose でページマークを設定するには 57
Fiery Impose でのブックレット設定の指定 62
ブックレット用のとじ設定の指定 63
ブックレットの製品インテントで行と列を指定する 63
辺とじオプションに使用できるスタイル 64
クリープ設定の指定 64
向きが混在する面付けジョブでの自動ページ回転 64
Fiery Impose での手動によるページの変更 65
ページの回転 66
ジョブを開いて Acrobat で編集する 66
ページの順序の変更 66
手動によるブランクページの挿入 66

ページの削除 66
Fiery Impose の VDP 67
VDP ジョブを開く/プレビューするには 67
バリアブルデータ印刷ジョブの面付け 68
VDP ジョブのコントロールストリップの印刷 68
VDP 面付けのブックレット、拡大縮小、またはブリードの指定 68
VDP 面付けでのギャングアップ設定 70
多機能仕上げデバイスとの統合 72
レジストレーションマークおよびバーコードの設定 72
フィニッシャープリセットの適用 72
フィニッシャープリセットの作成 75

Fiery Compose 86
Fiery Compose を使用する前にジョブオプションを設定するには 86
Fiery Compose でジョブを開いて表示する 86
Fiery Compose でジョブを開く 87
Fiery Compose でシート表示をサムネイルまたはフルページに設定するには 87
サムネイルのサイズを調整するには 88
Fiery Compose でのページの操作 88
ジョブを開いて Acrobat で編集する 88
Fiery Compose でページの順序変更、削除、または両面印刷の設定を行うには 88
Fiery Compose でブランクシートまたはブランクページを挿入するには 89
Fiery Compose で用紙をページに指定する 89
グレースケールに変換 89
Fiery Compose で章開始を操作する 90
Fiery Compose でタブを設定するには 90
Fiery Compose でタブテキストやその他のプロパティを設定するには 91
表紙の設定 91
Fiery Compose でのサブセット仕上げ 91
Fiery Compose でセット定義を指定するには 92
Fiery Compose でサブセット仕上げを適用するには 92
Fiery Compose で Z 折り用のサブセット仕上げを指定するには 93
Fiery Compose でのジョブの保存 93

Fiery JobMaster 95
Fiery JobMaster のジョブ概要 95
ジョブ概要ペインでページをフィルタリングするには 96
ページ範囲選択 97

ページの内容のシフト 98
コンテンツの拡大縮小ウィンドウを開く 98
コンテンツの拡大縮小ウィンドウのページレベル オプション 99
Fiery JobMaster への画像ファイルの挿入 100
Fiery JobMaster でのスキャンの編集 101
Fiery JobMaster でのページの編集 101
ページ編集ワークフロー 102
NCR マルチパートパッド印刷のワークフロー 106
高度なページ番号とスタンプ 107
高度なページ番号のワークスペース 108
ページ範囲を追加する 109
ページ範囲を編集する 110
高度なページ番号オプションの設定 110
画像スタンプの追加 112
スタンプのサイズと位置の変更 113
スタンプのプリントオプションの設定 113
スタンプの背景色の設定と背景色の不透明度の調整 113
選択ボックス内に合わせた画像スタンプの調整とスタンプの不透明度の調整 113
タブを追加する 114
Fiery JobMaster でのタブの挿入と編集 115
複数のタブスタイルを書類に追加するには 116
Fiery JobMaster のブリードエッジタブ 117
ブリードエッジタブの内容の設定 118
ブリードエッジタブの位置の指定 119
画像編集 119

トラブルシューティング Fiery Impose、Fiery Compose および Fiery JobMaster 121

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

Fiery Makeready ソリューションでは、手間のかかるシートまたはページごとの書類作成作業を、1 画面で行います。

Fiery Makeready ソリューションは、次のライセンス済みアプリケーションで構成されています。

- Fiery Impose では、カスタムの印刷、綴じ、トリミング用のジョブに面付けレイアウトを適用します。Fiery Impose も、面付けをバリアブルデータジョブに適用し、面付け済みジョブを PDF ファイルとして保存します。
- Fiery Compose を使用すると、ジョブの章分けを定義したり、ページの範囲を異なる用紙に印刷したり、ページ間にブランク用紙を挿入したり、(プリンターでタブ印刷がサポートされている場合は) テキストラベルを印刷したインデックス紙を挿入したりすることができます。
- Fiery JobMaster は、PDF ベースの高度なジョブの印刷準備ツールで、スキャン、タブの作成や挿入、ページ番号付け、章作成、および後期編集ができます。これには、Fiery Compose のすべての機能が含まれています。

さらに、次の統合ツールは、Fiery Command WorkStation の標準機能です。

- Fiery Preview はジョブのプレビューを表示します。ユーザーは、処理前に、ジョブの各シートのソフト校正を行うことができます。この視覚的インターフェイスは、印刷する文書の準備中に変更があった場合、すぐにその変更を表示します。

Adobe Acrobat は Fiery Impose、Fiery Compose、Fiery JobMaster と互換性がありますが、別途ライセンスが必要です。

Fiery Makeready ソリューションは、Windows と Mac 両方のコンピューターでサポートされています。システムの要件については、取扱説明書の一部である『設定管理』を参照してください。

Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster ライセンスのアクティベート

Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster ライセンスをアクティベートするには、ライセンスアクティベーションコード (LAC) が必要です。使用するコンピューターがインターネットに接続されている場合は、ライセンスは自動的にアクティベートされ、インターネットに接続されていない場合は手動でアクティベートできます。

PDF/VT ジョブ処理は、Fiery システムソフトウェア FS600/600 Pro 以降を実行している Fiery サーバーに有効な Fiery Impose LAC が存在する場合、ユーザー定義の仕上がりサイズおよびトリムボックスに合わせるワークフローでサポートされます。

Fiery システムソフトウェア FS700/700 Pro 以降を実行している Fiery サーバーでは、フィニッシャープリセットの PDF/VT ジョブへの適用がサポートされています。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

メモ：Fiery Compose から Fiery JobMaster にアップグレードするには 、まず Fiery Compose ライセンスをアクティベートしてから、Fiery JobMaster アップグレードライセンスをアクティベートする必要があります。Fiery JobMaster にアップグレードした後は、Fiery Compose をアクティベート解除しないでください 。Fiery Compose をアクティベート解除し、Fiery JobMaster を使用しようとすると、Fiery Compose ライセンスの再アクティベートを求めるメッセージが表示されます。

1 Command WorkStation でジョブを右クリックして、**面付け**、**作成**または **JobMaster** を選択します。

2 オプションをアクティブにするかどうか尋ねられたら、**はい**をクリックします。

3 詳細については『Fiery Client SW License のヘルプ』を確認してください。ライセンスアクティベーションページの右上にある？（ヘルプ）アイコンをクリックすると確認できます。

Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster でジョブを開く

ライセンスをアクティベートすると、Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster でスプール済みまたは待機ジョブを開くことができます。

メモ：ジョブを Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster で開く場合は、**ジョブのプロパティ**で同じジョブを開かないでください。

1 Command WorkStation の**待機**リストから PostScript または Adobe PDF のジョブを選択します。

Fiery システムソフトウェアバージョン FS200 を実行している Fiery サーバー上で処理済みジョブを操作する場合は、**ラスターデータ除去**を選択してから、ジョブを右クリックして、Fiery Impose、Fiery Compose または Fiery JobMaster を選択する必要があります。比較的最近のバージョンの Fiery システムソフトウェアでは、**ラスターデータ除去**の選択は不要です。ラスター除去後は、印刷の前にジョブの再処理が必要になります。ジョブの再処理が不要な場合は、**アクション** > **プレビュー**を選択すると、ジョブがラスター**プレビュー**ウィンドウで開かれます。

2 **アクション**メニューで、 **Impose**、**Compose** または **JobMaster** を選択します。

ジョブを右クリックして、 **Impose**、**Compose** または **JobMaster** を選択することもできます。

複数ページある書類の 1 ページを選択するには、**Option キー**（macOS の場合）または **Alt キー**（Windows の場合）を押しながら**シート表示**ウィンドウのページをクリックすると、同じページが**ページ表示**ウィンドウでも選択されます。

たとえば、Fiery JobMaster をアクティベートしている場合は、スキャンの読み込み、編集、ジョブへの配置、ページの編集、ページ番号の追加、タブの挿入、タブとタブテキストの編集が可能になります。

Fiery Impose、Fiery Compose および Fiery JobMaster でジョブグループを開く

ライセンスをアクティベートすると、 ジョブグループを開くときに Fiery Impose、Fiery Compose または Fiery JobMaster を使用することもできるようになります。

メモ：Fiery Impose、Fiery Compose および Fiery JobMaster では、PDF グループのみがサポートされています。

ジョブグループ作成の詳細情報については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

1 PDF グループを右クリックします。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

2 アクションメニューで、**Impose**、**Compose** または **JobMaster** を選択します。
ジョブを右クリックして、**Impose**、**Compose** または **JobMaster** を選択することもできます。

新規ジョブの追加

Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster でまったく新しいジョブを作成することができます。

新しいジョブを作成するには、使用するコンピューターに、Fiery Impose、Fiery Compose、または Fiery JobMaster のライセンスが必要です。Fiery Impose デモバージョンで新しいジョブを作成することはできません。

たとえば、Fiery JobMaster では、タブやスキャンジョブなど、すべてのジョブを作成できます。これは、Fiery サーバーにまだデジタルコンテンツがない場合に役立ちます。

1 **新規ジョブ**アイコンを Command WorkStation ツールバーでクリックするか、**ファイル**メニューから選択します。
コンピューターでアクティベートされているライセンスに応じて、新しいジョブが Fiery Impose、Fiery Compose または Fiery JobMaster で開きます。

2 必要に応じて設定を適用します。

3 必要に応じて、既存のジョブからページを挿入します。
ページはソース PDF 書類からのみ挿入できます。挿入タブとして以前にそのジョブに追加されたページは挿入できません。

ページまたはイメージファイルの挿入

Fiery サーバーまたはご使用のコンピューターで、ジョブからページを挿入することができます。Fiery JobMaster では、画像ファイルの挿入、スキャナーからのページの挿入を実行できます。

1 ファイルを挿入するには、次のいずれかの操作を行います。

- **アクション** > **PDF または PS ファイルの挿入**の順にクリックします。
- **アクション** > **タブ挿入**をクリックします。
- Fiery JobMaster で、**挿入**メニューから**画像ファイルを挿入**または**スキャナーから挿入**を選択します。

2 次のいずれかを行います。

- ファイルの保存場所を参照し、**開く**をクリックします。
- サーバージョブの場合は、リスト内のファイルをクリックし、**OK** をクリックします。

3 次のいずれかを行います。

- **ページの挿入**ウィンドウの横で、新規ページを挿入する場所を選択します。ジョブの最初、ジョブの最後、ページの後、またはページの前を選択し、**挿入**をクリックします。
- 特定のページを挿入するには、そのページを**ページ表示**ペインにドラッグし、適切な順序で配置します。

セッション間で保存されるユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容

システムでは、ユーザーインターフェイスのカスタマイズ内容が、Fiery Impose、Fiery JobMaster、Fiery Composeの各製品インテント、およびラスタープレビューに別々に保存されます。

こうした製品インテントのそれぞれで、ユーザーインターフェイスカスタマイズ内容がセッション間で保存されます。同じ製品インテントで新規セッションを開くと、前のセッションのカスタマイズ内容（次に示すもの）が復元されます。

- メインウィンドウの位置とサイズ
- ウィンドウ内でのユーザーインターフェイス設定（次に示すもの）
  - **ページ表示**、**シート表示**、（Fiery JobMaster の場合は）**ジョブ概要**ウィンドウのサイズ
  - 折りたたみ可能なウィンドウの展開または折りたたみ状態：**ページ表示**、**シート表示**、（Fiery JobMaster の場合は）**ジョブ概要**ウィンドウ
  - **ページ表示**サムネイルと**シート表示**ページのズームレベル

メモ：システムでは、最初の製品インテントに対するカスタマイズ内容を保存します。Fiery JobMaster、Fiery Impose または Fiery Compose を閉じると、復元する設定はその製品インテントに保存され、次回その製品インテントを開いたときに適用されます。カスタマイズ内容は、たとえばギャングアップ（Impose モード）と Compose との切り替えなど、製品インテントを切り替えたときには適用されません。ある製品インテント（たとえば、Compose）に対して保存されたカスタマイズ内容は、別の製品インテント（たとえば、Impose）を次に起動したときには適用されません。代わりに、適用される Impose のカスタマイズ内容は、Impose を前回閉じたときのものになります。

ラスタープレビューを開くと、画像領域はサイズに合わせて拡大縮小されます。ラスタープレビューモードでの持続的な設定は次のとおりです。

- メインウィンドウのサイズと位置
- ウィンドウの最大化または復元状態
- **ページ表示**サムネイルの折りたたみまたは展開状態、ズームレベル、ペインサイズ

Fiery Impose および Fiery JobMaster の環境設定

環境設定を使用すると、一時ファイルのパス、PostScript から PDF への変換用のデフォルト設定、拡大縮小、面付け済みジョブのデフォルト仕上がりサイズなどを設定できます。

Windows では、Fiery Impose および Fiery JobMaster の環境設定を**編集** > **環境設定**で行います。macOS の場合、環境設定は Fiery Impose または Fiery JobMaster ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

Mac コンピューターでダークモードを使用するには、Fiery Command WorkStation の環境設定で設定します。ダークモードの詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

ユーザー環境設定について

ユーザー環境設定を選択するには、**編集** > **環境設定**を選択します。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

一般で、以下のいずれかの操作を行います。

- PS を PDF に変換するためのデフォルト設定を選択します。
- Fiery Command WorkStation でマルチタスクを許可します。

面付けで次のいずれかの操作を行います。

- 面付けジョブ用のデフォルト仕上がりサイズを選択します。
- 面付けジョブ用のデフォルト拡大縮小単位を選択します。
- 面付けテンプレートパスを指定します。

JobMaster で、次のいずれかの操作を行います。

- ページ表示に投入されているファイルに章開始を追加するかどうかを指定
- PDF 書類でスキャンした内容をチェックするかどうかを指定
- スキャンした内容のメッセージを表示するかどうかを指定
- Fiery JobMaster で画像を編集するために使用されるデフォルトのアプリケーションを指定

フィニッシャーで、次のいずれかの操作を行います。

- フィニッシャープリセットを適用、作成および公開できるフィニッシャー統合ワークフローを有効にするには、**フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択します。

  フィニッシャー統合を許可を選択すると、次の設定が有効になります。

  - **アクション**メニューの**フィニッシャープリセットの適用**オプション。
  - **設定**ウィンドウの**フィニッシャープリセット**ボタン。

  次の点に注意してください。

  - フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。
  - **フィニッシャー統合を許可**は、レジストレーションマークおよびバーコードの設定のみをサポートしている仕上げデバイスには適用されません。
  - 折り目、ミシン目、折りレイアウト設定などのフィニッシャープリセット、およびサポート対象の Duplo フィニッシャーとの双方向通信は、.ffp 形式で保存された FreeForm Create 2.0 以降のジョブを含む PDF/VT ジョブに適用できます。従来の FreeForm Create .ffc ジョブはサポート対象外です。PDF/VT および.ffp ジョブのレジストレーションマークとバーコードのサポートに変更はありません。

- **デバイス選択** - リストから、仕上げデバイスを選択します。

  選択した仕上げデバイスに応じて、次のタスクを 1 つまたは組み合わせて実行できます。

  - レジストレーションマークおよびバーコードの設定（61 ページ）
  - フィニッシャープリセットの適用（72 ページ）
  - フィニッシャープリセットの作成（75 ページ）

  メモ：タスクはデバイスに依存しており、選択した仕上げデバイスでサポートされている場合にのみこれらのタスクを実行できます。

  フィニッシャータブで設定を指定した後、アプリケーションを再起動して変更を適用します。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

フィニッシャーを選択した場合は、次の追加設定を指定します。

- **PC コントローラーパス** - Duplo コントローラーコンピューターのインストールフォルダーへのパス。Fiery サーバーと Duplo PC コントローラーソフトウェアを搭載したコンピューターの間の接続をテストする場合は、**テスト**をクリックします。
- 利用可能なフィニッシャーモジュールセクションでは、フィニッシャーに応じて、次のいずれかを選択できます。

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目、および横方向縦スジをサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目をサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-648
CRM	上折り目モジュール（CRM）を使用すると、標準の下折り目（谷折り）に加えて、シートの水平方向に上折り目（山折り）をつけることができます。	• Duplo DC-648
OSM	オプションのスリッターモジュール（OSM）を使用すると、標準のスリッターモジュールと合わせて、1 シートあたり最大 8 スリットを作成できます。	• Duplo DC-648
PFM	PFM（ミシン目モジュール－縦方向）モジュールでは、給紙辺に対して垂直方向でミシン目を入れます。ジョブで縦方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの PFM モジュールが使用可能である必要があります。 縦方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
RTM	ロータリーツールモジュール（RTM）は、印刷された出力の右側と左側で一度に 2 つのミシン目を入れることができる高度な縦方向ミシン目ユニットです。1 つのフィニッシャーに最大 2 つの RTM をインストールできます。	• Duplo DC-618 • Duplo DC-648

- **バーコード範囲** - 最小および最大のバーコード範囲。

キャッシュで、以下のいずれかの操作を行います:

- **キャッシュを有効にする** を選択して、 Command WorkStation が情報をローカルに保存できるようにします。
- キャッシュパスを指定します。

PS を PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定の選択

Windows の場合、PostScript ファイルを PDF に変換するための Adobe Acrobat Distiller 設定を選択するには、**編集** > **環境設定** > **一般**を選択します。macOS の場合、環境設定は Fiery Impose または Fiery JobMaster ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

サーバー変換を使用（サポートされている場合）を選択すると、Fiery サーバーは、ユーザーのコンピューター上ではなく、サーバー上でジョブ変換を行います。また、使用する PDF 設定を選択することもできます。**デフォルトサーバー設定を使用する**を選択して、Fiery サーバーのデフォルトのプロファイルを使用します。

選択したジョブオプションファイルを使用を選択すると、ユーザーが任意のプロファイルを参照してアップロードすることができます。多くの場合、サーバー変換は、ファイルをクライアントコンピューターにダウンロードして変換して後でそのファイルを Fiery server に再アップロードするよりも高速です。ただし、このオプションは以下のような場合はお勧めできません。

- 変換に必要なライセンス許諾を受けたフォントがそのユーザーのコンピューターにしかインストールされていない。
- 新バージョンの Acrobat がリリースされている場合、Acrobat の新機能をサポートするには、新バージョンで変換を実行しなければならない。
- Fiery サーバーのリソースをファイル変換ではなく、処理のためだけに割り当てたい。
- ユーザーは、サーバーサイドの変換をサポートしない旧バージョンの Fiery サーバーに接続している。

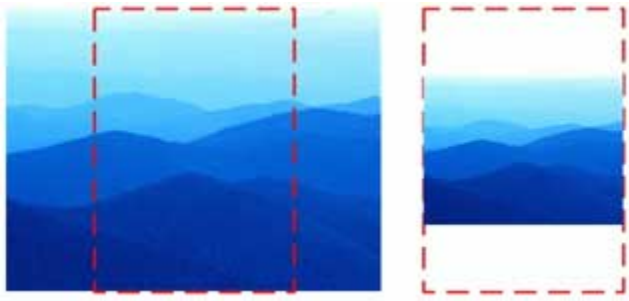
デフォルトの拡大縮小値

クロップボックスに合わせる仕上がりサイズでは、**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**で、**拡大縮小しない**または**用紙サイズにあわせる**のどちらかを選択できます。

ユーザー定義仕上がりサイズでは、**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**で、次の任意の設定を選択できます。

- **拡大縮小しない（100%）**
- **均等に仕上がりサイズに合わせる**
- **均等に仕上がりサイズをフィル**
- **均等にブリードサイズに合わせる**
- **均等にブリードサイズをフィル**

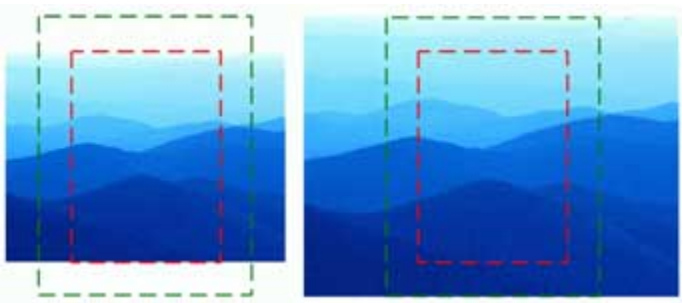
この図では、赤い破線が仕上がりサイズを、緑の破線がブリードサイズを表しています。



① ②

1 塗り

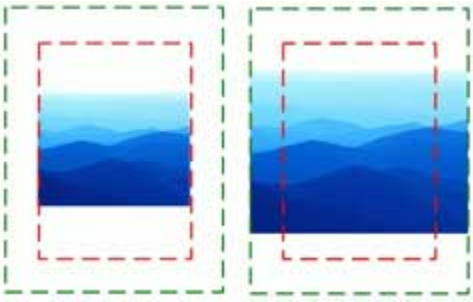
2 適合



① ②

1 仕上がりサイズをフィル

2 ブリードサイズをフィル



① ②

1 仕上がりサイズに合わせる

2 ブリードサイズに合わせる

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

面付けの拡大縮小と仕上がりサイズを設定するには

環境設定 > **Impose** の**面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**では、Fiery Impose 起動時のデフォルト拡大縮小率を設定します。**仕上がりサイズ**は PDF のクロップボックスまたはトリムボックスの設定に基づいています。

1 **仕上がりサイズ**では、**クロップボックスに合わせる**または**ユーザー定義**をクリックします。

- **クロップボックスに合わせる**は、デフォルトで従来からの Fiery Impose ワークフローであり、PDF クロップボックスとの依存関係があります。
- **ユーザー定義**を使用すると、Impose によるトリムボックス設定（書類内に提示されている場合）の検出とそれらの設定のデフォルト仕上がりサイズとしての使用が可能になります。この設定には、書類サイズやクロップボックスとの依存関係はありません。

2 **面付けジョブのデフォルト拡大縮小値**では、デフォルトの拡大縮小値（13 ページ）に記載の拡大縮小設定を選択します。

フィニッシャーのデフォルトのデバイスプロファイルを設定する

フィニッシャーデバイスプロファイルを選択して、デフォルトバーコード形式とレジストレーションマークタイプを定義することができます。

3 桁のバーコードをサポートしている Duplo フィニッシャーでは、プログラム可能なジョブ数が 250 まで拡大されます。プログラム可能なジョブとは、ギャングアップレイアウトに基づくカスタマイズされた裁断、スリット、折りのプログラムです。

メモ：3 桁のバーコード用に設定されたフィニッシャーは、1～99 の範囲を 01～99 ではなく 001～099 として受け入れます。

1 Windows では、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Fiery Impose** または **Fiery JobMaster** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。

2 左側の列にある**フィニッシャー**タブをクリックします。

3 **フィニッシャー設定**セクションで、**デバイスの選択**リストからフィニッシャーのプロファイルを選択します。

メモ：バーコード形式を変更しても、以前に保存されたジョブや Impose テンプレートは影響を受けません。

章開始の自動追加

Fiery JobMaster にファイルをドラッグアンドドロップすると、章開始を追加できます。また、環境設定を章開始が追加されないように設定することもできます。

追加対象のファイルを **Fiery JobMaster** ウィンドウの**ページ表示**にドラッグすると、そのファイルの開始ページに章開始が自動的に追加されます。複数の PDF ファイルを挿入した場合は、各 PDF ファイルの開始ページに章開始が追加されます。

メモ：章開始を追加しない場合は、**挿入**メニューを使用してファイルを挿入します。

メモ：Windows で、章開始が追加されないように環境設定を設定するには、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Fiery Impose** または **Fiery JobMaster** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。ウィンドウで、左側の列にある **JobMaster** を選択します。**章開始**で**ページ表示にファイルをドラッグする際に章開始を追加**の横にあるボックスのチェックを外します。

ユーザー定義面付けテンプレートの場所の変更

Fiery Impose がユーザーによって作成された面付けテンプレートを格納する場所を変更できます。

Fiery Impose が（Fiery Impose を閉じて開き直した後に）ユーザーによって作成された面付けテンプレートを読み込む場所や、ユーザーが保存したときにテンプレートが格納される場所を管理します。

メモ：ストックされているテンプレートは非表示にできません。これは常に表示されます。

1. Windows では、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Fiery Impose** または **Fiery JobMaster** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。
2. 左側の列から、**Impose** を選択します。
3. **参照**をクリックし、適切なフォルダーに移動します。
4. **フォルダー選択**をクリックします。

スキャンコンテンツの確認

デフォルトでは、PDF 書類を Fiery JobMaster に挿入する際、その書類のスキャンコンテンツの有無が確認されます。

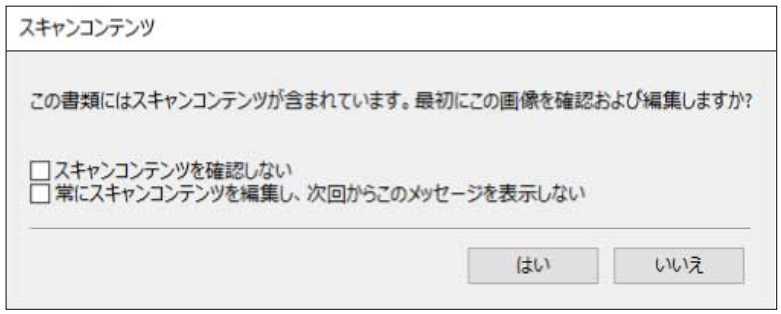
挿入された PDF 書類にスキャンコンテンツが含まれていて、スキャンコンテンツを確認するための環境設定が有効になっている場合、スキャン画像を確認して編集するかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。スキャン画像を含むページのみが編集用に表示されます。ただし、スキャンコンテンツの確認とスキャンコンテンツに関するメッセージ表示はどちらも、環境設定でオフにできます。

メモ：ページ表示に書類をドラッグアンドドロップした場合、Fiery JobMaster は、その書類のスキャンコンテンツを確認しません。

1. Windows では、**編集** > **環境設定**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Fiery Impose** または **Fiery JobMaster** ウィンドウの **Fiery Command WorkStation** メニューにあります。
2. 左側の列から **JobMaster** を選択します。
3. **挿入した PDF 書類のスキャンコンテンツを確認**チェックボックスにチェックを入れます。
4. **スキャンした内容のメッセージを表示する**チェックボックスのチェックを外します。

挿入した PDF 書類のスキャンコンテンツを確認チェックボックスからチェックが外れている場合は、**メッセージを表示**の設定に関係なく、スキャンコンテンツメッセージが表示されません。Fiery Impose にはスキャンコンテンツが存在することがわからないためです。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose



シートの選択

シート表示のシート範囲編集ボックスでは、シート番号を入力して特定のシートに移動することができます。

PS から PDF に変換

Fiery Impose、Fiery Compose、Fiery JobMaster、または Fiery Preview のネイティブ形式は PDF です。このアプリケーションのいずれかで PostScript ファイルを開いた場合、**PS を PDF に変換**を使用すると、その他のアクションが実行される前に、ジョブが PDF に変換されます。開いた PostScript ジョブを保存すると、その保存したジョブの PDL が待機リストに PDF として表示されます。

PS を PDF に変換オプションをオンにするには、**環境設定**の**一般**タブに移動します。**PS を PDF に変換**を選択します。

サーバー変換を使用（サポートされている場合）が選択されているときは、**デフォルトサーバー設定を使用**または**選択した joboptions ファイルを使用**を選択できます。

メモ：Fiery Makeready ワークフロー内では、Adobe Distiller を使用して PostScript ファイルを PDF ファイルに変換できます。変換に Fiery サーバーを使用するデフォルトのオプションも引き続き利用可能です。

選択した joboptions ファイルを使用を選択した場合、**参照**をクリックすると、使用可能なファイルが表示されます。Adobe Distiller がクライアントにインストールされている場合は、Adobe Distiller ジョブオプションフォルダーにインストールされている任意のジョブオプションを選択できます。

macOS での PS から PDF への変換

Acrobat Distiller にアクセスして PS ファイルを PDF に変換する権限を Command WorkStation に付与する必要があります。

Fiery Impose、Fiery Compose または Fiery JobMaster で初めて PS ファイルを開く場合は、ウィンドウで**許可**をクリックして、Acrobat Distiller で変換できるようにする権限を Command WorkStation に付与します。

許可を拒否すると、現在および今後の変換が失敗となります。変換を有効にするには、**セキュリティ & プライバシー**ウィンドウで変更する必要があります。

1 Fiery アプリケーションをすべて終了します。

2 Adobe Acrobat Distiller を終了します。

3 **システム環境設定** > **セキュリティとプライバシー** > **プライバシー** > **オートメーション**に移動します。

4 左下隅のロックアイコンをクリックし、パスワードを入力します。

Fiery JobMaster-Fiery Impose-Fiery Compose

5 アプリケーションリストで、Fiery Command WorkStation.app を探します。

6 Acrobat Distiller.app を選択して、Command WorkStation で Acrobat Distiller にアクセスできるようにします。

Fiery Impose

Fiery Impose では、印刷およびとじの特殊なニーズに対応する面付けレイアウトを適用できます。Fiery Impose を使用する際には、バリアブルデータ印刷ジョブの面付けも実行できます。一般的な面付けするための事前定義されたレイアウトを使用したり、カスタムレイアウトを作成したりできます。

Fiery Impose で、次のいずれかの操作を行うことができます。

- 1 枚のシートへの複数ページの配置
- シート上にレイアウトする行および列の数の指定
- シート上でのページ配置の設定
- 折りやカットなどの位置の印刷マークでの定義

メモ：Fiery JobMaster のライセンスを持っている場合は、同じワークフロー内のジョブに高度なジョブ準備タスクを適用することもできます。

Fiery Impose ライセンス

Fiery Impose の全機能を使用するには、クライアントコンピューターの Fiery Impose ライセンスがアクティベートされている必要があります。アクティベート済みライセンスがない場合、Fiery Impose は**デモ**モードで実行されます。このモードには次の機能があります。

- 印刷ジョブにウォーターマークが適用される
- 面付けされたジョブを.dbp 形式で Fiery サーバーに保存できる

Fiery Impose へのアクセス

Fiery Impose には、Command WorkStation から直接アクセスすることも、選択したジョブの**ジョブのプロパティ**ウィンドウからアクセスすることもできます。

メモ：PostScript、Adobe PDF（ポータブルドキュメントフォーマット）または VDP ファイルを開くことはできますが、スプール状態になっている必要があります。

スプール済みまたは待機ジョブにする

ジョブを Fiery Impose で開くには、そのジョブをスプール済みもしくは待機状態にする必要があります。

- 次のいずれかを行います。
  - 処理済みジョブまたは待機ジョブの場合は、**待機**リストからジョブを選択します。

    処理済みまたは待機ジョブを選択し、**アクション** > **プレビュー**を選択すると、ジョブは**ラスタープレビュー**ウィンドウで開きます。
  - 印刷済みジョブの場合は、**印刷済み**リストでジョブを選択し、**アクション** > **待機**をクリックします。

Command WorkStation から Fiery Impose にアクセスするには

Command WorkStation から直接 Fiery Impose のジョブを開くことができます。

1. Command WorkStation で、**待機**リスト内のスプール済みジョブを選択します。
2. **アクション**メニューをクリックします。
3. **Impose** を選択します。

ジョブのプロパティから Fiery Impose にアクセスするには

Fiery Impose ウィンドウのジョブを**ジョブのプロパティ**から開くと、そのジョブは**シート表示**ペインのワイヤフレーム表示に表示されます。Fiery Compose 設定および**設定**ペインの製品インテントコントロールは利用できません。

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - **待機**リストにあるスプール済みジョブまたは待機ジョブをクリックします。
   - ホットフォルダーの場合、**Fiery Hot Folders コンソール**でホットフォルダーをクリックします。
2. **アクション** > **プロパティ**をクリックします。
3. **レイアウト**タブをクリックし、**Impose** をクリックします。
4. **Impose テンプレート編集**をクリックします。

   Fiery Impose テンプレートを編集してカスタムテンプレートを作成する場合は、 Fiery サーバーが Fiery Impose をサポートしていることと、適切なライセンスが必要です。

面付けレイアウト

Fiery Impose には、ブックレットやパンフレットなど、一般的な面付け用の定義済みレイアウトが用意されています。また、カスタムレイアウトを作成して保存することもできます。

Fiery Impose は、25 行 x 25 列のマトリックスで、1 枚のシート当り最高 625 ページのレイアウトをサポートします（両面印刷で 1,250 ページ）。接続している Fiery サーバーによっては、追加の制限が適用される場合があります。**ギャングアップ**印刷方法はすべての行列レイアウトをサポートします。とじ方法（**中とじ**、**複合中とじ**、**無線とじ**）は 1x2、2x1、2x2 レイアウトのみをサポートします。

以下の項目はすべて、ジョブのレイアウトに影響します。

両面印刷

プリンターによっては、両面印刷がサポートされていないか、実装が異なる場合があります。Fiery Impose では、使用可能な印刷オプションに対応する両面印刷がサポートされています。

詳細は、Fiery Impose での両面設定（53 ページ）を参照してください。

とじしろサイズ

Fiery Impose は、ジョブの面付けを決定するレイアウトとシートサイズに従って、とじしろの位置を定義します。たとえば、無線とじのジョブには通常、中とじのジョブより大きいとじしろが必要です。背表紙をトリミングし、製本時に折り丁（複数枚）をのりづけする余白を確保するためです。

詳細は、とじしろの設定（46 ページ）を参照してください。

マージンの設定

マージン（面付け済みページのグループの外端とシートの端との間の領域）のサイズと位置は、ジョブに関連付けられたプリンターによって異なります。カスタムマージンは設定できません。ただし、**用紙サイズにあわせる**を使用すると、シートのコンテンツのサイズを調整することができます。**仕上がりサイズ**設定には、トリミングサイズに関してコンテンツを設定する各種オプションがあります。

面付けレイアウトについて

Fiery Impose では、アプリケーション指定ファイルのページを印刷時に適切な順序および向きに整え、さまざまな綴じスタイルを適用して製本できます。

商業用のオフセットプリンターおよびウェブプレス機は、一枚のシートに複数のページの画像を配置することができる、幅の広いペーパーロールと大型印刷用プレートを使用します。プリンターでは一枚のプレスシートに最高 32 枚までのフルサイズページの画像を配置することができるので、これは一度に一枚のページを印刷するよりかなり処理が速くなります。Fiery Impose を使用すると一枚のシートに複数のページの画像を配置しますが、サポートされている出力デバイスは従来の印刷プレス機ではなく、デジタルコピー機です。ジョブの画像が取得される用紙がシートと呼ばれます。

印刷されたシートは、つながったページを持つ、ブックレットに似たものに折られます。折り丁と呼ばれる、この折られたシートは、トリムされ、仕上げ時のサイズになります。

ページが最終的なブックレットの通常の読み取り順序と位置になるために、シートにおける順序と位置づけは、通常本を読むときの順序と異なるものである必要があります。仕上がったブックレットの天地が正しくなるよう、ページの何枚かはシート上で逆さまに印刷されます。また仕上がったブックレットでページ番号の順序が正しくなるよう、シート上では番号順に従わずに印刷する必要があります。

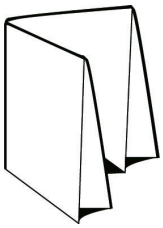
折り丁面付け見本の作成

折り丁の見本を作成すると、ページがシートにどのように面付けされるか、シートの裁断や折り方法を確認できます。

1 標準サイズの用紙一枚を、上下の端が合わさるように水平に半分に折ります。

2 左右の端が合わさるように用紙を垂直に折ります。

3 折り丁は垂直に折られた端を左に、そして水平に折られた端を上にして配置します。

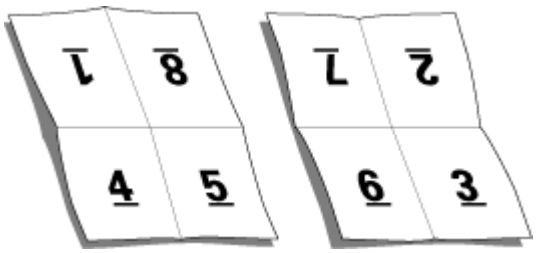


4 読んでいるときのように、折り丁のページをめくります。

a) 各ページに連続したページ番号を付けます。ページのおもてと裏の両方に番号を付け、表紙を 1 ページ目とし、裏表紙を 8 ページ目とします。

b) 各ページ番号に下線を引き、ページの天地がはっきりわかるようにします。

5 用紙を開きます。
次の図は用紙のおもて面と裏面を示しています。



これは８ページ折りのレイアウト見本です。次の点に注意してください。

- 折りによって、仕上がった時のブックレットの各ページのサイズにシートが分割されます。
- ページ番号は本を読む順に並んでいません。
- ページ番号が逆さまになっているページもあります。

Fiery Impose および Fiery Compose または Fiery JobMaster での Adobe PDF Print Engine の処理

Fiery Impose および Fiery Compose、または Fiery JobMaster は、PostScript に変換せずに PDF ジョブを直接処理できる PDF ベースのプロセッサーである Adobe PDF Print Engine をサポートしています。

Command WorkStation の Configure で PDF Print Engine をオンにすると、ジョブのプロパティでジョブごとにこれをオフにできます。

普通、**ブックレット**、または**ギャングアップ**製品インテントで**用紙種類の混合**によって **シートサイズ**が指定されている場合、ジョブは PDF Print Engine ではなく、CPSI（Configurable PostScript Interpreter）によって処理されます。

メモ：Compose の製品インテントでは、**シートサイズ**の変更がサポートされています。

ジョブのプロパティの面付けジョブには、次の制限が適用されます。

- **境界線を印刷**オプションがオンに設定された N-up ジョブ
- **ブックレット**レイアウトオプション内の 1-up 無線とじジョブ
- PDF/VT 以外の可変データファイル

サポートされていない機能を使用しているジョブは、PostScript インタープリターで処理されます。

Fiery FS600/600 Pro 以降では、PDF/VT ファイルの可変データジョブについて PDF プリントエンジン面付け処理をサポートしています。ただし以下の例外を除きます。

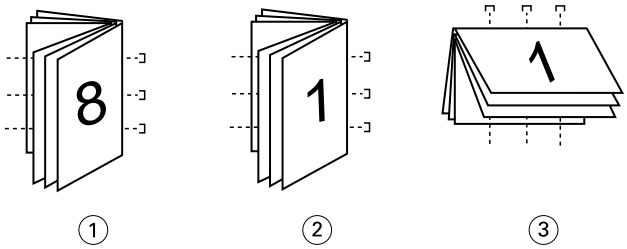
- 自動ページ回転
- ブランクページテキスト
- 表紙
- クリープ
- デモマーク
- Duplo とじタイプ
- 異なるページサイズ
- 異なるレコード長
- ページ範囲
- レコード範囲
- シート範囲
- サブセットの章
- サブセット仕上げ
- ウォーターマーク

製本方法

本のレイアウトは、シートをまとめて製本する方法も指定します。標準的な製本方法は、中とじ、無線とじ、複合中とじの 3 種類です。

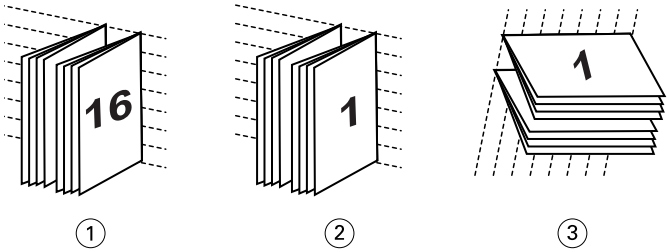
とじ方法によって、ページがシートに配置される順序が変わります。面付け設定では、正しいレイアウトと最終出力を実現するため、仕上がりジョブの製本方法を指定する必要があります。

- **中とじ**：複数のシートをまとめて、共通の中央の折り目（冊子の背表紙）に沿ってホチキスで止めるか縫いとじることを中とじと言います。



番号	説明
1	中とじ（左）
2	中とじ（右）
3	中とじ（上）

- **複合中とじ**：中とじと無線とじを組み合わせた製本方法です。折り丁部分がグループ単位で綴じられます。各グループはサブセットを形成します。無線とじと同様、サブセットを一枚一枚重ねてのりづけします。Fiery Impose でブックレットに複合中とじを指定すると、シートまたはサブセット設定により、まとめて折られたシートの枚数（サブセット）を指定できます。異なる用紙および異なる面付けレイアウトとシートサイズで印刷されるので、表紙は通常異なるジョブとして印刷されます。



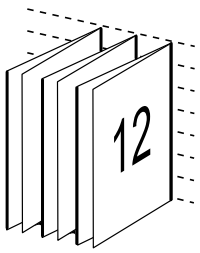
番号　説明

1　複合中とじ（左）

2　複合中とじ（右）

3　複合中とじ（上）

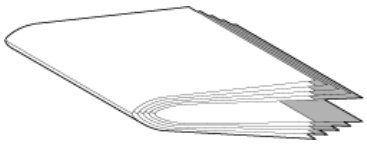
- **無線とじ**：別々に綴じられたページが印刷され、製本順に重ね合わされます。仕上がりページはトリムされ、一枚一枚重ねてのりづけされます。異なる用紙および異なる面付けレイアウトとシートサイズで印刷されるので、表紙は通常異なるジョブとして印刷されます。



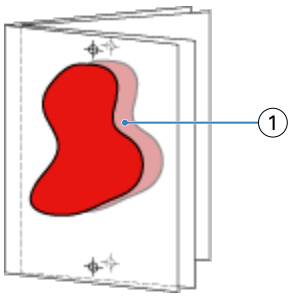
クリープ

クリープは、中とじのページにおけるずれ位置です。クリープは、内側のページほど背表紙から遠くなります。

すべての本やパンフレットでは、シートを折って、別のページ領域を作ります。シート自体もいくらか厚みがあるので、折るたびに各ページの端の位置がわずかにずれてしまいます。その結果として、中とじの中心にある折り目から一番離れたページの端は、中心に一番近い折り目からずれてしまいます。中とじのページ数が多くなるにつれ、このずれも大きくなります。このずれに対処するために、製本では仕上げた本の端を共通の端としてトリミングします。



製本したページをトリミングしても、問題の一部しか解決したことになりません。ページの端が動くので、その上に写された内容領域も動くからです。シートを複数回折ることにより生じる内容領域のずれは、クリープまたは製本クリープと呼ばれます。クリープにより、中とじの中心の折り目に近いページの内容領域は、ページの外側マージンの方向に移動したかのように見えます。



1 クリープ

中とじのシート数が多くなるにつれ、クリープは目立ち、中とじの中央の折り目から一番離れたページで一番目立ちます。そのため、考慮すべきクリープの量に影響を及ぼすので、本のレイアウトは中とじそれぞれのシート数を指定する必要があります。

ブランクページを挿入してレイアウトを調整するには

Fiery Impose および Fiery Compose では、ブランクページを追加するだけでなく、選択した面付けレイアウトに必要な場所にブランクページを自動で挿入できます。

ブックレイアウトは、ジョブの合計ページ数に従ってページの配置を調整する必要があります。しかしながら、合計ページ数がレイアウトのページ数の偶数倍でない場合、折り丁（通常、ブランクページも含む）を 1 つ配置して、数の相違に対応することができます。

自動で挿入されたブランクページは、間接的ブランクページといいます。間接的ブランクページは、作業している元の書類の一部ではないので、間接的ブランクページを表示したいかを選択することができます。

- 間接的ブランクページを表示するには、Fiery Compose の**表示**メニューから**間接的ブランク表示**を選択します。

行と**列**の設定により、7 枚のブランクページまで作成することができます（たとえば、2x2 のレイアウトの場合は、7 枚のブランクページを作成できます）。

面付けするジョブのプレビュー

Command WorkStation の**プレビュー**ウィンドウでは、シート寸法の表示や面付け済みジョブのシート間移動ができます。

Command WorkStation で面付けするジョブを選択するとき、ジョブは**プレビュー**ウィンドウで開きます。ジョブはシートのサムネイルとして**シート表示**ペインに表示され、内容が表示されるか、ワイヤーフレームで表示されます。

Command WorkStation でのジョブのプレビューについては、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

シート寸法の表示と測定

測定ツールを使用すると、一般的なシート寸法を表示したり、原点からページやシートの隅や端までの距離を決定したり、原点（参照点）を変更したりできます。

1 測定ツールアイコンをクリックします。

2 ページの周囲にカーソルを移動し、定義済みのホットスポットを表示します。

ホットスポットは水平または垂直の赤色破線で示されます。

3 **Ctrl** キー（Windows）または **Cmd** キー（macOS）を押し、ポイントアンドクリックしてページを選択します。

そのページの 9 つの参照点が表示されます。

4 ポイントアンドクリックして、希望する参照点を選択します。選択されると、参照点は赤い正方形で表示されます。

面付けされたジョブのシートを表示するには

ドラッグまたはシート番号を使用して、面付け済みジョブのシートを表示および移動できます。

- 次のいずれかを行います。
  - ドラッグツールを使用してドラッグし、ジョブのシートをスクロールします。
  - **シート**表示の下にある**シート**番号表示をクリックし、テキストフィールドにシート番号を入力します。

ジョブの面付け

Fiery Impose では、定義済みテンプレートを選択するか、面付け設定を変更、保存してカスタムテンプレートを作成できます。ワイヤーフレーム表示または**シート表示**ペインのサムネイルの内容表示で作業できます。

ジョブの面付けをするには、Fiery Impose でジョブを開き、テンプレートを適用します。

任意のテンプレートをインポートしたり面付け設定を指定したりすることもできます。面付け設定を指定する場合は、まず 4 つのワークフロー（製品インテント）から 1 つを選択します。

- **Compose** - 印刷前に Fiery Compose で設定を指定します。これは、プリンタードライバーやソースアプリケーションによって定義された用紙サイズの書類の操作用です。Fiery Compose 機能を使用してジョブを作成できます。
- **普通** – クリッピングと印刷マークを必要とする可能性がある 1-up 面付け用です。
- **ブックレット** – さまざまなタイプのブックレットを作成します。
- **ギャングアップ** – さまざまなギャングアップ丁付け形式を作成します。

Fiery サーバーシステムページは、管理、情報用途のためにのみ設計されています。設定、キャリブレーション、テストページ、ポストフライトレポート、PANTONE ブックおよびチャートなどのページは、面付けできません。

Fiery Impose における Booklet Maker の設定

Fiery Impose を使用すると、製本メーカー設定を持つジョブを開いて、面付けレイアウトをプレビューしたり変更したりできます。Fiery Impose は製本メーカーのすべての設定を Fiery Impose コマンドに変換およびマッピングします。『Fiery Command WorkStation のヘルプ』 の『製本メーカーのヘルプ』を参照してください。

メモ：Fiery Impose で編集した後のジョブは、製本メーカーでは編集できません。

面付けテンプレート

Fiery Impose では、定義済みテンプレートが提供されています。カスタムテンプレートを作成することもできます。

面付けテンプレートには、**普通**、**ブックレット**および**ギャングアップ**の 3 種類があります。

- 事前に定義された**普通**テンプレートには、**デフォルトテンプレート**と **1-up フルブリード**があります。
- 事前に定義された**ブックレット**テンプレートには、**2-up 無線とじ**、**2-up 中とじ**、**4-up 四つ折り**があります。
- 事前に定義された**ギャングアップ**テンプレートには、**3-up 巻き三つ折り**、**4-up 内巻き四つ折り**、**4-up z 折り**があります。

メモ：デフォルトの事前に定義された面付けテンプレートでは、**クロップボックスに合わせる**仕上がりサイズ設定が使用されます。

メモ：普通、**ブックレット**、および**ギャングアップ**テンプレートでは、上部に工場出荷時のテンプレートが表示され、それに続いてカスタムテンプレートが表示されます。工場出荷時のテンプレートとカスタムテンプレートの両方が、英数字で昇順にソートされます。

事前に定義されたテンプレートの設定を変更することで、カスタムテンプレートを作成できます。テンプレートを選択して変更を加えたら、新しい名前を付けてテンプレートを保存します。新しい設定はその場で適用されます。テンプレートを保存するには、Fiery Impose ライセンスが必要です。

環境設定ウィンドウで、カスタムテンプレートの保存先にするフォルダーまたはディレクトリのパスを設定できます。この設定は、**面付け**タブの**面付けテンプレートパス**にあります。

カスタムテンプレートは、Fiery IQ クラウドに保存して同期し、Fiery アカウントでサインインしたどのクライアントコンピューターからも使用することができます。

面付けテンプレートは、Fiery Hot Folders、ジョブのプロパティ、仮想プリンター、プリセットからも編集できます（Fiery Impose ライセンスがある場合）。

メモ：ユーザー定義および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズワークフローでは、PDF ソースファイルが必要です。PDF/VT 以外の PostScript ファイルおよびバリアブルデータ形式はサポートされていません。

ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート

カスタム面付けテンプレートは、**ユーザー定義**および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズ設定を用いて作成できます。

これらのテンプレートは、Fiery Impose、Fiery Hot Folders、Fiery システムソフトウェア FS300 Pro 以降を実行している Fiery サーバー、Fiery システムソフトウェア FS300 Pro 以降を実行している Fiery サーバーに（仮想プリンター、ジョブのプロパティ、サーバープリセットを介して）接続しているクライアントコンピューターなど、任意の送信方法またはワークフローで使用できます。

メモ：Fiery システムソフトウェア FS300 以降を実行している統合 Fiery サーバーは、カスタム面付けテンプレートのための**ユーザー定義**または**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズをサポートしていません。

ワークフローを設定する場合は、クライアントコンピューターまたは Fiery FS300 Pro（Windows ベース）サーバーで Fiery Impose ライセンスをアクティベートする必要があります。次の表は、**ユーザー定義**および**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズのワークフローを設定する場合に、Fiery Impose ライセンスをアクティベートする必要がある場所を示しています。

表 1: ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズを用いたテンプレートのためのライセンスアクティベーション

Fiery システムソフトウェア	**ライセンスアクティベーション**		**サポートされるワークフロー**			
	サーバーライセンス	**クライアントのライセンス**	**ジョブのプロパティ**	**サーバープリセット**	**仮想プリンター**	**Hot Folders**
FS300 Pro（Windows ベース）以降	○	○	サポート対象（1,3）	サポート対象（3）	サポート対象（2）	サポート対象 （3,4）
	○	×	サポート対象（1）	サポート対象	サポート対象	サポートされていない
	×	○	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない	サポート対象（3）
	×	×	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない	サポートされていない
			（1）**ユーザー定義**仕上がりサイズを使用して Fiery サーバーでこのテンプレートを作成する場合は、**ジョブのプロパティ**からアクセスできるように、**サーバープリセット**を作成する必要があります。 （2）**仮想プリンター**ワークフローは、Fiery サーバーで**ユーザー定義**仕上がりサイズを使用してこのテンプレートが作成されている場合にのみ利用できます。 （3）**ユーザー定義**仕上がりサイズに基づいた**ジョブのプロパティ**、**サーバープリセット**、または **Hot Folders** ワークフローがクライアントコンピューターで設定されている場合、そうしたワークフローへのアクセスはそのクライアントコンピューター上でのみ可能です。 (4) Fiery システムソフトウェア FS700 Pro 以降を実行している Fiery サーバーでは、Fiery Hot Folders ワークフローの使用時に PDF ファイルのみがサポートされます。		

面付けテンプレートの適用

事前に定義されたテンプレートと同じ方法でカスタムテンプレートを適用します。

1 **設定**ペインの上部にある**テンプレート**メニューをクリックします。

2 **テンプレートブラウザ**で使用するテンプレートの名前を選択します。

テンプレートを選択すると、新しい設定は即座に適用されます。

カスタム面付けテンプレートを保存するには

Fiery Impose のライセンス版がある場合は、カスタムテンプレートを保存できます。

1 カスタムテンプレートを作成します。

2 **保存**アイコンをクリックします。

3 **テンプレートの保存**ウィンドウでテンプレート名を入力します。

カスタム面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに保存するには

カスタム面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに保存することができます。

開始する前に、Fiery アカウントにサインインします。カスタム面付けテンプレートを保存しようとする際、Fiery アカウントが会社アカウントに関連付けられているかどうかを示すメッセージが表示されます。Fiery アカウントの詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

Fiery IQ クラウドに保存されたカスタム面付けテンプレートは、Fiery Command WorkStation で同じ Fiery アカウントでサインインしていれば、どのクライアントコンピューターからでも使用することができます。ただし、Fiery IQ クラウドに保存されたテンプレートは、同じ会社アカウントに関連付けられている Fiery アカウントとは共有されません。

メモ：面付けテンプレートを Fiery IQ クラウドに同期するには、Fiery Impose 用の期間有効なサブスクリプションライセンスが必要です。

1 カスタムテンプレートを作成します。

2 **保存**アイコンをクリックします。

3 **テンプレートの保存**ウィンドウでテンプレート名を入力します。

4 **Fiery IQ クラウドに保存**チェックボックスを選択します。

5 **OK** をクリックします。

テンプレートブラウザを開くと、Fiery IQ クラウドに保存されたテンプレートがクラウドアイコンと共に表示されます。

カスタムテンプレートの削除

カスタムテンプレートは削除できます。

1 削除したいテンプレートを**テンプレート**メニューから選択します。

2 **テンプレート削除**アイコンをクリックします。

メモ：別のテンプレートを選択するか新規面付け設定を指定するまで、ジョブには削除したテンプレート設定が残ります。

面付けされたジョブを保存するには

面付け済みのジョブは、通常の面付けジョブまたは統合 PDF として、Fiery またはローカルディスク上に保存できます。

ジョブを統合 PDF として保存すると、そのジョブまたはファイルを、プロセッサーに面付け機能がないこともあるさまざまなプリンターで印刷できます。統合 PDF は、遠隔での折り丁レベル校正のために顧客に簡単に送付できます。

詳細は、トリミングマークを設定するには（59 ページ）を参照してください。

メモ：Fiery Impose では、VDP 面付けジョブを Adobe PDF 形式で保存することはできません。

ジョブを通常の面付けジョブとして保存するには

通常の面付けジョブとして保存する際には、ジョブを拡張子.dbp でジョブチケットとともに Fiery サーバーに保存します。その後、ジョブを再度開いて変更することができます。

1 **ファイル** > **保存**を選択します。

2 **場所**メニューでファイルの保存先を選択します。

3 **平坦化**チェックボックスのチェックを外します。

統合 PDF としてジョブを保存するには

ジョブを統合 PDF として保存すると、Fiery サーバーまたはローカルディスクに保存し直して、面付け済み PDF を今後の再印刷のためにアーカイブできます。

メモ：統合 PDF として保存する際、元の PDF ファイルを上書きしないように、ジョブに新しいファイル名を付ける場合があります。

Fiery Impose では、統合 PDF にタブやブランクシートページは含まれませんが、暗黙的なブランクページが含まれています。ジョブを保存する際には、保存した場所や統合 PDF として保存したかどうかが保存用ウィンドウに記憶され、次回のジョブ保存時にはこのオプションが使用されます。

1 **ファイル** > **保存**を選択します。

2 **名前を付けて保存**フィールドにファイル名を入力します。

3 **場所**メニューでファイルの保存先を選択します。

4 （オプション）**設定**をクリックします。

5 （オプション）**PDF 出力設定**ウィンドウで次のいずれかを設定し、**OK** をクリックします。

回転で、次の操作を行います。

- **おもて - 90 度時計回り**、**180 度**、または **90 度反時計回り**を選択して、PDF 出力のおもてページを回転します。**なし**を選択すると、回転は適用されません。
- **裏 - 90 度時計回り**、**180 度**、または **90 度反時計回り**を選択して、PDF 出力の裏ページを回転します。**なし**を選択すると、回転は適用されません。

セキュリティ で、次の操作を行います。

- **方法 - パスワードで保護された編集** または **パスワードで保護された印刷と編集** を選択して、**パスワード** フィールドと **確認** フィールドを有効にします。**なし**を選択すると、セキュリティ機能は適用されません。
- **パスワード**：希望のパスワードを入力します。
- **確認**：**パスワード**フィールドと同じパスワードを入力します。

6 **OK** をクリックします。

面付けテンプレートリファレンス

Fiery Impose では、定義済みテンプレートが提供されています。テンプレートが対象にしている設定は、特定のテンプレートによって異なります。

1-up フルブリードテンプレート

1-up フルブリードレイアウトでは、シートごとに 1 ページが印刷されます。ページマークは、どこで用紙を切断するかを指定して、カラーコンテンツが用紙の端まで行き渡るようにします。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **ブリード**で、**両方に適用**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **折り目**：ブラック、1/2 ポイント幅の点線、長さ 0.2222 インチのマーク
  - **ジョブラベル**：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズにあわせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**標準**が選択されています。

1-up フルブリードレイアウトにページ数の制限はありません。

2-up 無線とじテンプレート

2-up 無線とじテンプレートでは、各シートが一度折られて積み重ねられる、無線とじ製本用の折り丁が作成されます。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**上-上**が選択されています。
- **ブリード**で、**両方に適用**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **折り目**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の点線、長さ 0.2222 インチのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**製本**が選択されています。
- **無線とじと**左が**製本**設定として選択されています。

2-up 無線とじレイアウトは、ページ数が 4 の倍数であるジョブ用に準備されていますが、任意のページ数のジョブで使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。ページは 4 枚のグループで並べられるので、折ると各シートにつき 4 枚の連続ページがあることになります。



メモ：クリープ調整はこのテンプレートでは使用できません。

2-up 中とじテンプレート

2-up 中とじレイアウトでは、中とじ製本の本のシートが作成されます。すべてのシートを重ねた状態でまとめて折ります。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**上-上**が選択されています。
- **ブリード**で、**両方に適用**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **折り目**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の点線、長さ 0.2222 インチのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**製本**が選択されています。
- **中とじ**と**左**が**製本**設定として選択されています。

2-up 中とじレイアウトは、ページ数が 4 の倍数であるジョブ用ですが、任意のページ数のジョブでも使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。各ページは、シートが折られ、とじられた状態でページが連続になるような順になっています。



3-up 巻き三つ折りテンプレート

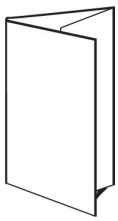
3-up 巻き三つ折りレイアウトでは、1 枚のシートが 3 つのセクションに折られます。3 つのセクションは同じ幅ですが、各セクション間のスペースは異なり、左端のパネルは残り 2 つのパネルの上に折ることができます。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**オン**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：グレー、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**ギャングアップ**が選択されています。
- **唯一**と**左/右**が**ギャングアップ**設定として選択されています。

3-up 巻き三つ折りレイアウトは、6 ページまたはページ数が 6 の倍数であるジョブ用ですが、任意のページ数のジョブにも使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。



3-up 巻き三つ折りは通常、次のイラストのように折ります。



4-up 内巻き四つ折りテンプレート

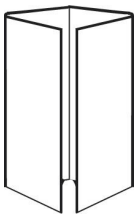
4-up 内巻き四つ折りレイアウトは、4 枚のパネルからなるパンフレットで頻繁に使用されます。仕上がったパンフレットは、一度開くと畳んだときのサイズの 2 倍に、もう一度開くと 4 倍になります。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**オン**が選択されています。
- **ブリード**で、**両方に適用**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：グレー、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**ギャングアップ**が選択されています。
- **唯一**と**左/右**が**ギャングアップ**設定として選択されています。

4-up 折り込みページレイアウトは、ページ数が 8 の倍数であるジョブ用ですが、任意のページ数のジョブでも使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。



4-up 内巻き四つ折りは通常、次のイラストのように折ります。



4-up 四つ折りテンプレート

4-up 四つ折りレイアウトは、印刷シートの両面に 4 ページの上端をつき合わせたレイアウトによるブックレットの作成用です。上側 2 ページを回転させて、水平、垂直の両方の向きに折り、トリミングできます。仕上がったブックレットのすべてのページは適切な順序と回転になっています。

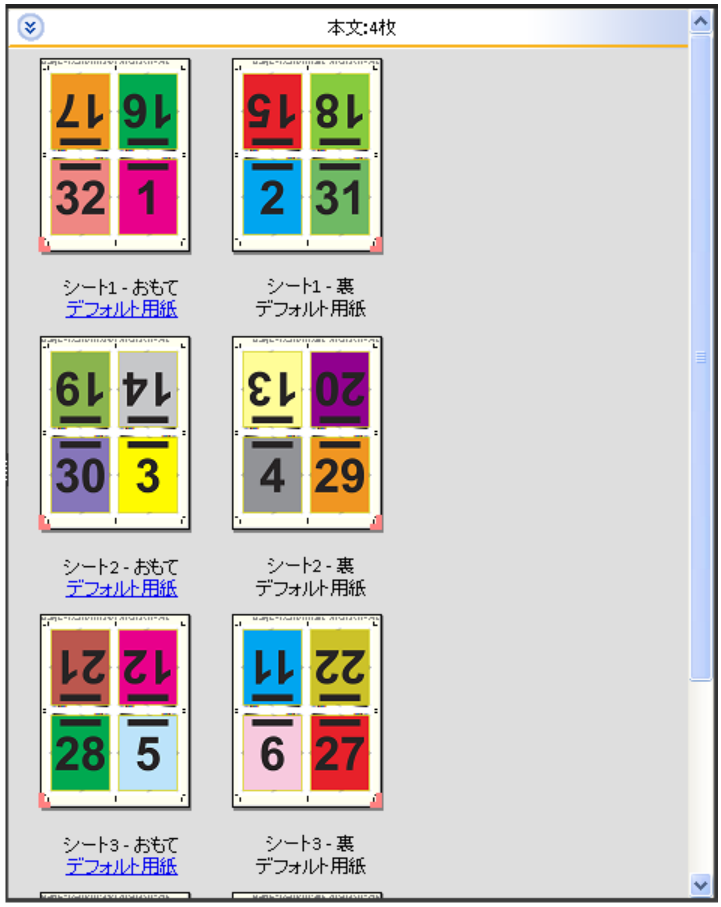
次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**上-上**が選択されています。
- **ブリード**で、**両方に適用**が選択されています。
- **とじしろ**が定義されています。

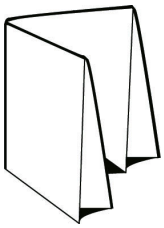
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **折り目**タブ：ブラック、1/2 ポイント幅の点線、長さ 0.2222 インチのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。
- テンプレート設定として**製本**が選択されています。
- **中とじ**と**左**が**製本**設定として選択されています。

4-up 四つ折りレイアウトは、ページ数が 8 の倍数であるジョブ用ですが、任意のページ数のジョブでも使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。ページ順は、シートが 90 度で 2 回折られ、トリミングされ、まとめてとじて折り丁にすると、ページが連続になるようになっています。

メモ：このレイアウトは 2 つの折りが必要ですが、このテンプレートでは背表紙の折りに対してのみ折りマークが適用されます。例：



4-up 四つ折りは通常、次のイラストのように折ります。2 枚以上のシートを折る場合、すべてのシートを重ねて、まとめて折る必要があります。



4-up Z 折りテンプレート

4-up Z 折りレイアウトは、折り目の付いた背表紙にストレスを加えずに、多くのパネルを重ねることができます。一般的な例として道路の地図があります。次の設定がこのレイアウトに適用されます。

- **両面**印刷オプションで**オン**が選択されています。
- **マーク**ウィンドウで、次の操作を行います。
  - **トリム**タブ：グレー、1/2 ポイント幅の実線、長さ 0.2222 インチの標準スタイルのマーク
  - **ジョブラベル**タブ：左上隅に表示される水平位置、名前、シート情報、日時
- **拡大縮小**オプションで**用紙サイズに合わせる**が選択されています。**用紙サイズに合わせる**
- テンプレート設定として**ギャングアップ**が選択されています。
- **唯一**と**左/右**が**ギャングアップ**設定として選択されています。

4-up Z 折りレイアウトは、ページ数が 8 の倍数であるジョブ用ですが、任意のページ数のジョブでも使用できます。Fiery Impose により、必要に応じてブランクページが追加されます。



4-up Z 折りは通常、次のイラストのように折ります。



Fiery Impose でのギャングアップ印刷

Fiery Impose は、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、および**唯一 - 丁合い**面付けのオプションを備えています。

Fiery Impose はまた、折り、スリット、カット、クリースといった製本機能を使用して Duplo オフラインフィニッシャーで仕上げられる面付けジョブに対して、**Duplo-長辺給紙**および **Duplo-短辺給紙**オプションを備えています。

ギャングアップ反復

反復オプションを使用すると、ステップアンドリピート印刷が使用可能になります。ステップアンドリピートは、1 つの書類について複数の部数を印刷するときに最もよく使用されます。

ギャングアップ反復に合わせる機能は、シートサイズが最も適切に使用される方法でシートの内容を自動的にレイアウトし、**ギャングアップ反復** ワークフローを使用します。この機能を使用するには、**ギャングアップ反復に合わせる**アイコンを選択します。詳細については、ギャングアップ反復に合わせる（43 ページ）を参照してください。

ギャングアップ唯一

唯一オプションを使用すると、ジョブを 1 部印刷するケースでは多くの場合により適した配置になる方法でページを配置できます。このオプションは完全な丁合いを行いませんが（手動での丁合いが必要）、シートサイズを最適化すると同時に、印刷を 1 部に限定します。



唯一 - 丁合い

唯一 - 丁合いを使用すると、シートを重ねて裁断するときに正しい順序になるようにページを配置できます。このオプションは、手動で丁合いする必要性を最小限にし、書類を 1 部印刷するときに最も適しています。



Duplo-短辺給紙

Duplo-短辺給紙は、最終的な印刷済みシートを用紙の短辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。列または行は最短シートエッジに対して垂直になります。

VDP および非 VDP PDF ジョブと PostScript ジョブが Duplo 仕上げを使用できます。シートに印刷された簡単なバーコードを読み取ることで、Duplo オフラインフィニッシャーを自動的に設定できます。このフィニッシャーは、シートが機器を通る際に、シート上のレジストレーションマークを読み取り、そのマークとの関連でシートを配置します。ギャングアップ面付けレイアウトに対して Duplo を指定する場合、**ページマーク**ウィンドウでレジストレーションおよびバーコードを指定できます。

Duplo-長辺給紙

ギャングアップ面付けレイアウトに対して **Duplo-長辺給紙**を設定すると、最終的な印刷済みシートを用紙の長辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向が作成されます。列または行は、最長シートエッジに対して垂直方向に配置されます。

Duplo 仕上げは、VDP および非 VDP PDF ジョブと PostScript ジョブに対して使用できます。シート上に印刷された簡単なバーコードを読み込むことで、Duplo オフラインフィニッシャーが自動設定されます。フィニッシャーは、シートが機器を通る際に、マークとの関連でシートに印刷されたレジストレーションマークを読み取り、シートを配置してスタックドリフトおよび画像シフトを補正します。

ギャングアップ面付けレイアウトに対して Duplo を指定する場合、**ページマーク**ウィンドウでレジストレーションおよびバーコードを指定できます。

上辺とじのギャングアップ

上辺とじのギャングアップを使用すると、両面ジョブの上辺とじで、シートの裏面にある個々のスロットまたはページを 180 度自動的に回転できます。

上辺とじのギャングアップ（スロットの回転）は、Fiery Impose の既存のレイアウトスタイルでも機能します。スロットの回転テンプレートを設定しておけば、Fiery Hot Folders や仮想プリンターで使用することができます。

上辺とじのギャングアップは、次のギャングアップスタイルで使用できます。

- 繰り返す
- 唯一 – 丁合い
- Duplo-短辺給紙
- Duplo-長辺給紙

次の表に、上辺とじのギャングアップで必要な設定を示します。

ギャングアップスタイル	両面	レイアウトスタイル	スロットの回転
繰り返す	**オン**	次のいずれかのスタイル： • **標準** • **上-上** • **下-下** • **上-下** • **下-上**	○
唯一 - 丁合い	**オン**		○
Duplo-短辺給紙	**オン**		○
Duplo-長辺給紙	**オン**		○

上辺とじのギャングアップジョブを作成する

1 Command WorkStation の待機リストにジョブをインポートします。

2 ジョブを選択し、**アクション**メニューから **Impose** を選択するか、メニューを右クリックします。

3 **Fiery Impose** ウィンドウの**設定**ペインで**ギャングアップ**を選択し、次のスタイルからどれか 1 つを選択します。

- **繰り返す**
- **唯一 - 丁合い**
- **Duplo-短辺給紙**
- **Duplo-長辺給紙**

4 以下に従って設定を指定します。

- 仕上げエッジで**上**を選択します。
- **両面**オプションで**オン**を選択します。
- **レイアウトスタイル**オプションで**任意**を選択します。

メモ：上記の設定は必須です。必要に応じてその他の設定を指定できます。

設定の結果は**シート表示**ペインに表示されます。

動的トリムボックスの自動化

動的トリムボックス自動化は、ギャングアップレイアウト用の用紙サイズベースの自動的な面付けです。

ギャングアップレイアウトの作成後、このレイアウトをテンプレートとして保存してその他のジョブの自動レイアウトに使用することができます。こうしたテンプレートは、シートサイズごとに 1 つだけ必要です。ギャングアップジョブが届いた場合、この新しいジョブをシートサイズテンプレートに基づいてホットフォルダー上にドラッグできます。 Fiery Impose により、そのジョブの最適なレイアウト（N-up および向き）が自動的に決定され、シート 1 枚あたりに印刷されるアイテム数を最大化できます。

こうした自動化されたワークフローは、**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズを使用しており、サイズの大きなシート（11x17 など）上での種類の異なる小さなアイテム（名刺、はがき、コンサートチケットなど）のレイアウトを動的に作成します。このワークフローは、ギャングアップジョブにのみ適用されます。

メモ：トリムボックスに合わせるワークフローや、ユーザー定義ワークフローで作成されたカスタム面付けテンプレートは、Fiery Hot Folders、仮想プリンター、プリセット、Command WorkStation ジョブのプロパティで使用できます。サポートされているワークフロー、必要なソフトウェアライセンス、接続先の Fiery サーバーで必要な Fiery システムソフトウェアのバージョンについては、ユーザー定義およびトリムボックスに合わせる仕上がりサイズ用テンプレートのサポート（27 ページ）を参照してください。

Fiery Hot Folders による自動ギャングアップ面付け

同じシートサイズに印刷するギャングアップ面付けの設定（たとえば、名刺やはがき用）を自動化します。これらの製品の仕上がりサイズに関わらず、1 つのホットフォルダーを使用することで設定とプロダクションの効率化を図ることができます。

このシートサイズを別の製品でもう一度使用する場合は、作成したテンプレートに基づいたホットフォルダー上に新しいジョブをドラッグできます。Fiery Impose が新しいジョブ用に最適なレイアウトを自動作成します。

1 Fiery Impose の**設定**ペインで、**ギャングアップ**を選択して**仕上がりサイズ**を**トリムボックスに合わせる**に設定することにより、ギャングアップレイアウトを作成します。

2 （オプション）とじしろの設定を指定するには、**とじしろ**オプションの**定義**をクリックします。

3 （オプション）トリミングマークを指定するには、**マーク**オプションの**定義**をクリックします。

4 **設定**ペインの上部にある保存アイコンをクリックします。

5 テンプレートの名前を入力し、通常の面付けジョブとして保存します。

6 Fiery Hot Folders を開きます。

7 **次へ**をクリックし、新しいホットフォルダーを作成します。

8 **ホットフォルダー設定**ウィンドウにホットフォルダーの名前を入力します。

9 **選択**、**接続**の順にクリックして Fiery サーバーに接続します。

10 **ジョブのプロパティ**オプションで**定義**を選択します。

11 **ジョブのプロパティ**ウィンドウで**レイアウト** > **面付けタブ**を選択します。

12 **テンプレート**オプション用に作成したテンプレートを選択します。

13 OK をクリックします。

14 **ホットフォルダー設定**ウィンドウのジョブ**アクション**オプションで、目的のアクションを選択します。

15 **OK** をクリックします。

ホットフォルダーはデスクトップに作成されます。

16 デスクトップ上で、サイズの小さな製品用の新しいジョブをホットフォルダーにドラッグします。

17 Fiery サーバーに移動します。ジョブが表示され、処理されます。

Fiery Impose は、最大数のアイテムを印刷するのに最適なレイアウトを自動決定します。

ギャングアップ反復に合わせる

ギャングアップ反復に合わせるは、シートサイズが最も適切に使用される方法でシートの内容を自動的にレイアウトし、ギャングアップおよび反復ワークフローを利用します。

必要とする仕上がり製品数に必要な用紙の枚数は、Fiery Impose が計算します。**ギャングアップ反復に合わせる**は、名刺など、反復する大量の同一内容をプリンターが出力するすべてのジョブに最適です。レイアウトは、**設定**ペインでの**仕上がりサイズ**の設定にかかわらず、**クロップボックスに合わせる**の仕上がりサイズまたは**ユーザー定義**の仕上がりサイズのいずれかを使用して計算されます。

Fiery Hot Folders およびジョブのプロパティでのギャングアップ反復に合わせるの使用

Fiery Impose テンプレートを Fiery Hot Folders から編集する際に**ギャングアップ反復に合わせる**を使用するには、まず次の手順を実行する必要があります。

- シートサイズを指定します。
- 面付けジョブの仕上がりサイズを**ユーザー定義**または**クロップボックスに合わせる**に設定します。

こうした前提条件は、Fiery Impose テンプレートを**ジョブのプロパティ**から編集する際にも適用されます。

「ギャングアップ反復に合わせる」を指定する

ギャングアップ反復ジョブの自動レイアウトを利用するには、**ギャングアップ反復に合わせる**オプションを選択できます。

インポートするジョブは、ギャングアップ反復レイアウトに適したジョブ（名刺など）である必要があります。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから Impose を選択します。
- ジョブを右クリックし、Impose を選択します。

2 Fiery Impose ウィンドウで、**アクション**メニューから**ギャングアップ反復に合わせる**を選択します。

ギャングアップ反復が製品インテントワークフローとして選択されている場合は、**設定**ペイン内の**ギャングアップ反復に合わせる**アイコンをクリックすることもできます。

3 次のオプションを設定します。

オプション	説明
仕上がり製品数	100 が自動的に入力されますが、設定を変更して増やしたり減らしたりできます。 **メモ：**仕上がり製品の最大数が 9999 を超過する場合、その数はコピーカウントに表示されません。この場合、コピーカウントには無効と表示されます。これを訂正するには、コピーカウントが 10,000 未満になるまでいずれかの値を変更します。
シート	サポートされる用紙のメニューから選択します。
レイアウト方向	**自動**、**縦**または**横**。
マージン	レイアウト外のスペースを調整して、そのスペースをレイアウト以外に使用できるようにします。マージンを使用可能にするには、切り替えボタンをクリックして緑色のチェックマーク表示にします。マージンを使用不可にするには、切り替えボタンをクリックして赤色の「X」が表示されるようにします。 マージンを使用可能：  マージンは使用不可：  • 使用しない：プリンタードライバーの印刷範囲外の余白が入力されます。 • 使用する（ゼロを入力）：ゼロを入力すると、**設定**ペインの**印刷可能範囲外の領域を使用する**チェックボックスの設定と同じ動作になります。 • 使用する（カスタム）：カスタムマージンを入力します。
余白	レイアウト内の隣り合う製品間の間隔のためのパラメータを、水平方向と垂直方向の両方について入力します。とじしろは、レイアウトの周りのスペースであるマージンとは異なるので注意してください。
廃棄数	機器によるクランプの跡や一番下のシートの汚れなど、廃棄の原因となることがある理由に対処するために出力する必要がある追加のシート数を指定します。
部数	仕上がり製品数分の量を出力するために必要なジョブの部数。この値は通知のみを目的としているため、上書きできません。 **メモ：**オリジナル原稿が 2 つの異なる名刺など複数の項目から成る場合があるため、この値が必ずしもシート数を反映しているとは限りません。

オプション	説明
超過数	仕上がり製品数のうち、必要な数を超えて出力される数。必要な仕上がり製品数ではシート全体が塗りつぶされない場合、超過数が発生します。Fiery Impose は常にシートを塗りつぶすため、超過数が発生します。

ギャングアップ反復に合わせるウィンドウを閉じた後に、**設定**ペインで設定を上書きして設定を変更できます。ただし、そうすると、**設定**の**部数**オプションでコピーカウントを手動調整した場合を除き、印刷される仕上がり製品数が多くなったり少なくなったりする可能性があります。レイアウトの自動計算を利用する場合は、**ギャングアップ反復に合わせる**ウィンドウを再度開く必要があります。

Fiery Impose でのギャングアップ設定の指定

ギャングアップスタイル、ページ順、とじしろサイズ、およびギャングアップ方法を指定できます。

指定したギャングアップスタイルとギャングアップ方法が一緒に使用できることを確認してください。可能な組み合せの詳細については、ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ（47 ページ）を参照してください。

ギャングアップスタイルの設定

ギャングアップスタイルを設定できます。

1 **テンプレート**メニューで**ギャングアップ**を選択します。

2 テンプレートスタイルメニューで次のいずれかを選択します。

- **唯一**
- **繰り返す**
- **唯一 - 丁合い**
- **Duplo-短辺給紙**
- **Duplo-長辺給紙**

ページ順の設定

ページ順オプションは、レイアウト内のページ付けの流れの方向を指定します。

メモ：ページ順オプションは、ギャングアップスタイルが**唯一**の場合のみ使用できます。

- **設定**ペインの**ページ順**セクションで、次のいずれかをクリックします。
  -  - 左から右に、水平にページを行ごとに順序付けし、上の行から始める。
  -  - 右から左に、水平にページを行ごとに順序付けし、上の行から始める。

-  - 上から下に、垂直に列ごとに順序付けし、一番左の列から始める。
-  - 上から下に、垂直に列ごとに順序付けし、一番右の列から始める。

とじしろの設定

ギャングアップジョブに対してとじしろを設定できます。とじしろは、製本などの仕上げオプションのためのスペースとして使用できる追加マージンです。

Fiery Impose は、ジョブの面付けを決定するレイアウトとシートサイズに従って、とじしろの位置を定義します。たとえば、無線とじのジョブには通常、中とじのジョブより大きいとじしろが必要です。背表紙を裁断し、製本時に折り丁（複数枚）をのりづけする余白を確保するためです。

1 **とじしろ**オプションで**定義**をクリックします。

2 **とじしろ**ウィンドウで、レイアウトのそれぞれのとじしろに対して使用できるテキストフィールドを入力し、とじしろの寸法を設定します。

3 （オプション）すべてのとじしろに同じ測定値を適用するには、**すべて適用**をクリックします。

4 （オプション）**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスを選択して、ページ内容の配置を制御します。**とじしろ**ダイアログボックスでとじしろを設定する前に**用紙サイズにあわせる**を選択していた場合は、**用紙サイズにあわせるはとじしろ設定を使用する**チェックボックスを使用して、ページ内容の配置を制御します。

   とじしろウィンドウを開く前に、Fiery Impose **設定**ペインの拡大縮小オプションで**用紙サイズにあわせる**を選択すると、**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスが利用できるようになります。

   - チェックボックスを選択しない（デフォルト設定） - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれません。とじしろサイズを変更してもページ内容は拡大縮小されず、代わりに内容の位置がずれます。
   - チェックボックスを選択する - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれます。とじしろサイズを変更すると、行と列およびとじしろの設定で定義されている領域内に収まるようにページ内容が拡大縮小されます。

としじろを使用する用紙サイズにあわせるオプション

Fiery Impose では、としじろを使用する 2 つの異なる**用紙サイズにあわせる**動作が可能です。

元のページがシート上の使用可能な面付けスロット内に完全に収まらない場合は、**用紙サイズにあわせる**調整が必要です。面付けスロットのサイズは、シートサイズとページ上の面付けスロットの数（行数と列数の関数）によって定義されます。とじしろの設定は、面付けスロット間のスペースを定義します。

用紙サイズにあわせるを選択した場合は、**とじしろ**ウィンドウに**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスが表示されます。チェックボックスの動作は次のとおりです。

- チェックボックスを選択しない（デフォルト設定） - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれません。とじしろサイズを変更してもページ内容は拡大縮小されず、代わりに内容の位置がずれます。
- チェックボックスを選択する - **用紙サイズにあわせる**でとじしろサイズが計算に含まれます。とじしろサイズを変更すると、行と列およびとじしろの設定で定義されている領域内に収まるようにページ内容が拡大縮小されます。

  メモ：選択した**用紙サイズにあわせる」はとじしろ設定を使用する**チェックボックスは、Fiery Impose テンプレートには保存できません。チェックボックスをオンにして、設定を Fiery Impose テンプレートとして保存すると、チェックボックスの選択は解除されます。

用紙サイズに合わせるを選択すると、とじしろのサイズの変更に合わせて自動的にスケーリングが変更されます。書類は引き続き使用可能な領域に収まるよう、サイズが変更されます。

次の点に注意してください。

- **用紙サイズにあわせる**設定では、とじしろやシートのサイズに関係なく、常に使用可能な面付けスロット内のページに収まります。
- 行と列またはシートサイズを変更すると、拡大縮小サイズに影響があります。とじしろサイズを変更すると、拡大縮小サイズに影響があります。**用紙サイズに合わせる**設定では、拡大ではなく縮小されます。

Fiery Impose でのギャングアップ方法の設定

Fiery Impose でのギャングアップ方法を選択できます。ギャングアップのスタイルによっては、使用できないギャングアップ方法もあります。

- **レイアウトスタイル**メニューで、次のギャングアップ方法のいずれかをクリックします。
  - **標準**
  - **上-上**
  - **下-下**
  - **上-下**
  - **下-上**

ギャングアップスタイルとギャングアップ方法の組み合わせ

どのギャングアップスタイルと方法を一緒に使用できるかは、ジョブ形式が PostScript、PDF、または VDP のいずれであるかによって異なります。

次の表は PostScript または PDF 形式の普通のジョブにおいて、どのギャングアップスタイルとどの方法を一緒に使用できるかを示しています。

ギャングアップスタイル	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
繰り返す	○	○	○	○	○

ギャングアップスタイル	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
唯一	○	○	○	○	○
唯一 – 丁合い	○	○	○	○	○

次の表は VDP ジョブにおいて、どのギャングアップスタイルとどの方法を一緒に使用できるかを示しています。

ギャングアップスタイル	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
繰り返す	○	×	×	×	×
唯一	○	○	○	○	○
唯一 – 丁合い	○	○	○	○	○
複数レコード丁合い	○	○	○	○	○
カットスタック	○	○	○	○	○
Duplo-短辺給紙	○	×	×	×	×
Duplo-長辺給紙	○	×	×	×	×

バリアブルデータ印刷ギャングアップ反復ジョブでサポートされるレイアウトスタイルは、標準スタイルのみです。インポート機能またはプリンタードライバーにより Command WorkStation に送信された PostScript または PDF 形式の非バリアブルデータ印刷ジョブでは、すべてのレイアウトスタイルがサポートされます。Hot Folders により送信されたジョブに関しては、Fiery Impose はバリアブルデータ印刷ジョブと非バリアブルデータ印刷ジョブとの区別をしないため、**標準**ではバリアブルデータ印刷ジョブと非バリアブルデータ印刷ジョブについて**ギャングアップ**反復スタイルのみが標準でサポートされます。

ギャングアップの行と列のレイアウト設定を指定する

ギャングアップの行数と列数を指定できます。

- 次のいずれかの操作を行って、**行と列のレイアウト**オプションで行と列を指定します。
  - 上下の矢印ボタンをクリックして、フィールド内の値を選択します。
  - 各フィールドに目的の値を入力します。

  メモ：行と列に指定できる最大値は 25 です。

反復製本仕上げ機能の指定

反復製本は、インライン仕上げではなくオフライン仕上げで、2 つの同一のブックレットを 1 枚のシートにステップおよび反復印刷できます。**反復製本**では、2 行 x 2 列のレイアウトが必要です。

1 製品インテントで**ブックレット**を選択します。

2 **行と列**オプションで **2 x 2 反復製本レイアウト**を選択します。

VDP ジョブでのギャングアップ面付け方法

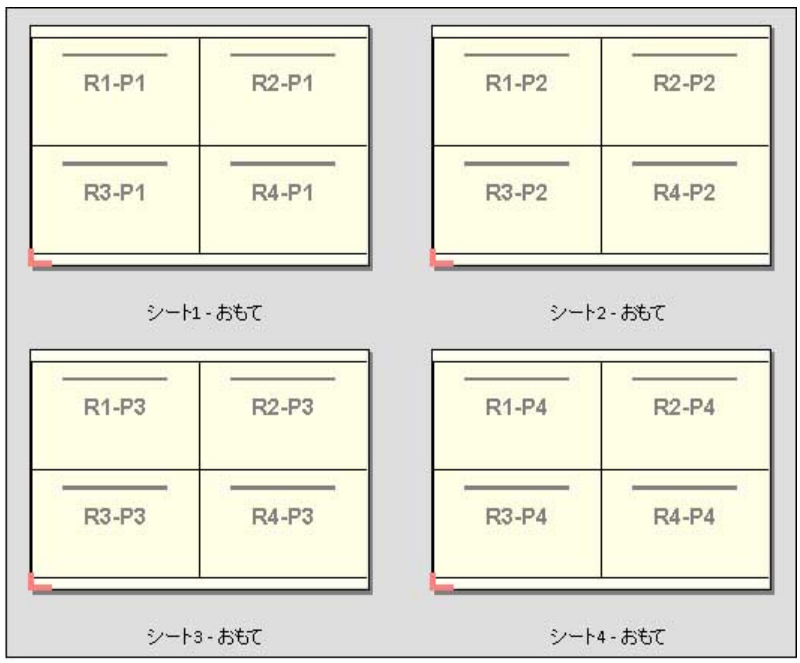
バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブでは、単一レコードまたは複数レコードの面付け方法を使用できます。

- **単一レコード面付け**では、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、または**唯一丁合い**を使用できます。Fiery Impose でのギャングアップ印刷（39 ページ）を参照してください。
- **複数レコード面付け**では、**複数レコード丁合い**、**カットスタック**、または**スタックサイズ**を使用できます。

複数レコード丁合い

複数レコード丁合いでは、異なるレコードのページが連続してシート面に配置されます。各レコードの 1 ページ目が全レコード分、シート面に配置されます。次に新しいシートになり、各レコードの 2 ページ目が全レコード分配置されます。この処理はすべてのページが配置されるまで繰り返されます。

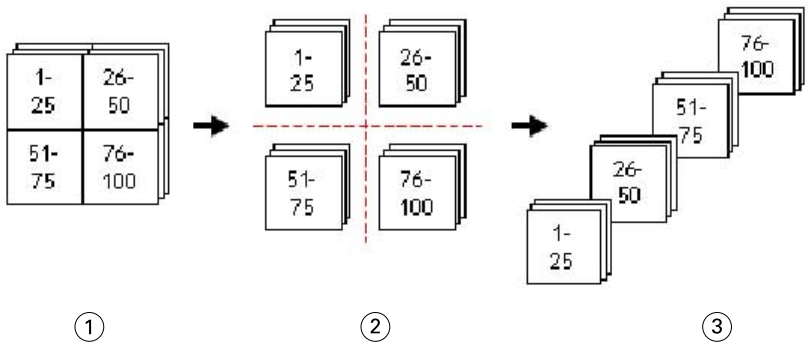
次のプレビューに、4 つのレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**複数レコード丁合い**レイアウトを示します。レコードはそれぞれページが 4 枚あります。R はレコードを表し、P はページを表しています。たとえば、R1 P1 はレコード 1 の 1 ページ目です。



カットスタック

カットスタックは、各ページを重ねて裁断でき、また裁断後に積み重ねたものを並べ替えずに済むように、ページをシート面に配置します。**カットスタック**レイアウトは、**スタックサイズ**オプションとともに使用できます。

次の例に、100 件のレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**カットスタック**レイアウトを示します。レコードは 1 つのページから成ります。シートがスタックされ、カットおよび再度スタックされると、レコードは順番に配置されます。



1 印刷

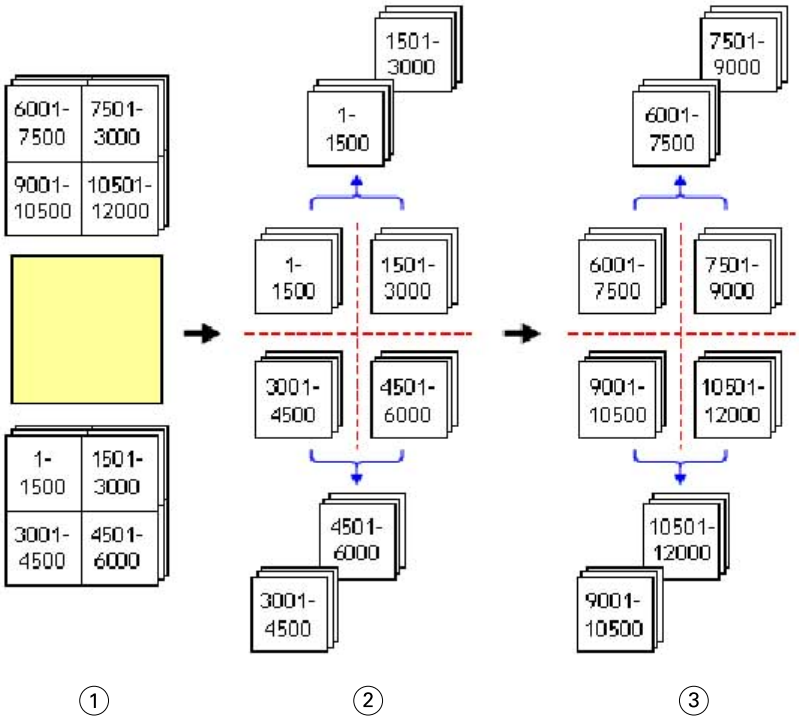
2 切り取り

3 スタック

スタックサイズ

スタックサイズによって大きな VDP ジョブがより小さなバッチに分割され、その結果**カットスタック**ワークフローが簡素化されます。これにより、スタックされるシート数を標準的な裁断機が対応できる量に制限できます。それぞれのバッチは**カットスタック**レイアウトを使用して個別に面付けされ、バッチ間にはセパレーターシートが配置されます。(**スタックサイズ**オプションは、**カットスタック**レイアウトを選択した場合にのみ利用できます)。

次の例に、それぞれ 1 ページを構成する 12,000 件のレコードを含む VDP ジョブに適用された、2x2 の片面印刷の**カットスタック**レイアウトを示します。この結果、シートは 3,000 枚になります。**スタックサイズ**オプションは、1 つのバッチあたり 1,500 シートに設定されています。結果として生じたレイアウトは 2 つのバッチから成り、各バッチは裁断、並べ替え、スタック、パッキングを相前後して実行できます。



1 印刷

2 最初の積み重ねの裁断とパッキング

3 2 度目の積み重ねの裁断とパッキング

面付け設定

Fiery Impose では、仕上がりサイズ、シートサイズ、両面印刷、拡大縮小、表紙の用紙、レイアウト方向、ブリード、ページマークなどの印刷ジョブオプションを設定できます。

設定ペインに表示される設定は、選択した製品インテントによって決まります。製品インテントワークフローの選択（51 ページ）を参照してください。

各製品インテントで使用可能なテンプレートの説明については、面付けテンプレート（27 ページ）を参照してください。

製品インテントワークフローの選択

Fiery JobMaster、Fiery Impose、Fiery Compose では、さまざまな種類のワークフロー（製品インテント）がサポートされています。製品インテントを選択すると、**設定**ペインにその製品インテントの関連オプションが表示されます。

1 **テンプレート**で、**設定**ペインの上部にある製品インテントボックスの矢印をクリックします。

2 次のいずれかの製品インテントを選択します。

- **Fiery Compose**
- **正常**

- **ブックレット**
- **ギャングアップ**

3 任意の製品インテントのスタイルと方法を選択します。

例えば、製品インテントで**ブックレット**を選択した場合は、とじ方法ととじる側を選択します。製品インテントで**ギャングアップ**を選択した場合は、ギャングアップオプションととじる側を選択します。

4 **仕上がりサイズ**メニューが表示された場合は、仕上がりサイズを選択します。

普通および**ブックレット**インテントには、**仕上がりサイズ**設定が用意されています。この設定を使用すると、クロップボックスの仕上がりサイズワークフローとユーザー定義の仕上がりサイズワークフローのどちらかを選択できます。**ギャングアップ**インテントには、**仕上がりサイズ**オプションである**トリムボックスに合わせる**設定が含まれます。

Fiery Impose の仕上がりサイズオプション

仕上がりサイズでは、印刷が終わり、トリミング、折り、製本などの仕上げ処理を適用した後の最終製品のサイズを設定します。

デフォルトのワークフローは**クロップボックスに合わせる**になっています。

使用できるワークフローは次のとおりです。

- **クロップボックスに合わせる** - ジョブのレイアウトは Adobe PDF クロップボックスが基準になります。選択した書類のページ内容に合わせてブリードサイズを手動で設定する必要があります。この仕上がりサイズワークフローでは、ブリードサイズをクロップボックスのサイズから差し引いて、最終製品の仕上がりサイズを手動で見積もる必要があります。
- **ユーザー定義** - 最終仕上がりサイズとブリードサイズが PDF ジョブに対して自動的に検出されますが、ユーザーはどちらの設定も変更できます。ページの内容は用紙の中央に配置されます。**ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローでの仕上がりサイズは、ブリード、クロップボックス、書類ページサイズに依存しない静的な値です。元のブリードサイズは自動的に検出されます。
- **トリムボックスに合わせる**：サイズの小さな異なるアイテム（名刺、はがき、コンサートチケットなど）をサイズの大きなシート（11 x 17 など）上に配置するレイアウトを自動的に作成する、自動化されたワークフローです。ユーザーはシートサイズごとにホットフォルダーを 1 つ作成し、サイズの小さな異なるアイテムをそこに入れることができます。自動方向設定により、印刷できるアイテムの数が最大になるように最適な向きが決定されます。このワークフローは、ギャングアップジョブにのみ適用されます。

  仕上がりサイズを**トリムボックスに合わせる**に変更すると、自動的にレイアウト方向は**自動**に設定されます。**自動**の場合は、縦と横の双方について印刷できるアイテムの数が計算され、シートの領域を最大化する向きが使用されます。たとえば、3.5 x 2 インチの名刺を 12 x 18 のシートに印刷する場合、縦向きでは名刺を 24 枚（8 行 x 3 列）、横向きでは名刺を 25 枚（5 行 x 5 列）の配置が可能です。**自動**設定では、より多くの名刺を作成できる横向きが選択されます。**自動**は、その他の仕上がりサイズワークフローでは使用できません。

最終仕上がりサイズに入力できる最小寸法は 0.25 インチです。最大値は、プリンターでサポートされている用紙サイズにより異なります。

ユーザー定義の仕上がりサイズのメリット

ユーザー定義の仕上がりサイズは、オリジナルの内容で指定されたトリムサイズに基づきます。仕上がりサイズを指定すると、Fiery Impose が各シートの中央にページ内容を自動的に配置します。

面付けされるジョブの内容の配置がページごとに異なり、それぞれが異なるクロップサイズの場合、ユーザー定義の仕上がりサイズを選択すると、Adobe PDF で設定されたトリムサイズを Fiery Impose で自動検出できます。

クロップボックスの仕上がりサイズワークフローの場合、ユーザーは、ブリードを理解し、何らかの操作によってページ内容を面付けレイアウトに正しく配置する必要があります。

トリムボックスに合わせる仕上がりサイズのメリット

トリムボックスに合わせる仕上がりサイズのメリット（特に、Fiery Hot Folders、仮想プリンター、プリセットなどの自動ワークフローの場合）は、PDF 画像のサイズを変更しても行と列の数が自動的に再計算されることです。自動レイアウト方向により、製品（名刺など）の数が最大になります。Fiery Impose 内のワークフロー設定時にシートサイズを変更した場合は、レイアウトが更新されます。

メモ：Fiery システムソフトウェア FS300 以降を実行している統合 Fiery サーバーは、カスタム面付けテンプレートのための**ユーザー定義**または**トリムボックスに合わせる**仕上がりサイズをサポートしていません。

Fiery Impose でのシートサイズの設定

デフォルトの**シート**設定は、すべてのシート（折り丁）に適用され、意図する面付けレイアウトの寸法を定義します。特殊シートサイズの割り当ては、**ジョブのプロパティ**ウィンドウ、Paper Catalog または**用紙種類の混合**で定義できます。

1 **シート**メニューで用紙シートのサイズを選択します。

シートオプションメニューに目的のサイズを直接入力することもできます。

2 **編集**をクリックして、重量、カラーモードなど、その他の用紙設定を指定します。

3 メディアカタログまたは Paper Catalog がサポートされている場合は、**メディアカタログから選択**または**メディア**メニューから **Paper Catalog から選択**を選択します。

Fiery Impose での両面設定

両面では、シートの両面の内容の処理方法を設定します。右とじ、左とじ、上とじを行うように両面印刷を設定することも、両面印刷をオフにすることもできます。**両面**オプションは、接続する Fiery サーバーによって異なります。

Fiery Impose では、選択された製本スタイルおよびとじに両面設定が自動的に適用されます。Fiery Impose の**両面印刷**設定は Command WorkStation **ジョブプロパティ**で実行された**両面印刷**設定を上書きします。

- 次のいずれかを選択します。
  - **オフ**：両面印刷がオフになり、片面印刷が使用されます。
  - **左右とじ**：ページの表裏を同じ方向で印刷するように両面印刷が設定されます。面付け設定によっては、左右とじが選択できない場合があります。
  - **上とじ**：ページの表裏を上下反対方向に印刷するように両面印刷が設定されます。上とじは、すべてのジョブで選択できるわけではありません。

メモ：両面の場合、印刷時の方向で**シートビュー**が表示されない場合があります。たとえば、上とじ両面印刷で、ページの両面が上向き状態で表示される場合があります。

Fiery Impose における拡大縮小設定

拡大縮小設定では、指定量だけページが拡大縮小されます。

Compose および**普通**の製品インテントでは、**拡大縮小**設定はジョブのすべてのページに適用されます。**ブックレット**および**ギャングアップ**の製品インテントでは、拡大縮小をシート特定のスロットに適用できます。シート上のスロット数は、**行**と**列**の値により異なります。スロットのサイズは、シートの最大画像領域をスロット数で割ったものに等しくなります。

ユーザー定義の仕上がりサイズワークフローには、**クロップボックスの仕上がりサイズ**ワークフローよりも多くの拡大縮小オプションがあります。

印刷可能範囲外の領域を使用するオプションでは、印刷ジョブを面付けするための選択シートの実際の端から端までを使用します。これは、さまざまなプリンターやで使用する可能性のある、カスタムテンプレートを作成する際に役に立ちます。

このオプションが選択されていない場合、Fiery Impose はプリンターに従い、最終印刷済みシートの画像可能領域により、面付けされたジョブの位置と倍率を決定します。この制約によって、カスタムテンプレートが他のプリンターに使用されることを防ぎます。

メモ：行と列の値は**拡大縮小**設定と相互関連しています。内容がシートの端を越える値を選択すると、Fiery Impose では警告が表示されます。

拡大縮小オプション

Fiery Compose または Fiery JobMaster でジョブを開くと、**ジョブのプロパティ** > **レイアウト** > **標準**タブで適用された拡大縮小率がジョブに保持されます。

Fiery Compose または Fiery JobMaster での**スケーリング**には、次のオプションがあります。

- **拡大縮小しない**：拡大縮小は適用されず、ページ内容は現状のまま印刷されます。
- **用紙サイズに合わせる**：ページ内容をシートの実寸に合わせて拡大縮小します。拡大縮小率は、ページ内容と選択したシートサイズに基づいて計算されます。このオプションは、製品インテントとして **Compose** を選択した場合に使用できます。

  メモ： シートサイズは、**設定**ペインの**シート**ドロップダウンから選択できます。
- **印画領域に合わせる**：選択したシートサイズの印画領域内に収まるようにページ内容を拡大縮小します。拡大縮小率は、ページ内容と、選択したシートサイズで使用可能な印画領域に基づいて計算されます。このオプションは、製品インテントとして **Compose** を選択した場合に使用できます。

  メモ： 印画領域を表示するには、**シート表示**ペインでツールバーの**ページ情報を表示します**アイコンをクリックします。
- **カスタム**：目的の拡大縮小値に応じた拡大縮小比率を**拡大縮小率**で指定します。**拡大縮小率**を 100%に設定した場合は、**拡大縮小しない**オプションを選択した場合と同等になります。

拡大縮小設定の指定

仕上がりサイズオプションにデフォルト設定の**クロップボックスに合わせる**を使用して、拡大縮小、用紙サイズに合わせる、または拡大縮小しないを指定できます。**ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローではより

多くの拡大縮小オプションが利用でき、仕上がりサイズまたはブリードの静的境界線にページ画像を合わせたりフィルしたりすることができます。

1 **拡大縮小**メニューから設定を選択します。

2 **カスタム**を選択した場合、テキストフィールドに**拡大縮小値**を入力します。

3 印刷ジョブを面付けするために選択したシート実寸の端から端までを使用するには、**印刷可能範囲外の領域を使用する**チェックボックスを選択します。

表紙の用紙の設定

表紙の有無およびその設定を指定できます。

1 表紙を追加するには、**表紙**チェックボックスを選択します。

2 **表紙の用紙**ウィンドウで、おもて/裏表紙両方に同じ設定を適用するかどうかを選択し、おもて表紙のみの設定を指定するか、またはおもて/うら表紙を別々に指定します。

3 **OK** をクリックして、設定を保存します。

定義をクリックすると、**表紙の用紙**ウィンドウが再度開き、設定を変更できます。

レイアウト方向の設定

シートの向きを指定するには、**設定**ペインの**レイアウト方向**メニューを使用します。

1 **レイアウト方向**メニューで、次のいずれかを選択します。

- **縦**
- **横**

2 製本スタイルが**複合中とじ**の場合は、**サブセットサイズ**オプション（各サブセット内のシート数）を指定します。

最後のサブセットのシート数は固定の数値ではなく、Fiery Impose により、ジョブの実際のページ数に従って必要なシート数が調整されます。**サブセットサイズ**オプションの**シート/サブセット**のデフォルト設定は **2** で、設定可能な最大値は **15** です。

Fiery Impose でのワークフローごとのブリード

Fiery Impose の適用方法は、設定するワークフローによって異なります。

- **クロップボックス**仕上がりサイズワークフローにおいて、**ブリード**オプションはトンボ（トリミングマーク）を指定した量だけ画像に向かって移動し、印刷された領域がトリミングされたシートの端を超えて拡張するようにします。ページ内容の左または右（水平）の端およびページ内容の上または下（垂直）の端に対して、異なるブリード量を指定することができます。
- **ユーザー定義**の仕上がりサイズワークフローでは、**ブリード**オプションは仕上がりサイズの境界線を越えて表示されるページ内容の量を表します。トンボ（トリミングマーク）は自動的に調整され、仕上がりサイズの端に揃ったままとなります。Fiery Impose でジョブが開かれ、**仕上がりサイズ**オプションで**ユーザー定義**設定が選択されている場合、仕上がりサイズとブリードの寸法が自動的に入力されますが、この設定は変更することができます。

ブリードの設定

Fiery Impose では、水平および垂直のブリードを設定できます。

- 次のいずれかを行います。
  - ジョブに対して別々の水平および垂直ブリード値を指定するには、適切なフィールドに 0 ～　720 ポイント、0 ～　10 インチ、または 0 ～ 254 ミリの値を入力します。
  - ページ内容の 4 つのすべての端に対して同じブリード値を適用するには、**両方に適用**チェックボックスをクリックし、値を入力します。

レイアウトのオフセット

レイアウトオフセットオプションを使用すると、シートの 4 辺すべてについて、シートの端とレイアウトトリムボックスとの長さを指定できます。**レイアウトオフセット**オプションでは、レイアウト範囲のサイズを変更せずに、シート上のレイアウトの位置を変更することができます。

メモ：レイアウトオフセットウィンドウで指定したオフセット値は、ジョブ内のすべてのシートに適用されます。

メモ：ページマークウィンドウの**レジストレーションマークおよびバーコード**タブ内にある**レイアウトオフセット**オプションは、**設定**ペインの**レイアウトオフセット**と一緒に使用することはできません。**設定**ペインでオフセット値を指定すると、Fiery Impose では**ページマーク**ウィンドウの**レイアウトオフセット**オプションが自動的に無効になります。

1 Fiery Impose の**設定**ペインで、**レイアウトオフセット**オプションの**定義**をクリックします。

2 **レイアウトオフセット**ウィンドウで、オフセット値を指定します。

3 次のいずれかを行います。

- 指定した値が正しい場合は、**OK** をクリックして変更内容を適用します。
- 指定した値が正しくない場合は、**リセット**クリックして変更内容を破棄します。
- レイアウトのオフセットを指定しない場合は、**キャンセル**をクリックします。

4 適用したオフセット値が間違っているためにその値を取り消す場合は、**編集** > **レイアウトオフセットを取り消す**を選択します。

マージンを設定する

マージンは、シートの端とレイアウトの端との長さです。シートに希望するマージンを設定して、どのシートの辺にも十分な間隔が空くようにすることができます。

カスタムマージンを使用すると、シートの 4 つの辺すべてに異なるマージン値を指定し、フィニッシャーのグリッパーでシートを保持するための追加スペースをシートで使用できます。

- Fiery Impose では、**設定**ウィンドウの**マージン**オプションで次のいずれかを選択します。
  - **デフォルト**：マージンをデフォルト値に自動的に設定します。デフォルト値は印刷可能範囲外の領域に対応しています。

    メモ： シートの端とレイアウトの端の間の使用可能なスペースが、印刷可能範囲外の領域です。
  - **印刷可能範囲外の領域を使用する**：マージンを自動的にゼロに設定します。このオプションを選択すると、レイアウトの端がシートの端と一致して、印刷可能範囲外の領域が使用されるため、シートの端まで印刷できるようになります。すべてのマージンにはゼロ値が表示されます。

    メモ：シートの印刷可能範囲外の領域はデバイスに依存する値です。**印刷可能範囲外の領域を使用する**オプションを選択すると、最終的な印刷結果でクリッピングが行われる可能性があります。
  - **カスタム**：マージンを希望する値に手動で設定できます。このオプションを選択すると、左、右、上、下のマージン値を手動で指定できます。**カスタム**オプションでは、フィニッシャー関連の要件に対応できるように、レイアウトの周りに十分なスペースを残すことができます。

    メモ：指定したマージンは、ジョブ内のすべてのページに適用されます。

Fiery Impose でページマークを設定するには

Fiery Impose でページマークを設定できます。また、マークおよびページ情報の各要素をオン/オフすることもできます。

レイアウト上の折りの位置は、折り目と呼ばれる点線で定義されます。また、裁断の位置はトンボ（トリミングマーク）と呼ばれる実線で定義されます。特殊なマークによって、マージン（ページ内容領域周囲のスペース）のサイズと場所、とじしろ（ページ間のスペース）およびブリードも定義されます。ブリードとは、トンボ（トリミングマーク）の外まで内容が拡張された部分で、印刷領域がトリミングしたページの端まで拡張さ

れるようにするために使用されます。標準的なスタイルのトンボ（トリミングマーク）または日本式のマークから選択できます。

- ジョブのすべてのシートにトリミング、折り、およびジョブ情報を追加するには、ページマークを使用します。ページマークオプションは、ジョブ全体にページマークを付けます。レイアウトでは、関連するページマークのみが表示されます。シートの折りを必要としないレイアウトの場合、折りマークは選択しても表示されません。
- トリミングマーク、折りマーク、およびページ情報の各要素をオン/オフするには、**ページマーク**ウィンドウを使用します。

メモ：ユーザー定義の仕上がりサイズワークフローでは、ページマークが常に仕上がりサイズの端に揃えられます。

ページマークメニューにあるマークの名前付きセットについて

マークの名前付きセットは、ローカルコンピューターに保存できます。また、特定のジョブに対するマークの固有の設定にできます。

ページマークメニューの名前には、次のものがあります。

- **なし** - マークが適用されません。
- マークのセットをローカルコンピューターに保存する際に使用した名前のリスト

  メモ：デフォルトでは、名前は英数字の昇順でソートされます。
- **カスタム** - ジョブに固有のマーク、またはローカルコンピューターに名前付きセットとして保存されていないマークです。

マークの名前付きセット（たとえば「ブルーマーク」とします）を持つジョブを開き、**ページマーク**メニューを使用してその設定のいずれかを変更した場合、変更されたマークのセットは「ブルーマーク」という名前ではなくなり、「カスタム」という名前になります。この変更されたマークのセットを保存する場合は、このセットに新しい名前を付けることができます。「ブルーマーク」という名前を付けようとすると、Fiery Impose は「ブルーマーク」という名前の既存のセットを上書きするかどうかを尋ねます。

ジョブを保存した後に「ブルーマーク」の設定を変更した場合、そのジョブを次に開く際には、マークのセットの名前が「カスタム」と表示されます。ジョブを保存した後にマークの名前付きセットを削除した場合、そのジョブを次に開く際には、マークのセットの名前が「カスタム」と表示されますが、ジョブ内のその設定は失われていません。

メモ：作成したマークの名前付きセットはローカルコンピューターに保存されています。マークのセットの名前は、ユーザーのコンピューター間での受け渡しがされません。たとえば、ローカルコンピューターで「ブルーマーク」というマークのセットを作成してジョブに割り当てることができます。別のユーザーが自分のローカルコンピューターでそのジョブを開きます。そのユーザーが自分のコンピューターでやはり「ブルーマーク」というマークのセットを作成しても、最初のユーザーのジョブにあるマークのセットは、2 番目のユーザーの**ページマーク**メニューにこれまでどおり「カスタム」と表示されます。

マークのセットの名前付け、保存、再利用

スタイル、横の長さ、縦の長さ、トンボタイプ、トンボ幅、トンボカラーなど、マーク設定の適用、マークのセットの名前付け、保存、再利用を実行できます。

1 **ページマーク**メニューで**定義**を選択します。

2 表示される**ページマーク**ウィンドウで、ページマークまたはカスタムオブジェクトをシートレイアウトに追加し、**保存**をクリックします。

マークのセットに名前を付けるように求めるメッセージが表示されます。

3 マークのセットに名前を付けます。この名前は、今後**マーク**メニューに表示され、今後のジョブでマークの名前付きセットを使用できるようになります。

4 **ページマーク**ウィンドウで **OK** をクリックして、現在のジョブにマークのセットを適用します。

マークのセットを削除するには、**ページマーク**メニューから削除するセットを選択し、ゴミ箱アイコンをクリックします。

印刷マークの定義

印刷マークを設定するには、**ページマーク**ウィンドウを使用します。

1 **設定**ペインで、**ページマーク**メニューをクリックし、**定義**を選択します。

2 **トリム**、**折り**、**ページ情報**、**ブランクページテキスト**、**レジストレーションページマークとバーコード**の各タブを使用して設定を指定します。

メモ：VDP ジョブの**ページ情報**には、VDP 以外のジョブとは異なる情報が表示されます。

トリミングマークを設定するには

トリムタブを使用してトリミングマークを設定します。

1 **トリム**タブをクリックします。

2 **トリミングマーク印刷**チェックボックスを選択します。

3 **スタイル**メニューから以下を選択します。

- **標準**：標準的な西洋式の形式のマーク（コーナーのシングルマーク）を印刷します。これはデフォルト設定です。
- **日本式**：日本式の形式のマーク（コーナーおよびページの各サイドの中央のマーク）。

  ブリード値が 0 の場合、日本式のマークは標準スタイルに似た 1 本のラインになります。ブリード値を設定すると、トリムとブリードを示す 2 つのコーナーマークが表示されます。

4 印刷されるトリミングマークについて次の操作を実行します。

- マークの水平方向および垂直方向の長さ（1～216 ポイント）を設定します。
- **トンボタイプ**を点線または実線に設定します。
- **トンボ幅**を 1/4～3 ポイントの範囲で設定します。
- **トンボカラー**を設定します。
- 水平および垂直の**オフセット**フィールドに、-72～+72 ポイント、-1.0～1.0 インチまたは-25.4～25.4 mm の値を入力します。

折りマークを設定するには

折りタブで、折りマークの長さや外観を設定したり、個々のマークを無効にしたりできます。

1 **ページマーク**ウィンドウで、**折り**タブをクリックします。

2 **折りマーク印刷**チェックボックスを選択します。

3 次のうち任意のものを設定します。

- マークの水平方向および垂直方向の長さ（1〜216 ポイント）を設定します。
- 折りマークの**トンボタイプ**を点線または実線に設定します。
- 折りマークの**トンボ幅**を 1/4〜3 ポイントの範囲で設定します。
- **トンボカラー**を設定します。

ページ情報の属性を設定するには

ジョブラベルの内容と場所は、**ジョブラベル**タブで設定できます。VDP ジョブのジョブラベルの内容は、VDP 以外のジョブとは異なります。

1 **ページ情報**タブをクリックします。

2 以下のチェックボックスを選択し、ページ情報に関連した情報を表示します。

- **ジョブラベルの印刷**
- **ジョブ名**
- **シート情報**
- **日時**

次の点に注意してください。

- 標準ジョブのシート情報には、シート番号とサーフェス情報（おもてまたは裏）が含まれます。
- VDP ジョブの場合は、絶対シート番号を表示する**出力シート番号**チェックボックスをクリックすることもできます。印刷されたシートの合計数が 500 の場合、絶対シート番号は 1 〜 500 です。

3 ラベルを配置する領域をクリックします。

4 **横**または**縦**をクリックし、ジョブラベルをシートの上で水平または垂直のどちらで配置するかを指定します。

5 （オプション）オフセットの X 値と Y 値を入力します。

オフセットは原点から測定します。

ブランクページテキストを設定するには

間接的ブランクページに表示する内容は、**ブランクページテキスト**タブで設定できます。

1 **ブランクページテキスト**タブをクリックします。

2 **ブランクページテキストを印刷する**チェックボックスを選択します。

3 間接的ブランクページに表示するテキストを入力します。

Fiery Impose でレジストレーションマークおよびバーコードを設定する

面付けレイアウトにはレジストレーションマークやバーコード、またはその両方を含めることができます。このオプションにより、自動ドリフト補正や Duplo オフラインフィニッシャーの機器設定が可能です。

Duplo フィニッシャーではシート上面の先端右にマークが必要なので、レジストレーションマークの位置によって、シート上面の先端が決まります。

1 Windows では、**Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**を選択します。macOS の場合、環境設定は **Fiery Impose** または **Fiery JobMaster** ウィンドウの Fiery Command WorkStation メニューにあります。

2 **フィニッシャー**タブの**デバイス選択**フィールドで、次のいずれかをクリックします。

- **Duplo DC-646（2 桁のバーコード）**
- **Duplo DC-646（3 桁のバーコード）**
- **カスタム**
- **ユーザーがインストールしたデバイスのプロファイル名**

3 Fiery Impose **設定**ウィンドウの**ページマーク**リストで**定義**を選択します。
ページマークウィンドウが開きます。

4 **ページマーク**ウィンドウで、**レジストレーションマークおよびバーコード**タブをクリックします。

5 **印刷**フィールドで、次のいずれかをクリックします。

- **印刷しない**（デフォルト）
- **レジストレーションマークのみ**
- **バーコードのみ**
- **レジストレーションマークおよびバーコード**

このドロップダウンのオプションは、デバイスの機能に基づいて表示または非表示になります。

6 **レジストレーションマークのみ**を設定した場合は、次の項目を設定します。

- **位置**：シート上のレジストレーションマークの場所です。
- **マーク長さ**および**マーク幅**：5～10 mm の長さを指定できます。また、0.4～1.6 mm の幅から指定できます。

- **マークオフセット**：マーク位置に対する垂直および水平方向のオフセットです。**給紙辺**と**右端**の両方のデフォルト値は 5 mm です。それぞれ、3～15 mm の範囲で指定できます。
- **レイアウトオフセット**：レジストレーションマークとバーコードが入るように、レイアウトをシートの給紙辺から移動する距離です。0～30 mm の範囲から指定できます。

7 **バーコードのみ**を設定した場合は、次の項目を設定します。

- **位置**：シート上のバーコードの場所です。
- **バーコードテキスト**と**バーコードタイプ**の値は、**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **選択デバイス**で選択したデバイスによって異なります。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で **Duplo DC-646（2 桁のバーコード）**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：デフォルトはコード 39 です。
    - **バーコードテキスト**：01～80 の 2 桁の数字です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で **Duplo DC-646（3 桁のバーコード）**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：デフォルトはコード 39 です。
    - **バーコードテキスト**：最大 250 までの 3 桁の数字です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で**カスタム**を設定した場合、次の設定を行います。
    - **バーコードタイプ**：コード 39 またはコード 128 です。
    - **バーコードテキスト**：英数字と特殊文字の組み合わせをサポートしています。使用できる特殊文字は、ハイフン（-）、ピリオド（.）、ドル記号（$）、スラッシュ（/）、プラス記号（+）、パーセント記号（%）、およびスペース（ ）です。
  - **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で**ユーザーがインストールしたデバイスのプロファイル名**を選択した場合は、デバイスの製造元によって提供されるデバイスの仕様に従って、**バーコードタイプ**と**バーコードテキスト**の値を設定する必要があります。
- **プリントテキスト**：シート上のバーコードの数字を印刷します。
- **マークオフセット**：バーコードを配置するための垂直および水平方向のオフセットです。**給紙辺**のデフォルト値は 5 mm で、指定可能な範囲は 3～15 mm です。**右端**のデフォルト値は 25 mm で、指定可能な範囲は 25 mm～42 mm です。
- **レイアウトオフセット**：レジストレーションマークとバーコードが入るように、レイアウトをシートの給紙辺から移動する距離です。0～30 mm の範囲から指定できます。

8 **レジストレーションマークおよびバーコード**を選択した場合は、手順 6（61 ページ）と 7（62 ページ）で説明されているとおりに**レジストレーション**ペインで設定を指定します。

この設定はレジストレーションマークとバーコードの両方に適用されます。**バーコード**ペインでは、テキストを指定し、テキストを印刷するかどうかを指定します。

9 必要に応じて、**マークをおもて面にのみ印刷**を選択します。

Fiery Impose でのブックレット設定の指定

ブックレット設定には、ブックレット製品インテントのとじ設定、行と列、およびクリープ（中とじ、および複合中とじにおいて、折り丁の折りの増加によって生じる内容領域のずれ）があります。

ブックレット用のとじ設定の指定

とじ方法ととじ辺のオプションを指定できます。とじ方法によって、ページがシートに配置される順序が変わります。2 列または 2 行を超えるレイアウトに対しては、とじ方法を選択できません。

1 次のとじ方法のいずれかを選択します。

- **中とじ**
- **複合中とじ**
- **無線とじ**

2 次のとじ辺のオプションから 1 つを設定します。

- **左とじ**
- **右とじ**
- **上とじ**

メモ：上辺とじは、レイアウト設定が 2 行 x 1 列または 2 行 x 2 列の場合にのみ使用できます。

ブックレットの製品インテントで行と列を指定する

ブックレットの**行と列のレイアウト**設定では、**1 x 2**、**2 x 2**、または **2 x 2 反復製本レイアウト**を指定できます。

1 **行と列のレイアウト**メニューを選択します。

2 **1 x 2**、**2 x 2**、または **2 x 2 反復製本レイアウト**を選択します。

使用できる設定は、とじスタイルによって異なります。

3 **中央に合わせる**チェックボックスを選択し、ページ内容の初期配置を定義します。

クリープ設定を指定して**内**を選択している場合は、**中央に合わせる**を使用して面付け済みページにスペースを設けたり、クリープ量を示すとじしろを指定したりできます。

辺とじオプションに使用できるスタイル

次の表に、とじ製本オプションで使用できる**スタイル** 設定を示します。この設定は PostScript または PDF ジョブに適用できますが、VDP ジョブには適用できません。

メモ：反復ブックレット製本レイアウトでは、**スタイル**設定によってブックレットの向きが変更されます。**ギャングアップ**レイアウトでは、**スタイル**設定によってページの向きが変更されます。

とじ方法	標準	上-上	下-下	上-下	下-上
左とじ製本	可能	可能	可能	不可	不可
右とじ製本	可能	可能	可能	不可	不可
上とじ製本	可能	不可	不可	可能	可能

クリープ設定の指定

クリープオプションでは、印刷の向きとシートの厚さを設定します。

1 **クリープ**メニューで、印刷の向きの設定のいずれかを選択します。

- **なし**：クリープ補正は適用されません。
- **内**：最も外側にあるシートのページ位置は変わりません。他のすべてのシートでは残りページの位置が背表紙方向に移動します。
- **外**：最も内側にあるシートのページ位置は変わりません。他のすべてのシートでは残りページの位置が背表紙と反対方向へ移動します。

2 次のいずれかの方法で、シートの厚さを設定します。

- クリープ調整メニュー内のオプションをクリックします。
- カスタムの厚さを選択するには、0～2 ポイントの間の値または別の測定単位での相当値を入力します。

向きが混在する面付けジョブでの自動ページ回転

自動ページ回転機能を使用すると、横と縦のページが混在する状況でブックレット（別の仕上げジョブ）を容易に作成できます。すべてのページの向きが揃い、かつページの内容が途切れないように、ブックレットの配置を簡単に調整できます。

この機能は、ユーザー定義またはトリムボックスに合わせるのどちらかの仕上がりサイズを使用している、普通、ギャングアップ、ブックレットの各ワークフローで有効です。バリアブルデータ印刷ワークフローやカスタム回転では使用できません。

1 Fiery Impose の**設定**ペインで、**ブックレット**（デフォルトの**中とじ**および**左**を使用）を選択してブックレットを作成し、**仕上がりサイズ**を**ユーザー定義**に設定します。

2 シートサイズを選択します。

3 **自動ページ回転**メニューで、次のいずれかの自動回転方向を選択します。

- **90 度時計回り**
- **90 度反時計回り**

4 **拡大縮小**で、**均等に仕上がりサイズに合わせる**を選択します。

5 **設定**ペインの上部にある保存アイコンをクリックします。

6 テンプレートの名前を入力し、通常の面付けジョブとして保存します。

7 **OK** をクリックします。

8 保存しないでジョブを閉じます。

9 Fiery Hot Folders を開きます。

10 **次へ**をクリックし、新しいホットフォルダーを作成します。

11 **ホットフォルダー設定**ウィンドウにホットフォルダーの名前を入力します。

12 **選択**、**接続**の順にクリックして Fiery サーバーに接続します。

13 **ジョブアクション**メニューで**処理後待機**を選択します。

14 **ジョブのプロパティ**オプションで**定義**を選択します。

15 **ジョブのプロパティ**ウィンドウで**レイアウト** > **面付けタブ**を選択します。

16 **テンプレート** オプション用に作成したテンプレートを選択します。

17 OK をクリックします。

18 **ホットフォルダー設定**ウィンドウで、**OK** をクリックします。
ホットフォルダーはデスクトップに作成されます。

19 デスクトップ上で、ページ方向の混在するジョブをホットフォルダー内にドラッグします。

20 Fiery サーバーに移動します。ジョブが表示され、処理されます。

Fiery Impose での手動によるページの変更

Fiery Impose を使用すると、ページの回転、編集、順序の変更、挿入、および削除を手動で行うことができます。

ページの回転

シート表示ウィンドウでは、ワイヤーフレームモードでのみページを回転できます。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - 1 ページのみを回転するには、そのページの**回転**アイコンをクリックします。

    ズームアウトし過ぎると、**回転**アイコンが見えないことがあります。アイコンが表示されるまでズームインします。
  - ジョブの全ページを回転するには **Shift** キーと **Ctrl** キーを押し、任意のページの**回転**アイコンをクリックします。
  - 両面印刷された各シートのおもて側の特定の場所のページをすべて回転するには、**Shift** キーを押し、任意のシートのその場所で任意のページの**回転**アイコンをクリックします。
  - 両面印刷された各シートのおもて側とうら側の特定の場所のページをすべて回転するには、**Ctrl** キー（Windows）または **Cmd** キー（macOS）を押し、任意のシートのその場所で任意のページの**回転**アイコンをクリックします。

ジョブを開いて Acrobat で編集する

Fiery Impose では、Adobe Acrobat でジョブを開いて編集できます。

メモ：Fiery Impose との統合には、有効な Adobe サブスクリプションが必要です。

- **ページ表示**ウィンドウでページを右クリックし、**Acrobat で編集**をクリックします。

ページの順序の変更

個々のページの順序を手動で変更するには、メインウィンドウでページを並べ替えます。

- **ページ表示**ペインで、移動するサムネイルを選択し、ページを新しい位置にドラッグします。

手動によるブランクページの挿入

レイアウトにブランクページを追加できます。

- **ページ表示**ペインで、ページを追加する場所のページを選択し、**ページ表示**ツールバーの**ブランクページ挿入**アイコンをクリックします。

ページの削除

ページをすばやく削除できます。

- **ページ表示**ペインでページを右クリックし、表示されるメニューから**削除**を選択します。

Fiery Impose の VDP

Fiery Impose のバリアブルデータ印刷（VDP）面付けは、通常の面付けジョブで使用可能な多くの機能を利用します。しかしながら、VDP と通常の面付け、そして Fiery Impose ウィンドウには差があります。

バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブは 1 つまたは複数のバリアブルデータ記録から成ります。

Fiery Impose により、以下の VDP 形式で保存されたジョブに面付けができます。

- FreeForm 1.0 と FreeForm 2.1（FreeForm 2.0 はサポートされていません）
- FreeForm Create 2.0
- FreeForm Plus
- VPS
- PPML
- PDF/VT

定義済みテンプレートまたは Fiery Impose で作成されたカスタムテンプレートを使用して、VDP ジョブを面付けできます。

VDP ジョブにテンプレートを適用すると、テンプレートの面付けレイアウトがジョブの各レコードに順序通りに適用されます。

- 各レコードは新しいシートで始まります。
- シートがレコードで完全にフィルされないと、Fiery Impose によってシートサーフェス上の残りのスロット分のブランクページが 1 枚または複数枚挿入されます。
- 各レコードのページ数は異なることがあります。レコード間のページの長さの違いを補正するために、Fiery Impose によってブランクページが挿入されます。

VDP ジョブを開く/プレビューするには

ジョブセンターの**待機**リストからバリアブルデータ印刷（VDP）ジョブを開くことができます。処理済みの VDP ジョブをプレビューするには、**ラスタープレビュー**ウィンドウを使用します。

- 次のいずれかを行います。
  - バリアブルデータ印刷ジョブを開くには、ジョブセンターの**待機**リストでそのジョブを右クリックします。
  - バリアブルデータ印刷ジョブをプレビューするには、**ラスタープレビュー**ウィンドウ（**アクション** > **プレビュー**）を使用します。

    プレビューにはジョブに適用されている面付け設定がすべて含まれます。ジョブの内容は、レコードまたは仕上げセットによって設定された実際のサイズで表示されます。

バリアブルデータ印刷ジョブの面付け

面付け設定はバリアブルデータ印刷ジョブの各ページに適用されます。多くのバリアブルデータ印刷面付け設定は、バリアブルデータ印刷以外のジョブに対するものと同様です。

メモ：普通、**ブックレット**、**ギャングアップ**は、バリアブルデータ印刷面付けで利用できるワークフロー（製品インテント）です。**作成**は使用できません。

バリアブルデータ印刷ジョブの面付けをする際は、次の点に注意します。

- **シートサイズ**メニューには、現在選択されているシートサイズと直近に使用されたシートサイズが含まれている
- **テンプレート**メニューでは、事前に定義されたテンプレートや、 Fiery Impose で作成されたカスタムテンプレートを選択できる
- **バリアブルデータ印刷面付け**ウィンドウでカスタムテンプレートを作成する際は、バリアブルデータ印刷専用機能にアクセスするためにバリアブルデータ印刷ジョブを開いておく必要がある

VDP ジョブのコントロールストリップの印刷

コントロールストリップは、絶対的な面番号、出力セット番号、出力セットの開始位置に対する面番号、各レコードの論理ページ数を示すものです。

- **ページマーク**、**定義**の順にクリックします。

VDP 面付けのブックレット、拡大縮小、またはブリードの指定

マルチアップブックレット、ブリード、拡大縮小に関するバリアブルデータ印刷（VDP）面付け設定は、標準的な Fiery Impose ジョブの設定とは若干異なります。

VDP ジョブのマルチアップブックレットの設定

バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブで**中とじ**を選択すると、**2x2 唯一製本レイアウト**を指定できますこれによって 1 枚のシートに 2 つのレコードを印刷できます。長さが異なるレコードに対しては、Fiery Impose がページ付け要件に基づいてブランクページを自動的に配置します。

仮想プリンターまたは Fiery Hot Folders から選択可能なプリセットとしてこうした設定を保存できます。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose** を選択します。

2 **Fiery Impose** ウィンドウで、製品インテントに**ブックレット**を選択し、とじ方に**中とじ**を選択します。

3 次の綴じスタイルのいずれかを選択します。

- **左**
- **右**
- **上**

4 **編集**をクリックするか、**シート**オプションにシートサイズを指定します。

5 **表紙**をクリックし、表紙設定を指定します。

6 **表紙の用紙**ウィンドウの**おもて表紙**および**裏表紙**オプションで、次のいずれかを選択します。

- **なし**
- **内側**
- **外側**
- **両面**

7 **OK** をクリックします。

8 **レイアウト方向**を指定します。

9 **行と列のレイアウト**オプションで **2x2 唯一製本レイアウト**を選択します。

メモ：2x2 唯一製本レイアウトは、VDP ジョブでのみ使用できます。PostScript や PDF のジョブに面付けをする場合に同じテンプレートを使用すると、デフォルト設定は **2x2 反復製本レイアウト**になります。

10 必要に応じてその他の設定を指定します。

VDP 面付けでのブリードまたは拡大縮小の設定

VDP 面付けでブリードを設定すると、トンボ（トリミングマーク）の位置が変化します。デフォルトでは、Fiery Impose のトンボ（トリミングマーク）は画像の端に配置されます。VDP 面付けにブリード値を適用すると、トンボ（トリミングマーク）がブリードの分だけ自動的にオフセットされます。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - **ブリード**では、**横**および**縦**フィールドにブリード値を入力します。
  - **拡大縮小**ペインで、**拡大縮小**メニューから、**用紙サイズに合わせる**、**100%**、または**カスタム**を選択します。

    カスタムを選択した場合、**拡大縮小率**フィールドに拡大縮小率を入力します。

VDP 面付けでのギャングアップ設定

バリアブルデータ印刷（VDP）面付けでは、ページレベルまたはレコードレベルのどちらかで**ギャングアップ**を処理できます。

次のいずれかを選択します。

- **単一レコードモード** - 面付けは一度に 1 つのレコードに適用されます。Fiery Impose は、単一レコード内のページに対して**ギャングアップ**操作を実行します。
- **複数レコードモード** - 面付けは一度に複数のレコードに適用されます。Fiery Impose は、複数レコード内のページに対して**ギャングアップ**操作を実行します。

ギャングアップ	VDP オプション VDP ギャングアップ	使用可否	Fiery Impose 同等の以前のバージョン
唯一	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 有効化	唯一 複数レコードギャングアップ
繰り返す	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 なし	繰り返す なし
唯一 – 丁合い	単一レコードモード 複数レコードモード	有効化 有効化	唯一 – 丁合い カットスタック
Duplo-短辺給紙	単一レコードモード 複数レコードモード	なし 有効化	なし なし
Duplo-長辺給紙	単一レコードモード 複数レコードモード	なし 有効化	なし なし

VDP ジョブの単一レコード面付け

単一レコード面付けでは、バリアブルデータ印刷（VDP）ジョブ内の各レコードが一度に 1 つずつ面付けされます。同じ面付け形式が各レコードに対して反復されます。

どの面付けシート（折り丁）にも単一レコードのページのみが含まれ、そのレコードからのページではシートを完全に埋めることができない場合は、ブランクページが挿入されます。

VDP ジョブの**単一レコード面付け**では、**ギャングアップ反復**、**ギャングアップ唯一**、**唯一 - 丁合い**がサポートされています。

図 1: ギャングアップ反復を使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 2 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）

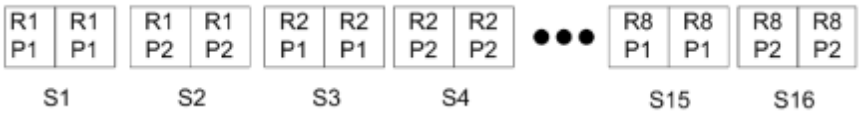


図 2: ギャングアップ唯一を使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 2 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



図 3: 唯一 - 丁合いを使用した単一レコード面付けの例（8 レコード、1 レコードあたり 4 ページ、1 行 x2 列のレイアウト、片面印刷、R=レコード、P=ページ、S=シート）



VDP ジョブの複数レコード面付け

複数レコードの面付けでは、VDP ジョブ内の複数のレコードが 1 枚のシートに面付けされます。複数レコードが一度に処理されます。

VDP ジョブの**複数レコードの面付け**では、**複数レコード丁合い**と**カットスタック**がサポートされます。**カットスタック**では、カットパイルを並べ替えずにすばやく重ねられるように、シート上に複数レコードを配置できます。多くのレコードを含む大規模なジョブの場合、ジョブをセットに分けて、取り扱いを容易にすることができます。

図 4: 8 つのレコードに対する複数レコード丁合い、レコード当たり 2 ページ、1 行 x 2 列のレイアウト、片面印刷の例 R = レコード、P = ページ、S = シート

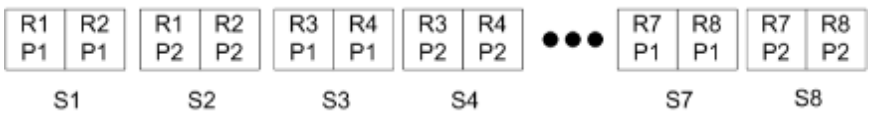
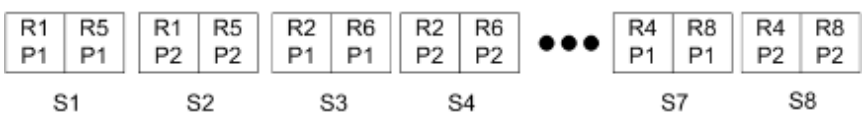


図 5: 8 つのレコードに対するカットスタック、レコード当たり 2 ページ、1 行 x 2 列のレイアウト、片面印刷の例 R = レコード、P = ページ、S = シート



Duplo VDP ギャングアップ

Duplo VDP ギャングアップレイアウトは、給紙 Duplo スリッター/カッター/クリーサーフィニッシャー用のページ付け形式をサポートしています。Duplo ギャングアップ形式により、印刷対象シートを 1 枚ずつ送信順に仕上げるページ付けが作成されます。

メモ：Duplo ギャングアップレイアウトでは、**スタイル**設定を使用できません。また、**おもて表紙**も**裏表紙**も指定できません。

使用できる **Duplo ギャングアップ**レイアウトは次のとおりです。

- **Duplo-短辺給紙** - 最後に印刷されたシートを用紙の短辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。
- **Duplo-長辺給紙** - 最後に印刷されたシートを用紙の長辺から Duplo フィニッシャーに供給できるページ付け方向を設定します。

多機能仕上げデバイスとの統合

Fiery Impose は、スリッター、カッター、クリーサー、ミシン目機能を備えたインラインおよびオフラインの多機能フィニッシャーと統合されています。 **Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**またはから仕上げデバイスを選択できます。選択した仕上げデバイスに応じて、次のタスクを 1 つまたは組み合わせて実行できます。

- レジストレーションマークおよびバーコードの設定（72 ページ）
- フィニッシャープリセットの適用（72 ページ）
- フィニッシャープリセットの作成（75 ページ）

メモ：タスクはデバイスに依存しており、選択した仕上げデバイスでサポートされている場合にのみこれらのタスクを実行できます。

レジストレーションマークおよびバーコードの設定

Fiery Impose では、選択した仕上げデバイスでサポートされているレジストレーションマークおよびバーコードのタイプのみが使用できます。面付けしたレイアウトにレジストレーションマークとバーコードを挿入できます。詳細については、Fiery Impose でレジストレーションマークおよびバーコードを設定する（61 ページ）を参照してください。

フィニッシャープリセットの適用

ジョブに適用できるプリセットには、次の 2 種類があります。

- Fiery Impose との直接統合がないオフラインフィニッシャーまたはフィニッシャーで使用可能な.xml 形式のフィニッシャーレイアウトファイル。これらのフィニッシャーレイアウトファイルは、テンプレートとしてインポートおよび保存できます。詳細については、フィニッシャーレイアウトファイルについて（73 ページ）を参照してください。
- Fiery Impose と直接統合されたインラインフィニッシャーまたはフィニッシャーで使用可能な既存のプリセット。詳細については、既存プリセットの適用（75 ページ）を参照してください。

どちらの方法でもプリセットを適用する場合、ジョブに適用される面付け設定は仕上げデバイスの設定と同じです。

フィニッシャーレイアウトファイルについて

フィニッシャーレイアウトファイルには、フィニッシャーで定義したレイアウト設定に関する情報が含まれています。一部のオフラインフィニッシャーは、フィニッシャーレイアウトファイルへのレイアウト設定のエクスポートをサポートしています。

サポートされるカット、トリム、折り目またはミシン目仕上げデバイスで定義されたレイアウト設定をフィニッシャーレイアウトファイルにエクスポートすると、レイアウト設定が同じ Fiery Impose テンプレートを作成できます。新しいテンプレートを保存すると、フィニッシャーで手動による設定を行わずに、レイアウト設定を将来のジョブに適用できます。

次の点に注意してください。

- フィニッシャープリセットの適用機能は、一部のインラインフィニッシャーおよびオフラインフィニッシャーでのみサポートされています。
- フィニッシャーレイアウトのバッチファイルのインポートはサポートされていません。
- フィニッシャーレイアウトファイルはデフォルトでインポートすると、**ユーザー定義**の仕上がりサイズの面付けテンプレートとして保存されます。Fiery Impose で設定された仕上がりサイズは、フィニッシャーレイアウトファイルで定義された切り取りブロックの寸法と一致します。仕上がりサイズの面付けテンプレートのレイアウトを変更する設定は、グレー表示になります。
- ジョブにテンプレートを適用すると、シート表示ウィンドウで、ページの内容の配置と、仕上げ線（折り目およびミシン目線）を確認できます。

フィニッシャー線

エクスポートされたフィニッシャーレイアウトファイルには、レイアウトパラメーターに加えて、ラインタイプに関する情報も含まれています。

次の表はフィニッシャーラインの種類を表示します。

ラインタイプ	ツール ID	サンプル
折り目	0：下へ 1：上へ	
ミシン目	0：ミシン目 1：マイクロミシン目 2：スリットスコア（ハーフカット） 3：スコア（クリース）	
折り	なし	

フィニッシャーレイアウトファイルの使用

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose** を選択します。

2 Fiery Impose では、以下で環境設定を設定します。

- Windows：**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**
- Mac コンピューター：環境設定は、Fiery Impose ウィンドウ内の Fiery Command WorkStation メニューにあります。

3 **フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択して、**フィニッシャー統合**セクションの設定を指定します。

フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。

4 **フィニッシャー設定**セクションで、**デバイス選択**リストから、使用するフィニッシャーを選択します。

5 **OK** をクリックして Fiery Impose を再起動し、変更を有効にします。

6 **アクション** > **フィニッシャープリセットの適用**を選択するか、**設定**ウィンドウの上部にある**フィニッシャープリセット**ボタンをクリックします。

7 フィニッシャーレイアウトファイルの保存場所を参照し、**開く**をクリックします。

メモ：フィニッシャーレイアウトファイルがインポートされると、フィニッシャーラインに関するその他の情報もフィニッシャーレイアウトファイルに保存されます。フィニッシャーレイアウトファイルで制御されるレイアウト設定の一部は、グレー表示になります。すべての設定は、面付けテンプレートが保存されている場合、または**レイアウトを消去**をクリックした場合に有効になります。

フィニッシャーレイアウトのインポートが成功すると、フィニッシャーレイアウトファイルの名前が **設定**ペインの上部、**テンプレート**リストの下に表示されます。

8 フィニッシャーレイアウトファイルに含まれていない追加設定を指定します。たとえば、ページレベルを両面または片面印刷に設定したり、拡大縮小率を定義したりします。

9 フィニッシャーレイアウトをテンプレート、通常の面付けジョブ、または統合 PDF として保存します。

メモ：インポートしたファイルの名前を変更しない場合は、その名前がテンプレートの名前として表示されます。

10 Fiery Hot Folders の Fiery Impose またはワークフロー、サーバープリセット、仮想プリンター、Fiery JobFlow のいずれかを使用して、仕上がりサイズとブリードサイズが同じジョブにテンプレートを適用します。

Fiery Impose を使用してジョブにテンプレートを適用すると、ページの内容の配置と、折り目およびミシン目の仕上げ線を確認できます。

11 フィニッシャーレイアウトファイルをインポートした後、ツールバーの**フィニッシャーレイアウトのラインを表示**ボタンをクリックしてフィニッシャーラインを表示します。

インポート時にテンプレートを保存した場合、フィニッシャーラインの情報は Fiery Impose テンプレートと一緒に保存されるため、テンプレートをロードするたびに利用できます。

既存プリセットの適用

既存のフィニッシャープリセットを適用するには、まず**フィニッシャー統合を許可**オプションを選択し、**Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**で仕上げデバイスを指定する必要があります。詳細は、ユーザー環境設定について（11 ページ）を参照してください。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose** を選択します。

2 Fiery Impose **設定**ウィンドウで、**フィニッシャープリセット**をクリックします。

フィニッシャープリセットウィンドウが表示されます。

3 **フィニッシャープリセット**リストからフィニッシャープリセットを選択します。

メモ：フィニッシャープリセットウィンドウのその他部分は読み取り専用です。**フィニッシャープリセット**ウィンドウの詳細については、フィニッシャープリセットウィンドウでの設定（77 ページ）を参照してください。

4 **適用**をクリックして、選択したフィニッシャープリセットをジョブに適用します。

既存のプリセットを適用する場合、**レイアウト**、**折り目**、**ミシン目**の各タブの設定は読み取り専用になります。プリセットの適用後、プリセットで制御される一部のレイアウト設定はグレー表示になります。フィニッシャープリセットで適用された設定を削除するには、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**をクリックします。

フィニッシャープリセットの作成

Fiery Impose では、対応するフィニッシャーの設定に基づいてフィニッシャープリセットを作成できます。フィニッシャープリセットを作成すると、レイアウトの設定はフィニッシャーの制限や制約に関して同時に検証されます。そのため、公開するプリセットにはフィニッシャーとの互換性があります。公開されたプリセットは、Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにエクスポートされます。公開済みプリセットをジョブに適用すると、フィニッシャーは印刷出力に必要な仕上げ機能を実行できます。

メモ：この機能は現在、使用しているフィニッシャーにのみ対応しています。

フィニッシャープリセットを作成するには、次のタスクを実行します。

1 フィニッシャー環境設定の設定（75 ページ）

2 フィニッシャープリセットを作成するための設定を指定する（79 ページ）

3 フィニッシャープリセットの公開（84 ページ）

フィニッシャー環境設定の設定

フィニッシャープリセットを作成するには、まず**フィニッシャー**タブで環境設定を指定する必要があります。

1 Command WorkStation の**待機**リストからジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose** を選択します。

2 Fiery Impose で**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**を選択します。

メモ：Windows コンピューターでは、Fiery Impose 環境設定を**編集** > **環境設定**で行います。Mac コンピューターの場合は、環境設定は、**Fiery Impose** ウィンドウの FieryCommand WorkStation メニューにあります。

3 **フィニッシャー統合を許可**チェックボックスを選択して、**フィニッシャー統合**セクションの設定を指定します。

フィニッシャーが使用されていない場合は、このチェックボックスをオフにできます。

4 **デバイス選択**リストから、使用するフィニッシャーを選択します。

メモ：フィニッシャープリセットの作成は現在、使用しているフィニッシャーでのみサポートされています。

フィニッシャーを選択した場合は、次の追加設定を指定します。

5 Duplo PC Controller コンピューターのインストールフォルダーにアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- **PC コントローラーパス**で、Duplo PC コントローラーコンピューターのインストールフォルダーへのパスを指定します。

  インストールフォルダーには、Duplo PC Controller コンピューターに作成したインポートおよびエクスポートフォルダーの詳細を含む設定ファイルが含まれています。

- Duplo PC Controller コンピューターでインストールフォルダーを選択し、**プリセットのパス**フィールドに入力するには、**参照**をクリックします。

メモ：Fiery Impose との統合を可能にするために、Duplo PC Controller コンピューターの設定を若干変更する必要があります。詳細は、Duplo PC Controller ソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

Fiery サーバーと Duplo PC Controller ソフトウェアを搭載したコンピューターの間の接続をテストする場合は**テスト**をクリックします。

プリセットをインポートをクリックして、バックアップまたはダウンロードしたプリセットをインポートすることもできます。

メモ：インポートしたプリセットが**フィニッシャープリセット**ウィンドウに一覧表示されます。

6 フィニッシャーで使用可能なミシン目モジュールの数を、対応するリストから指定します。

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目、および横方向縦スジをサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618

フィニッシャーモジュール	説明	対応フィニッシャー
CPM	十字ミシン目モジュール（CPM）は、横方向ミシン目または十字ミシン目をサポートするためにフィニッシャーにインストールされたオプションモジュールです。ミシン目は給紙辺に対して平行に行われます。ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの CPM モジュールが使用可能である必要があります。横方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-648
CRM	上折り目モジュール（CRM）を使用すると、標準の下折り目（谷折り）に加えて、シートの水平方向に上折り目（山折り）をつけることができます。	• Duplo DC-648
OSM	オプションのスリッターモジュール（OSM）を使用すると、標準のスリッターモジュールと合わせて、1 シートあたり最大 8 スリットを作成できます。	• Duplo DC-648
PFM	PFM（ミシン目モジュール－縦方向）モジュールでは、給紙辺に対して垂直方向でミシン目を入れます。ジョブで縦方向ミシン目が必要な場合は、フィニッシャーで最低 1 つの PFM モジュールが使用可能である必要があります。 縦方向ミシン目を実行するには、フィニッシャーで使用可能なモジュール数を選択する必要があります。	• Duplo DC-618
RTM	ロータリーツールモジュール（RTM）は、印刷された出力の右側と左側で一度に 2 つのミシン目を入れることができる高度な縦方向ミシン目ユニットです。1 つのフィニッシャーに最大 2 つの RTM をインストールできます。	• Duplo DC-618 • Duplo DC-648

7 **最小バーコード範囲**および**最大バーコード範囲**で、フィニッシャープリセットの最小バーコード範囲および最大バーコード範囲を指定します。

メモ：バーコードは、ジョブに適用されるプリセットを識別するために使用されます。Duplo PC Controller コンピューターからプリセットをエクスポートすると、ジョブの印刷時にバーコード番号がシートに配置されます。印刷された出力をフィニッシャーに挿入すると、フィニッシャーのスキャナーがバーコードをスキャンし、プリセット番号を使用して自動的に正しいプリセットをジョブに割り当てます。

フィニッシャー環境設定を指定した後、変更を有効にするには、Fiery Impose を再起動する必要があります。

フィニッシャープリセットウィンドウでの設定

フィニッシャープリセットを作成するには、Fiery Impose でスプール済みジョブを表示し、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定します。**フィニッシャープリセット**ウィンドウでは、**レイアウト設定**（80 ページ）、**折り目**（81 ページ）、**ミシン目**（82 ページ）の 3 つのタブで設定できます。

次の点に注意してください。

- 指定する各設定の適用範囲は、**フィニッシャープリセット**ウィンドウの下部にあるステータスバーに表示されます。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定すると、**シート表示**ウィンドウで変更をプレビューできます。**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定しない場合、デフォルト値が自動的に設定されます。
- 設定とタブは順番に移動できます。ただし、前の設定またはタブに戻ると、指定したすべての値と設定がデフォルト値に戻ります。
- 情報メッセージや警告メッセージなどの診断情報は、**設定**ウィンドウの下部に表示されます。

次のコントロールを使用して、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定できます。

項目	説明
フィニッシャーモデル	**Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で指定したフィニッシャーの名前とモデルが表示されます。 **使用可能なモジュールを表示**をクリックして、CPM、PFM、RTM に指定されたモジュール数を表示します。詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（75 ページ）を参照してください。
フィニッシャープリセット	既存のプリセットから新規プリセットを作成するには、**新規プリセット**を選択するか、**このプリセットを使用して新規作成**をクリックします。既存のプリセットもこのリストに含まれています。詳細については、既存プリセットの適用（75 ページ）を参照してください。 **メモ：**フィニッシャープリセットの作成は、一部のフィニッシャーでのみサポートされています。
ジョブ/バーコード番号	シートに表示するバーコードに対応する番号を指定します。新しいプリセットを作成すると、次の使用可能な連番が自動的にプリセットに割り当てられます。 **メモ：**バーコードはフィニッシャーによって異なります。
設定	左側のリストで横方向のミシン目の数を、右側のリストで縦方向のミシン目モジュールの数を指定します。 **メモ：**このオプションはフィニッシャーに応じて使用できます。
レイアウト設定タブ	フィニッシャープリセットのレイアウト設定を指定します。詳細については、レイアウトタブで設定を指定する（80 ページ）を参照してください。
折り目タブ	折り目の数を指定します。詳細については、折り目タブで設定を指定します。（81 ページ）を参照してください。
ミシン目タブ	横方向ミシン目および縦方向ミシン目の数を指定します。さらに、各ミシン目に適用できるパターンとセグメントを定義します。詳細については、ミシン目タブで設定を指定する（82 ページ）を参照してください。
ステータスバー	ウィンドウの下部に各設定の有効範囲を表示します。次の設定に進むには、有効範囲内の値を入力する必要があります。

項目	説明
矢印	キーボードの矢印キーを使用して、タブ内の設定を移動します。 または、**Tab** キーを使用して次の設定に移動し、**Shift** + **Tab** キーでひとつ前の設定に戻します。
次へおよび戻るボタン	タブ間を移動します。
適用ボタン	ジョブに設定を適用します。 **メモ：**適用では、レイアウトはプリセットとして公開されません。レイアウトがジョブに適用されたら、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**または**公開**を選択できます。
適用して公開ボタン	1 回のクリックで適用機能と公開機能の両方を実行します。**ミシン目**タブで**適用して公開**が表示されます。**レイアウトの公開**ウィンドウで設定を指定し、**公開**をクリックして、設定に基づいてフィニッシャープリセットを生成します。このフィニッシャープリセットは、Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートされます。

フィニッシャープリセットを作成するための設定を指定する

プリセットを作成するには、**フィニッシャープリセット**ウィンドウで設定を指定する必要があります。詳細は、フィニッシャープリセットウィンドウでの設定（77 ページ）を参照してください。

1 Command WorkStation の**待機**リストからスプール済みジョブを選択し、Fiery Impose を次のいずれかの方法で開きます。

- **アクション**メニューから **Impose** を選択します。
- ジョブを右クリックし、**Impose** を選択します。

2 **設定**ペインで、**フィニッシャープリセット**をクリックして、**フィニッシャープリセット**ウィンドウを開きます。

3 **使用可能なモジュールを表示**をクリックして、使用しているフィニッシャーのオプションに指定されたモジュール数を表示します。

フィニッシャーモデルには、**編集** > **環境設定** > **フィニッシャー** > **デバイス選択**で指定したフィニッシャーの名前が表示されます。

詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（75 ページ）を参照してください。

4 プリセットを作成するには、次のいずれかを実行します。

- **フィニッシャープリセット**リストから**新規プリセット**を選択します。
- 既存のプリセットから新規プリセットを作成するには、**このプリセットを使用して新規作成**をクリックします。

次の点に注意してください。

- この機能は現在、使用しているフィニッシャーでサポートされています。
- **フィニッシャープリセット**リストから既存のプリセットを選択できます。詳細については、既存プリセットの適用（75 ページ）を参照してください。

5 **ジョブ/バーコード番号**で、シートに表示できるバーコードに対応する番号を指定します。

メモ：バーコードはフィニッシャーによって異なります。

下部のステータスバーでバーコード範囲を表示できます。新しいプリセットを作成すると、次の連番が自動的にプリセットに割り当てられます。

6 **設定**で、左側のリストで横方向のミシン目の数を、右側のリストで縦方向のミシン目モジュールの数を指定します。

フィニッシャーのスロット数によっては、横方向のミシン目を 1 に指定した場合、縦方向のミシン目モジュールとして 1 のみを選択できます。ただし、ジョブが横方向のミシン目を必要としない場合は、横方向のミシン目リストで 0 を選択すると、最大 2 つの縦方向ミシン目のモジュールを使用できます。ジョブがミシン目を必要としない場合は、横方向ミシン目リストおよび縦方向ミシン目リストで 0 を選択します。使用可能なスロット数はフィニッシャーによって異なります。設定可能な縦方向ミシン目の数は、横方向の操作が必要かどうかによって異なります。

選択したフィニッシャーに応じて、次のいずれかの横方向ミシン目を選択できます。

- **横方向ミシン目（CPM）**
- **横方向上折り目（CRM）**

上折り目とミシン目を同時に使用することはできません。

メモ：縦方向ミシン目の場合、使用可能なモジュールの最大数は、**Fiery Impose** > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**の PFM および RTM で指定した値によって決定されます。PFM および RTM の詳細は、フィニッシャー環境設定の設定（75 ページ）を参照してください。

レイアウトタブで設定を指定する

1 **シートサイズ**リストから、ジョブに必要な用紙サイズを選択します。

シートサイズには、フィニッシャーがサポートする用紙サイズのみが表示されます。サイズを選択すると、**シート表示**ウィンドウで選択した用紙サイズでジョブをプレビューできます。**編集**をクリックして、用紙の種類、重量、カラーなど、その他の用紙関連の仕様を選択します。

2 シートの給紙方向を設定するには、**フィニッシャー給紙方向**リストから**縦**または**横**を選択します。

メモ：シート表示ウィンドウのジョブのプレビューには、シートの想定されている給紙辺を示す矢印が上部に表示されます。

3 ジョブの印刷時にシートにバーコードを表示するには、**バーコード**チェックボックスを選択します。

このチェックボックスを選択すると、**ジョブ/バーコード番号**で選択した番号に対応するバーコードがシートに表示されます。デフォルトでは、バーコードは右上隅に表示されます。

4 **仕上げサイズ**で、仕上がり後のジョブのサイズを指定します。左側のリストで幅、右側のリストで高さを指定できます。

5 **行と列**でシートに適用する行と列の数を選択します。

シートサイズと**仕上げサイズ**で指定した値に応じて、シートに収まる行と列の数が自動的に計算されます。

6 **とじしろ**で、縦方向と横方向のとじしろを指定します。とじしろは次のいずれかのように設定できます。

- **固定**：横方向のとじしろと縦方向のとじしろに同じ値を設定します。
- **バリアブル**：横方向のとじしろと縦方向のとじしろに異なる値を設定します。

メモ：とじしろは、シート上の 2 つの隣接ページ間の間隔を指します

7 **レイアウトオフセット**の左側のフィールドで、シートの上端（給紙辺）とジョブの開始点の間の距離を指定します。右側のフィールドで、シートの右端とジョブの開始点の間の距離を指定します。

メモ：シートのフィニッシャーマークに必要な追加のスペースを収めるために、**レイアウトオフセット**を指定する必要があります。

8 **次へ**をクリックして、**折り目**タブと**ミシン目**タブの設定を指定します。ジョブに折り目またはミシン目を必要としない場合は、次のいずれかを実行します。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。
- **設定**ウィンドウで**公開**をクリックして、フィニッシャープリセットを生成し、プリセットを Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートします。

折り目タブで設定を指定します。

1 **折り目の数**リストから仕上がり製品に適用する折り目の数を選択します。折り目の数を選択すると、**折り目位置**設定が表示されます。

2 **折り目位置**で、仕上がり製品の各折り目の位置を指定します。
フィニッシャーに応じて、次の点に留意してください。

フィニッシャー	出力結果
Duplo DC-618	• **折り目の数**リストで選択した折り目の数に応じて、折り目の位置に対応する行が表示されます。 • 折り目の位置は、仕上がりサイズの先端からの距離に基づいて計算されます。 • **折り目の数**リストで**なし**を選択すると、折り目の位置設定は表示されません。 • レイアウトに複数の仕上がり製品がある場合は、選択した折り目の数が各仕上がり製品で繰り返されます。 • 縦方向の折り目はサポートされていません。
Duplo DC-648	• CRM モジュールでは、折り目オプションを折り目ダウンまたは折り目アップに設定できます。

3 **次へ**をクリックして、**ミシン目**タブの設定を指定します。ミシン目を必要としない場合は、次のいずれかを実行します。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。
- **設定**ウィンドウで**公開**をクリックして、フィニッシャープリセットを生成し、プリセットを Duplo PC Controller コンピューターにエクスポートします。

ミシン目タブで設定を指定する

横方向、縦方向または横方向と縦方向の組み合わせのミシン目を、要望に合わせてジョブに適用できます。ミシン目には最低 1 つのパターンを定義する必要があります。パターンは、1 つの連続ミシン目または小さいセグメントに分割できます。

ミシン目タブの設定は、次の操作を行う場合にのみ有効になります。

- Fiery Impose > **編集** > **環境設定** > **フィニッシャー**で、横方向ミシン目モジュールおよび縦方向ミシン目モジュールを指定します。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウの**設定**リストで、横方向ミシン目モジュールおよび縦方向ミシン目モジュールを指定します。

横方向ミシン目の指定

1 **横方向ミシン目数**で、ジョブに必要な横方向のミシン目の数を選択します。

横方向ミシン目の数を選択すると、Y 位置の設定が表示されます。詳細については、Y 位置（83 ページ）を参照してください。

次の点に注意してください。

- ジョブに適用できる横方向ミシン目の最大数は、仕上がりサイズによって異なります。
- **横方向ミシン目数**で**なし**を選択すると、Y 位置設定は表示されません。
- レイアウトに複数の仕上がり製品がある場合は、選択した横方向のミシン目数が各仕上がり製品で繰り返されます。

2 **パターン数**の場合は、横方向ミシン目パターンの数を選択します。

パターンの数を選択すると、パターン定義設定が表示されます。詳細については、パターン定義（83 ページ）を参照してください。

メモ：横方向ミシン目の数を選択すると、**パターン数**が自動的に 1 に設定されます。この値は必要に応じて変更できます。

3 **ツール ID** で、ジョブの要件に応じてミシン目のタイプと形状を選択します。ツール ID はデバイスによって異なります。

メモ：ジョブで横方向ミシン目が必要な場合は、ミシン目のパターンと位置を定義するために、まず**横方向ミシン目数**、**パターン**、**ツール ID** を指定する必要があります。

4 **パターン定義**で、各ミシン目のセグメント数と各セグメントの位置を定義します。**パターン数**リストで選択したパターンの数に応じて、パターン定義に対応する行が表示されます。

- **セグメント**：横方向ミシン目で必要なセグメントの数を指定します。
- **位置**：ミシン目の各セグメントの開始位置と終了位置を指定します。位置は仕上がりサイズの右端から計算されます。

5 **Y 位置**に各横方向ミシン目の位置を指定します。

次の点に注意してください。

- **横方向ミシン目数**リストで選択した横方向のミシン目の数に応じて、Y 位置に対応する行が表示されます。
- Y 位置は、仕上がりサイズの先端からの距離に基づいて計算されます。

6 **パターンを選択**で、定義済みの横方向ミシン目パターンのリストから選択します。

縦方向ミシン目

縦方向ミシン目は、PFM（ミシン目モジュール）と RTM（ロータリーツールモジュール）の 2 つの異なるメカニカルモジュールを使用して実行できます。PFM は、連続的なエンドツーエンドのミシン目を行いますが、セグメント化されたミシン目はサポートしていません。RTM は、セグメント化されたミシン目をサポートし、印刷出力の左右の 2 つの縦方向ミシン目を同時に実行することもできます。

次の点に注意してください。

- **フィニッシャープリセット**ウィンドウの**設定**リストで縦ミシン目モジュールを 1 つ選択した場合は、PFM または RTM のいずれかを使用できます。ただし、縦**設定**リストで縦ミシン目モジュールを 2 つ選択した場合は、RTM のみを使用できます。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウの縦**設定**リストで 2 つの縦ミシン目モジュールを選択した場合は、**ミシン目**タブで両方の縦モジュールの設定を指定する必要があります。

縦方向ミシン目を指定する

1 **モジュールタイプ**で、ジョブの種類に応じて **PFM** または **RTM** を選択します。

2 **PFM L/R** または **RTM L/R** で、シートの左右に適用するミシン目のタイプを選択します。

メモ：RTM の場合、左右にミシン目を指定すると、**縦方向のミシン目数**と**セグメント**は自動的に 1 に設定されます。これらの値は必要に応じて変更できます。

3 **縦方向ミシン目数**では、ジョブに必要な縦方向のミシン目の数を選択します。縦方向ミシン目の数を選択すると、パターン定義設定が表示されます。

次の点に注意してください。

- PFM は、シートの左右に 1 つのみの連続する縦方向ミシン目をサポートしています。
- RTM の場合、選択した縦方向ミシン目の数に応じて、パターン定義に対応する行が表示されます。

4 **パターン定義**で、縦方向ミシン目の位置を定義します。左右のミシン目の位置は仕上がりサイズの右端から計算されます。

- **X1R** および **X1L** 設定で、シートの左右にミシン目の位置を定義します。

  メモ：PFM は 1 つのみの縦方向ミシン目をサポートしています。

- RTM では、**縦方向のミシン目数**で選択した縦方向のミシン目の数に応じて、シートの左右に各ミシン目の X 位置を指定します。

RTM の場合、次の項目を設定することもできます。

- **セグメント**：縦方向ミシン目で必要なセグメントの数を指定します。
- **位置**：ミシン目の各セグメントの開始位置と終了位置を指定します。位置は仕上がりサイズの先端から計算されます。選択したセグメントの数に応じて、対応する位置の設定の数が表示されます。

メモ：セグメント化されたミシン目を実行できるのは RTM のみです。

フィニッシャープリセットの公開

1 プリセットを作成するための設定を指定した後、プリセットをジョブに適用し、プリセットを公開できます。または、プリセットを同時に適用して公開することもできます。**フィニッシャープリセット**ウィンドウで、次のいずれかを行います。

- **適用**をクリックして、ジョブに設定を適用します。**設定**ペインの**公開**をクリックします。
- **フィニッシャープリセット**ウィンドウで**適用して公開**をクリックします。

レイアウトの公開ウィンドウが開きます。

2 **レイアウトの公開**ウィンドウで、次の設定を指定します。

- **フィニッシャープリセット名**に、プリセットの名前を指定します。
- **フィニッシャージョブ番号**は、**フィニッシャープリセット**ウィンドウの**ジョブ/バーコード番号**に指定されているジョブ番号を表示します。ジョブ番号を自動生成するか、カスタムジョブ番号を指定するかを選択できます。
- Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにジョブを直接送信するには、**フィニッシャーのジョブキューに保存**チェックボックスを選択します。

  メモ：このオプションを選択しない場合、プリセットはエクスポートフォルダーに保存されます。Duplo PC Controller コンピューターが新しいファイルを検出し、プリセットをインポートして検証した後、プリセットをジョブキューに追加します。

- Duplo PC Controller コンピューターのジョブキューにジョブがリストされている場合に、ジョブのサムネイルプレビューを含めるには、**サムネイル画像を含める**チェックボックスを選択します。

3 **公開**をクリックします。

公開済みプリセットは、**フィニッシャープリセット**リストに一覧表示されます。同じレイアウトと仕上げ設定が必要な異なるジョブに、公開プリセットを適用できます。

次の点に注意してください。

- 情報メッセージや警告メッセージなどの診断情報は、**設定**ウィンドウの下部に表示されます。
- フィニッシャープリセットで適用された設定を削除するには、**設定**ウィンドウで**レイアウトを消去**を選択します。

Fiery Compose

Fiery Compose では、Command WorkStation のスプール済みの待機ジョブを印刷用に準備できます。

Fiery Compose で使用可能なオプションは、選択するプリンターによって異なります。Fiery Compose で、次のいずれかの操作を行うことができます。

- 章を設定してサブセット仕上げを適用する（サポートされている場合）
- おもて/裏表紙、本文ページ、セクションにそれぞれ異なる用紙を指定する
- ブランクページ、シート、タブまたはその他の書類を挿入する

Fiery Compose を使用するには、クライアントコンピューターの Fiery Compose ライセンスがアクティベートされている必要があります。

追加情報

- ページレベルで任意の PDF または PostScript ジョブの作業を行うことができます。Fiery Compose で PostScript ジョブを編集する場合、Fiery Compose は PostScript ジョブを PDF に変換します。ジョブに加えた変更はすべてシート表示ペインに表示されます。
- ジョブにプリンタードライバーまたは Command WorkStation で設定された**用紙種類の混合**設定が含まれている場合、Fiery Compose でジョブを表示するときにこれらの設定が表示されます。Fiery Compose でジョブを保存したら、**用紙種類の混合**ウィンドウに戻り変更を加えることはできません。

Fiery Compose を使用する前にジョブオプションを設定するには

ステープル、折り、パンチなどの仕上げオプションは、Command WorkStation（「ジョブのプロパティ」画面）、プリンタードライバー、または Fiery Compose を使用して設定できます。

これらの方法を使用すると、ジョブ全体に変更を適用できますが、Fiery Compose を使用すると、ジョブ内のサブセットに仕上げオプションを適用することができます。そのため、Fiery Compose でサブセット仕上げを設定することをお勧めします。

Fiery Compose でジョブを開いて表示する

Fiery Compose ウィンドウを使用してジョブを表示し、変更を加えます。Fiery Compose ウィンドウには、**ページ表示**、**シート表示**、**設定**の 3 つのウィンドウがあります。

- **ページ表示** - 選択したジョブが 1 つのページのサムネイルとして表示されます。
- **シート表示** - ジョブ全体がサムネイルとして表示されます。サムネイルビューとワイヤーフレーム表示を切り替えることができます（サムネイルをワイヤーフレームとして表示するとパフォーマンスが向上します）。

  ジョブが両面印刷の場合は、**シート表示**に各シートのおもてと裏が表示されます。
- **設定** - 最終的な印刷シート面での印刷特性やレイアウトに影響を及ぼすコントロールが表示されます。表示されるコントロールは、製品インテントによって異なります。

Fiery Compose でジョブを開く

Command WorkStation 使用して、スプールされたジョブを Fiery Compose で開くことができます。

- Command WorkStation の**待機**リストからスプール済みジョブを選択し、Fiery Compose を次のいずれかの方法で開きます。
  - アクションメニューから**作成**を選択します。

    ジョブを右クリックし、**作成**を選択します。

Fiery Compose でシート表示をサムネイルまたはフルページに設定するには

シート表示では、サムネイルとフルページの表示を切り替えることができます。サムネイルをワイヤーフレームとして表示することもできます。

メモ：フルページが表示されている場合、ページサイズは、そのページに割り当てられた用紙のサイズではなく、書類バウンディングボックスに表示されているページサイズになっています。

- 次のうち任意のものを実行します。
  - ウィンドウの下部にある**ページに合わせる**アイコン（）をクリックすると、1 つの面が表示領域にぴったり収まるようにズームが設定されます。
  - サムネイルビューを切り替えてサムネイルとワイヤーフレームのどちらかの表示にするには、**シート内容をトグル**アイコン（）をクリックします。

サムネイルのサイズを調整するには

ページ表示ペインでは、サムネイルのサイズを設定できます。**シート表示**ペインでは、ズーム表示や、ズーム値（%）の指定ができます。

- 次のいずれかを行います。
  - **ページ表示**でサムネイルを拡大縮小するには、**表示** > **サムネイル拡大**または**表示** > **サムネイル縮小**をクリックします。
  - **シート表示**でサムネイルをズーム表示するには、**シート表示**ペインの下部にあるスライダーをドラッグします。

Fiery Compose でのページの操作

Fiery Compose では、ページの追加、並べ替え、削除、別のジョブからのページ挿入ができます。ページタブ、章開始、または表紙を作成することもできます。ページに用紙を割り当てる。選択したページに両面を設定します。

メモ：用紙種類の混合設定を指定する前に、ジョブを編集する必要があります。ジョブを編集するとページ数が変化することがあり、用紙種類の混合にも影響を与えることがあります。ジョブの編集後は、必ず用紙種類の混合設定を確認してください。

ジョブを開いて Acrobat で編集する

Fiery Compose では、Adobe Acrobat でジョブを開いて編集できます。

メモ：Fiery Compose との統合には、有効な Adobe サブスクリプションが必要です。

- **ページ表示**ウィンドウでページを右クリックし、**Acrobat で編集**をクリックします。

Fiery Compose でページの順序変更、削除、または両面印刷の設定を行うには

Fiery Compose で選択したページを操作できます。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - ページの順序を変更するには、**ページ表示**ペインでページのサムネイルをクリックし、新しい位置にドラッグします。
  - ページを削除するには、削除するページ（複数可）を選択し、**編集** > **削除**をクリックします。
  - 選択したページまたは章に両面印刷を適用するには（プリンターでサポートされている場合）、ページを選択し、右クリックして、**両面ページ**をクリックし、必要な設定を指定します。

    メモ：ジョブ全体で両面印刷を使用するには、Command WorkStation でジョブの適切な設定を選択してから Fiery Compose でジョブを開くか、**設定**ペインで**両面印刷**を選択します。

Fiery Compose でブランクシートまたはブランクページを挿入するには

Fiery Compose を使用して、ブランクシートまたはブランクページを書類内の任意の場所に挿入できます。Fiery Compose では、選択したページの前にシートまたはページが挿入されます。

間接的ブランクページは、元の書類に指定された章開始および両面印刷設定を可能にするために、自動的に挿入されることがあります。間接的ブランクページは、作業している元の書類の一部ではないので、間接的ブランクページを表示したいかを選択することができます。

- 間接的ブランクページを表示するには、Fiery Compose の**表示**メニューから**間接的ブランク表示**を選択します。

手動でブランクページを挿入することもできます。

1. **ページ表示**ペインでページを選択します。
2. 次のいずれかを行います。
   - **アクション** > **ブランクシート挿入**を選択します。
   - **アクション** > **ブランクページ挿入**を選択します。

Fiery Compose で用紙をページに指定する

シート表示および**ページ表示**ペインで、用紙を個々のページまたはページ範囲に割り当てることができます。**ページ表示**ウィンドウでは、ジョブ全体に用紙を割り当てることもできます。

1. ページ（複数可）を選択します。
2. **アクション**から**用紙を割り当て**を選択します。
3. **ページ/ページ範囲の用紙**ウィンドウで用紙を指定します。

グレースケールに変換

各カラーページまたはサーフェイスをグレースケールに変換できます。

ジョブにはカラーが使用されている必要があります。また、Fiery Compose または Fiery JobMaster ライセンスをアクティベーションしておく必要があります。

1. Command WorkStation の**待機**キューにジョブをインポートします。
2. **待機**リストでジョブを選択し、Fiery Compose または Fiery JobMaster を選択します。

   Fiery Impose をアクティベートしていて、なおかつ Fiery Compose または Fiery JobMaster のいずれかをアクティベートしていれば、この機能にはを実行することでもアクセスできます。

3 **ページ表示**ペインまたは**シート表示**で、任意のカラーページを選択し、右クリックするか、**アクション**メニューに移動し、**グレースケールに変換**を選択します。

シート表示ペインに、選択されたページまたはサーフェイスがグレースケールで表示されます。このページを選択すると、**アクション**メニューの**グレースケールに変換**オプションの下にチェックマークが付きます。

4 **ページ表示**または**シート表示**で複数のページまたはサーフェイスを選択するには、次のいずれかの手順を実行します。

- 連続したページまたはサーフェイスを一括して選択するには、最初の項目をクリックし、**Shift** キーを押しながら、最後の項目をクリックします。
- 連続していない複数のページまたはサーフェイスを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら、選択したい項目を 1 つずつクリックしていきます。

グループまたは各ページまたはサーフェイスをカラーに戻すには、対象を選択し、**アクション**メニューから**グレースケールに変換**を実行します。この時点で、チェックマークは消えます。

メモ：ページまたはサーフェイスの実際の変換は、ジョブを保存したタイミングで行われます。保存後にジョブに修正を加えた場合、色の追加に関する修正はグレースケールには変換されません。

Fiery Compose で章開始を操作する

書類を章に分割する場合は、**ページ表示**ペインで各章の開始位置をマークしたうえで、**設定**ペインで仕上げオプションを適用することができます。章開始のマークは削除することもできます。

章開始ページはシートのおもて面側に印刷されます。リーダースプレッドでは、章の開始ページは右側にあります。**ページ表示**ペインの緑色のチェックマークが章開始ページを示しています。

- 次のいずれかの操作を行います。
  - 章開始を追加するには、章開始マークがないページを選択し、**アクション** > **章開始**をクリックします。
  - 章開始を削除するには、章開始マークがあるページを選択し、**アクション** > **章開始**をクリックします。
  - Fiery Compose が章開始ページの前に挿入するブランクページを表示するには、**ビュー** > **間接的ブランク表示**をクリックします。

Fiery Compose でタブを設定するには

書類の任意の場所にタブページを追加し、タブ用紙を選択することができます複数のタブが使用できる場合でも、ジョブ中のすべてのタブは同じ用紙を使用する必要があります。

1 つ以上のタブを**ページ表示**ペインに追加できます。タブが書類に追加されている場合、**ページ表示**ツールバーの**タブフィルター**アイコンを使用すると、タブ付きのページのみを表示できます。

1 タブが必要な箇所の前のページ（複数可）を選択します。

2 **アクション** > **タブ挿入**をクリックするか、右クリックしてから**タブ挿入**を選択します。

選択したページの前に、デフォルトのタブ用紙を使用するタブが追加されますジョブ内にタブがすでに存在する場合、新しいタブは既存のタブと同じ用紙を使用する必要があります。

3 タブ用に異なる用紙を指定するには、右クリックしてから**タブ編集**を選択します。

1 つのタブに対して用紙を変更すると、ジョブ内のタブすべての用紙が変更されます。

メモ：Fiery JobMaster では、1 つのジョブ内のタブに複数の用紙を追加できます。複数のタブスタイルを書類に追加するには（116 ページ）を参照してください。

Fiery Compose でタブテキストやその他のプロパティを設定するには

タブのテキストや位置のプロパティ、タブ用紙を設定するには、**タブ編集**ウィンドウを使用します。

1 タブページを選択します。

2 選択したタブページを右クリックし、**タブ編集**をクリックします。

3 **テキスト**フィールドに任意のテキストを入力します。

4 **テキスト**フィールドの下にあるボタンとメニューを使用して、フォント、サイズ、配置、テキストの回転などのテキスト属性を指定します。

5 すべてのタブに同じテキスト設定を適用するには、**すべてにスタイルを適用**をクリックします。

表紙の設定

Fiery Compose では、書類のおもてまたは裏表紙を独立して設定し、用紙を用紙カタログまたは Paper Catalog から選択できます。書類のおもて/裏ページをおもてまたは裏表紙として使用したり、表紙を挿入したりできます。

1 **設定**ウィンドウで、**表紙** > **定義**をクリックします。

2 **表紙の用紙**ウィンドウで次のいずれかを行います。

- おもて/裏表紙に同じ設定を適用するには、**おもて/裏表紙両方に同じ設定を適用**をクリックします。
- おもて/裏表紙を個別に設定するには、**おもて表紙**または**裏表紙**を選択します。

3 設定を指定します。

Fiery Compose でのサブセット仕上げ

プリンターがサポートしている場合は、ジョブ内のサブセットに個別の仕上げオプションを適用できます。これにより、さまざまな仕上げオプションをワンパスで適用できます。章、シート範囲、またはカスタム範囲に従ってサブセットを定義できます。

まず、必要に応じて用紙や設定両面など、ジョブ全体に対して仕上げオプションを指定する必要があります。詳細は、Fiery Impose でのシートサイズの設定（53 ページ）および Fiery Impose での両面設定（53 ページ）を参照してください。

次に、ジョブ内にサブセットを作成してから個々のサブセット、シートまたはページの範囲、個々のシートまたはページに仕上げオプションと用紙を設定します。

サブセット仕上げルール

- Fiery Compose に追加された任意のインサートまたはタブを含み、サブセットのシートは連続したものである必要があります。
- 章サブセット仕上げで章開始を定義するには、**ページ表示**ペインを使用します。
- **設定**ペインでは、シートサブセット仕上げのシート数を定義します。各サブセットのシート数は同じです。
- **シート表示**ペインでは、カスタムサブセットを定義します。各サブセットの長さは任意です。
- **セット定義**を章数またはシート数からカスタムに切り替えた場合、以前に定義したサブセットが**カスタム**設定の開始ポイントになります。
- **セット定義**をカスタムから章またはシート数に切り替えると、カスタムサブセットは除去され、新しい定義と置き換わります。
- サブセット内のすべてのシートは同じサイズである必要があります。ただし、タブと Z 折りインサートは例外です。
- 仕上げサブセットに表紙を指定することはできません。
- サブセットを片面または片面印刷で定義している場合で、ジョブに対して両面を指定した場合、以下のことに注意してください。
  - シートサブセット仕上げでは、サブセットがシート数を維持します。たとえば、3 シートで 3 ページのサブセットは 3 シートのままですが、ページは 6 ページになります。
  - 章とカスタムサブセット仕上げでは、サブセットがページ数を維持し、両面要件を満足するために必要なブランクを追加します。

Fiery Compose でセット定義を指定するには

サブセット仕上げを指定するには、**設定**ペインの**セット定義**を指定し、仕上げオプションを適用します。

1 **設定**ペインの**セット定義**メニューで次のいずれかをクリックします。
   - **カスタム - シート表示**ペインで、必要に応じて異なるシート範囲を選択して、サブセットを定義します。
   - **章** - 章開始を指定して、サブセットを作成します。
   - **シート数** - 各サブセットのシート数が同じになるよう、サブセットに固定のシート数を指定します。
2 **OK** をクリックします。

Fiery Compose でサブセット仕上げを適用するには

章、シート、またはカスタムのサブセット仕上げを適用できます。

章サブセット仕上げを適用するには、章開始を指定し、次に章サブセットに対して仕上げと用紙を設定します。シート表示ペインには、章のサブセットに分けられたジョブが表示されます。

シートサブセット仕上げを適用するには、サブセット内のシート数を指定します。その後、ジョブは Fiery Compose によって同じ長さのサブセットに分割されます。

カスタムサブセット仕上げでは、サブセットの長さを完全に制御できます。**シート表示**ペインでサブセットを指定します。各カスタムサブセットには、異なる数のシートを格納できます。

1 **設定**ペインで、**折り**、**パンチ穴**、**ステープル止め**メニューのオプションをクリックします。

2 章サブセット仕上げを適用する場合は、次の手順を実行します。

a) ページ表示ペインで章開始ページを選択し、**アクション** > **章開始**をクリックします。

b) 設定ペインで、**セット定義**メニューの**章**をクリックします。

3 必要に応じてグローバル用紙を指定します。

4 長さの等しいサブセット（シートサブセット）が必要な場合は、**設定**ペインの**セット定義**メニューから**シート数**を選択します。次に、サブセットに必要なシートの数を入力します。

5 カスタムサブセット仕上げを適用する場合は、次の手順を実行します。

a) 設定ペインの**セット定義**メニューで、**カスタム**をクリックします。

b) シート表示ペインで、サブセットの最初のシートを選択し、右クリックしたうえで**サブセット作成**をクリックします。各サブセットについて繰り返します。

6 個々のサブセットから不要な仕上げオプションを除去します。

7 用紙を指定するには、次のいずれかを実行します。

- 用紙を個々のサブセットに指定するには、サブセットのヘッダーを右クリックし、**用紙を指定**を選択します。
- 用紙を個々のシートまたはサブセット内のシート範囲に指定するには、シートを指定し、右クリックしてから**用紙を指定**を選択します。

8 サブセットに対してその他の機能を実行するには、ヘッダーバーを右クリックし、メニューから選択します。

9 サブセットを除去するには、そのサブセットを選択し、右クリックして**サブセット除去**を選択します。

Fiery Compose で Z 折り用のサブセット仕上げを指定するには

お使いのプリントが Z 折り仕上げをサポートしている場合、サブセットの個々のシートに対して Z 折りを指定できます。

Z 折りインサートは、サブセットの本文用紙サイズの 2 倍で、プリンターデバイスおよび折りフィニッシャーの両方でサポートされている標準サイズであることが必要です。カスタムサイズはサポートされていません。本体の用紙および Z 折りインサートの給紙辺は同じサイズであることが必要です。

たとえばレターサイズのジョブの場合、Z 折りインサートは 11 x 17 の短辺給紙になります。ジョブが A4 の場合、Z 折りインサートは A3、短辺給紙になります。

1 **設定**ペインで、**折り**メニューの **Z 折り**をクリックします。

2 **シート表示**ペインでシートを選択して右クリックし、**Z 折り**をクリックします。

Fiery Compose でのジョブの保存

Fiery Compose でジョブを変更した場合は、印刷の前にそのジョブを保存する必要があります。

Fiery Compose では、統合 PDF にブランクシートや間接的ブランクページが含まれないため、タブページではタブ用紙の割り当てが失われます。ジョブを保存する際には、保存した場所が保存用ウィンドウに記憶され、次回のジョブ保存時にこの場所が使用されます。

1 **ファイル**メニューから**保存**を選択します。

2 **名前を付けて保存**フィールドにファイル名を入力します。

3 **場所**メニューでファイルの保存先を選択します。

4 **OK** をクリックします。

Fiery JobMaster

Fiery JobMaster は、オペレーターが複雑な書類タスクや後期編集を実行できるよう設計された、PDF ベースの高度なジョブ準備ソリューションです。

Fiery Compose オプションに加えて、Fiery JobMaster で次のいずれかの操作を行うことができます。

- PDF ブックマークに基づいてタブを作成する
- ジョブをスキャンして編集を適用する
- 指定したセクションに高度なページ番号付けを適用する

Fiery JobMaster を使用するには、クライアントコンピューターの Fiery JobMaster ライセンスがアクティベートされている必要があります。

Fiery JobMaster のジョブ概要

Fiery JobMaster ウィンドウの**ジョブ概要**ペインは、ページの簡単な選択とフィルタリングのためのインターフェイスとして利用できます。

ジョブ概要は**ページ表示**ペインの下にあります。これが Fiery JobMaster でジョブを開いても表示されない場合は、**ジョブ概要**タイトルバーの二重矢印をクリックしてください。

メモ：ジョブ概要ペインは、Fiery JobMaster がアクティベート済みでないと利用できません。

ジョブ概要には、**ページ表示**ペインで特定のページグループをフィルタリングまたは選択する場合に使用可能なすべてのページ属性が表示されます。このリストは、ジョブで現在使用されている属性のみを表示し、ジョブに変更が加えられるとその都度更新されます。

使用可能なページのプロパティ（または属性）には、以下のものがあります。

- **用紙サイズ**
- **用紙サイズ**
- **用紙の種類**
- **ページ種類**
- **用紙重量**
- **用紙カラー**
- **ページ方向**
- **両面ページ**

  メモ：このフィルターは、ページレベルの両面印刷にのみ適用されます。**設定**ペインの両面印刷設定は、このフィルターでは反映されません。表示されるオプションは、ご使用の Fiery サーバーで利用可能なジョブのプロパティとプリンタードライバーのオプションに応じて異なります。
- **グレースケールに変換**

- **章開始**

  メモ：章開始は、挿入された PDF ジョブの開始ページに自動的に追加されている場合があります。章開始の自動追加（15 ページ）を参照してください。

- **ブックマーク**

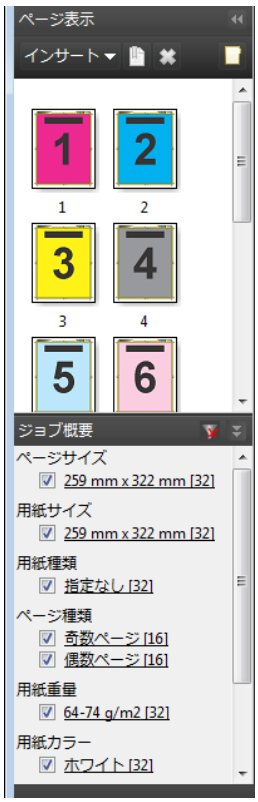
ジョブ概要ペインでページをフィルタリングするには

ジョブ概要ペインで、ページ数の多いジョブのセクションをフィルタリングして選択できます。

1 Command WorkStation **待機**リストから、スプール済みの未処理ジョブを選択します。

- ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。
- **アクション**メニューで、**JobMaster** を選択します。
- **ジョブセンター**ツールバーの **JobMaster** アイコンをクリックします。

Fiery JobMaster ウィンドウが開いても**ジョブ概要**ペインが表示されない場合は、**ページ表示**ペインの下にある**ジョブ概要**タイトルバーの矢印をクリックします。



2 ページを特定の属性でソートして表示するには、その他すべてのチェックボックスの選択を解除します。

たとえば、奇数ページを表示するには、**ページ種類** > **奇数ページ**のチェックボックスが選択されている状態にします。

メモ：ページ表示の表示は変更されますが、**シート表示**の表示は変更されません。

3 ある属性を持つすべてのページを表示するには、ハイパーリンクが設定されたその属性の名前をクリックします。

それらのページが**ページ表示**で選択され、以前の選択はすべて解除されます。

4 **ページ表示**での選択内容を**シート表示**と同期させるには、**ページ表示**で選択されているページを左クリックします。

シート表示での選択内容を**ページ表示**と同期させるには、Windows コンピューターのキーボードの **Alt キー＋左クリック**、または macOS コンピューターのキーボードの **Option キー＋左クリック**を実行します。

5 **ジョブ概要**タイトルバーの**フィルターを消去**アイコンをクリックすると、すべてのチェックボックスが選択され、フィルターはすべて除去されます。

編集 > **ページ範囲選択**によってページの範囲を選択することもできます。**編集**メニューの**反転選択**コマンドを使用すると、**ページ表示**での選択対象を切り替えることができます。選択されていたすべてのページが選択解除され、選択されていなかったページが選択されます。

ページ範囲選択

ページ範囲選択オプションは、メインの **Fiery JobMaster** ウィンドウと**ページ番号およびスタンプ**ペインで使用できます。

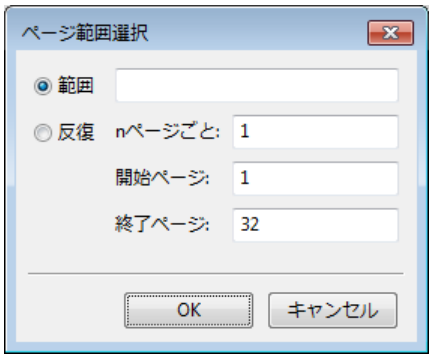
この機能は、**ジョブ概要**ペインのフィルターオプションと組み合わせて使用可能です。**Fiery JobMaster** ウィンドウで行った選択は、**アクション**メニューから**ページ番号およびスタンプを編集**を選択すると表示される**ページ番号およびスタンプ**ペインに適用されます。

1 Command WorkStation **待機**リストから、スプール済みの未処理ジョブを選択します。

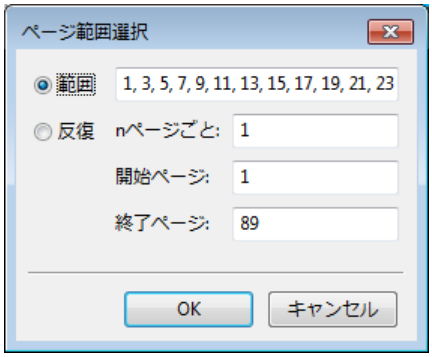
- ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。
- **アクション**メニューで、**JobMaster** を選択します。
- **ジョブセンター**ツールバーの **JobMaster** アイコンをクリックします（このアイコンが追加されている場合）。

2 次のいずれかの操作を行います。

- **Fiery JobMaster** ウィンドウの**編集**メニューにある**ページ範囲選択**をクリックします。範囲を入力します。範囲の指定にはハイフンを、個々の番号または複数の範囲を区切る場合にはコンマを使用します（例：1-9）。あるいは、**反復**ラジオボタンを選択して、必要な情報を入力します。



- **ジョブ概要**ペインのフィルターオプションを使用してページ範囲を選択します。たとえば、**奇数ページ**チェックボックスを選択します。**編集**メニューの**ページ範囲選択**をクリックします。



ページ番号およびスタンプペインを開くと、選択したページ範囲が表示されます。**ページ番号およびスタンプ**ペインでは、さらに範囲を追加することができます。

ページの内容のシフト

ページオフセットを使用すると、仕上げの必要条件に適合するようにページ内容を容易に移動できます。たとえば、ステープル止めに対応するために、すべての奇数ページのページ内容を右側に、偶数ページの内容を左側にずらすことができます。スキャンページの内容をブックレットの背表紙から少しだけ移動することもできます。

1 Command WorkStation で、Fiery JobMaster を使用してスプール済みファイルを開きます。

2 **ページ表示**ペインで、ページ内容を移動するページ（複数可）を選択します。

3 **アクション** > **ページ編集**を選択します。

4 **x** および **y** の値を設定します。

x に正の値を指定するとページ内容は右に、負の値を指定すると左に移動します。**y** に正の値を指定するとページ内容は上に、負の値を指定すると下に移動します。

x および **y** の値は、**ページ編集**ウィンドウを再度開くとリセットされます。

また、**コンテンツの拡大縮小**ウィンドウでページのコンテンツをシフトすることもできます。詳細については、コンテンツの拡大縮小ウィンドウを開く（98 ページ）を参照してください

コンテンツの拡大縮小ウィンドウを開く

コンテンツの拡大縮小ウィンドウでは、各ページまたはページ範囲でコンテンツの拡大縮小ができます。

1 **ページ表示**ペインで、拡大縮小するページ（複数可）を選択します。

各ページを選択したり、**ジョブ概要**ウィンドウに表示されるページ範囲を選択したりすることができます。**ページ表示**ペインですべてのページを選択します。

2 **アクション** > **コンテンツの拡大縮小**を選択します。

メモ：ページ範囲に重複ページが含まれている場合は、メッセージが表示されます。**はい**をクリックして、競合するページ範囲を解決します。

3 （オプション）**ページ表示**ペインでページを選択し、**コンテンツの拡大縮小**ペインで**選択したページを追加**をクリックして、ページ範囲を追加することもできます。

追加したページは**ページ範囲**リストに表示されます。

4 ページ範囲を編集するには、次のいずれかを行います。

- リスト内のページ範囲を右クリックし、 **選択したページをアップデート**を選択します。
- リスト内のページ範囲をダブルクリックします。

5 すべての変更を保存して適用するには、ウィンドウの右下隅にある **OK** をクリックします。

コンテンツの拡大縮小ウィンドウのページレベル オプション

コンテンツの拡大縮小ウィンドウが開いていると、ページまたはページ範囲のコンテンツの拡大縮小、サイズ調整、位置決めすることができます。

次のコントロールを使用して、**コンテンツの拡大縮小**ウィンドウで設定を指定できます。

項目	説明
仕上げサイズ	**仕上がりサイズ**リストから、ページに必要な用紙サイズを選択します。
方向	ページを縦方向に並べるには**縦**を選択し、横方向にページを並べるには**横**を選択します。
全辺ブリード	ページのブリードのサイズを入力します。
回転	ページ内容を回転させる角度を度単位で設定の中から 1 つ選択します。 次の中から選択します。 • **0** • **90** • **180** • **270** • **右へ 90° 自動回転** • **左へ 90° 自動回転** 次の点に注意してください。 • **0** を選択すると、回転しません。 • 各ページ方向が指定した**方向**設定と異なる場合には、自動ページ回転を適用できます。

項目	説明
拡大縮小率	**拡大縮小率**を選択して、ページコンテンツのサイズを調整します。 次の中から選択します。 • **仕上げサイズにあわせる** • **仕上げサイズ全体に表示** • **画像サイズにあわせる** • **画像サイズ全体に表示** • **ブリードサイズにあわせる** • **ブリードサイズ全体に表示** • **カスタム** **メモ：カスタム**が選択されている場合は、表示されるフィールドに**幅**と**高さ**の値を手動で入力できます。値を入力すると、オリジナル書類の縦横比が保持されます。
内容の位置揃え	次のいずれかを選択して、ページ上でのコンテンツの位置揃えの方法を定義します。 • **仕上げサイズ** • **印画領域サイズ**
位置揃え	ページ内容の位置を揃えるには、縦位置揃えアイコンと横位置揃えアイコンを選択します。 **位置揃え**オプションは、ページコンテンツの初期位置を決定します。
オフセット	**X** 軸と **Y** 軸のフィールドに**オフセット**設定を入力します。 **オフセット**設定を使用して、**位置揃え**オプションを指定した後に、内容をさらに調整することができます。

オプションとして、**プリセットを保存**アイコンをクリックしてプリセットに名前を付けて設定を保存することもできます。

Fiery JobMaster への画像ファイルの挿入

画像ファイルを挿入を使用すると、形式が BMP、GIF、JPEG、JPG、PNG、TIF、TIFF であるファイルをジョブに追加できます。

複数の画像ファイルを一度に追加できます。

次の点に注意してください。

- マルチページ TIFF ファイルは、macOS ではサポートされていません。
- スキャンした TIFF ファイルにある埋め込みの JBIG 圧縮画像はサポートされていません。

Fiery JobMaster でのスキャンの編集

デフォルトでは、PDF 書類を Fiery JobMaster に挿入する際、その書類のスキャンコンテンツの有無が確認されます。スキャンコンテンツが見つかった場合は、スキャン画像を確認および編集するかどうかを尋ねられます。その後、サイズ、明るさ、ノイズ除去など、スキャンの各項目を調整できます。

スキャン操作中や、スキャンコンテンツを Fiery JobMaster ジョブにインポートしている際には、**スキャンプレビューと編集**ウィンドウ内の機能を使用できます。こうした機能は、すでに Fiery JobMaster-Fiery Impose ジョブに含まれるページに対しては適用できません。

1 Command WorkStation の**ジョブセンター**で待機ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。

2 **Fiery JobMaster** ウィンドウで、**挿入** > **スキャナーから挿入**を選択するか、または**挿入** > **画像ファイルを挿入**を選択します。

挿入されたページにスキャンコンテンツが含まれている場合は、スキャン画像を確認および編集するかどうかを尋ねられます。

3 スキャンを編集するには、**スキャンプレビューと編集**ウィンドウ内のオプションを使用します。以下のオプションはページごとに使用できます。ただし、**すべてに適用**ボタンが選択されている場合はスキャンジョブ内のすべてのページに適用されます。

- **読み込み** - メールボックスまたはスキャナーからのスキャンを読み込みます。このオプションは、**スキャナーから挿入**を使用している場合にのみ使用できます。
- **選択**、**移動** - ビューアー内でスキャン画像を選択または移動します。
- **ズーム** - ズームイン/ズームアウトします。アイコンをクリックすると、スキャンページのサイズがプレビューウィンドウに合わせて変更されます。
- **傾き補正** - 画像をまっすぐにします。
- **ノイズ除去** - スキャン画像上に発生することがある細かなドットや汚れを除去します。
- **用紙サイズ** - スキャンしたページに一番近いページサイズをリストの中から自動で選択し、必要に応じて回転します。たとえば、8.48x10.98 インチの場合は 8.5x11 インチの縦向きとなり、画像を回転させた場合は 8.5x11 インチの横向きとなります。

  メモ：スキャンサイズは最終のページサイズをオリジナルスキャンサイズとして設定します。ページサイズは、インポートした書類のページサイズを定義します。スキャンされた画像はそのページサイズに合わせて変更されます。リストに載っているページサイズはプリンタードライバーによって決定されます。
- **幅**、**高さ** - 設定値は**用紙サイズ**と**方向**の選択によって決定されます。
- **ページの削除** - プレビューウィンドウ内の選択ページを削除します。

  メモ：追加のページをスキャンし、既存スキャンジョブへの追加も可能です。

4 **インポート**をクリックします。

5 **ページ挿入**ウィンドウで、スキャン済みのページを選択して **Fiery JobMaster** ウィンドウの**ページ表示**ペインにドラッグします。

Fiery JobMaster でのページの編集

Fiery JobMaster を使用して、回転、マスキング、およびクロッピングによりジョブのページを仕上げに向けて編集することができます。クロップボックスまたはトリムボックスの仕上がりサイズに従って変更を指定できます。

1 Command WorkStation でスプール済みの待機ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインで、編集するページ（複数可）を選択し、**アクション** > **ページ**編集 を選択します。
ページ編集ウィンドウの左側と上部には寸法マーカーが表示されます。

3 設定を指定します。

- **パン**  ：プレビューウィンドウ内で PDF ページを移動します。
- **マスク**  ：ページの 1 つ以上の領域をマスクします。クリックしてから、マスクする領域を選択します。**ページ編集**ウィンドウが開く前に、選択されているページのすべてに同じマスク対象領域が適用されます。こうしたページに以前設定されたマスクはすべて上書きされます。
- **ズーム**  ：ズームインします。ズームアウトするには、画像に合わせるアイコンをクリックします。
- **回転**  ：ページを 90 度単位で回転します。
- **モード**：**マージン**によって既存のクロップボックスまたはトリムボックスを調整できます。マージンを適用することにより、新たなクロップボックスまたはトリムボックスを元のサイズよりどの程度小さく（または大きく）するかを定義できます。**サイズとオフセット**により、クロップボックスまたはトリムボックスに新たなサイズを定義でき、既存のページ内容に対してこの新たなクロップ/トリムサイズを直接配置できます。**モード - マージン**または**モード - サイズとオフセット**を選択してクロップボックスを有効にした場合は、**既定クロップサイズ**を変更できます。両面オプションで**ミラー**を選択すると、奇数ページと偶数ページの内容が揃うように調整されます。**モード**のデフォルト設定は**ページオフセット**です。この場合は、X フィールドと Y フィールドに正または負の値を入力して、ページの内容をシフトできます。
- **クロップボックス**、**トリムボックス**：これは**マージン**または**サイズとオフセット**が選択されている場合にのみ使用できます。編集するには、それぞれの近くにあるボタンをクリックします。

4 次のいずれかを行います。

- **OK** をクリックして設定を保存する
- **リセット**ボタンをクリックして元の設定を復元します。
- **キャンセル**をクリックして終了します。

設定の詳細は、ページ編集ワークフロー（102 ページ）を参照してください。

ページ編集ワークフロー

ページ編集機能を使用すると、選択したページ（複数可）の内容を移動できるので、ユーザーはステープル止めやパンチ穴タイプの仕上げを適用する場合にページ内容の分断を避けることができます。

ページ編集を使用すると、ページ（複数可）の**クロップボックス**または**トリムボックス**サイズを調整することで、ページ内容のクロップや移動が可能です。

ページオフセット

ページオフセットは、ページ内容を移動する最も簡単な方法であり、**ページ編集**でのデフォルトモードになっています。**ページオフセット**では、クロップボックスとトリムボックスのサイズに関する PDF の規則に従う形で、このボックスの両方が同時に調整されます。

ページ内容をシフトするには、**X** および **Y** コントロールを使用します。

クロップボックスとトリムボックス

クロップボックスまたは**トリムボックス**を使用可能にするには、切り替えボタンをクリックしてボタンの表示を緑色にします。

有効：

無効：

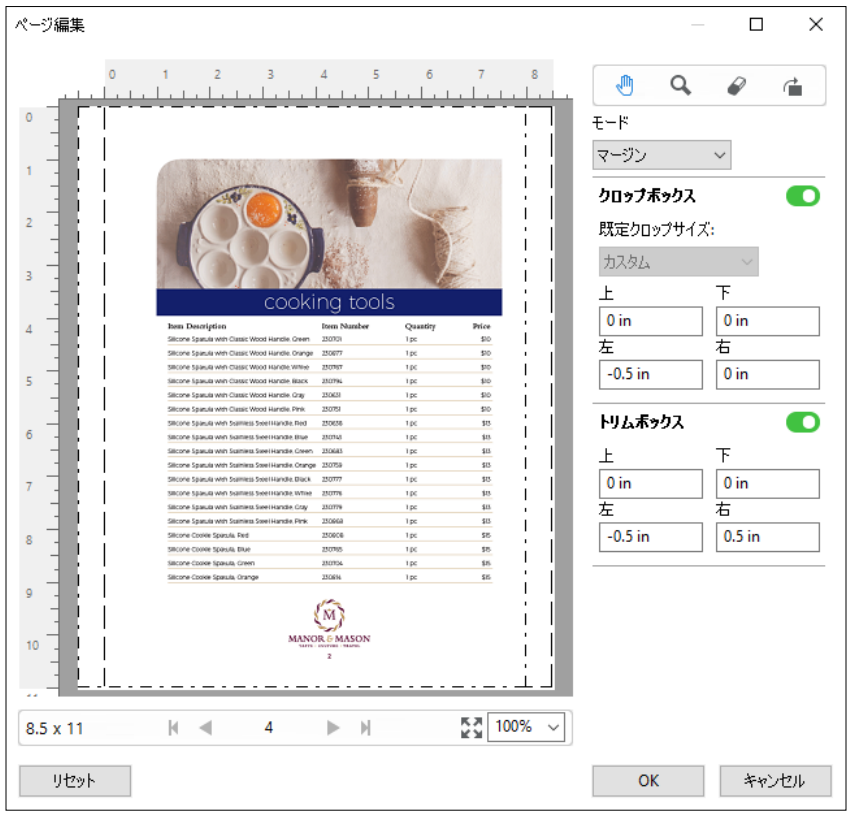
クロップボックスまたは**トリムボックス**を調整するには、**マージン**か**サイズとオフセット**を選択します。

クロップボックスは、切り取られるページ内容の範囲を定義します。このサイズは、Acrobat で画面表示と印刷のために使用されます。**トリムボックス**では、仕上がりページの寸法を定義します。ほとんどの書類では、クロップボックスとトリムボックスのデフォルトサイズは同じ値です。

どちらかを使用可能にすると、Fiery JobMaster はクロップボックスとトリムボックスの情報をファイルから読み出します。クロップボックスの枠は破線で示されます。トリムボックスの枠は、破線の間隔部分に点が入った一点鎖線で示されます。

マージン

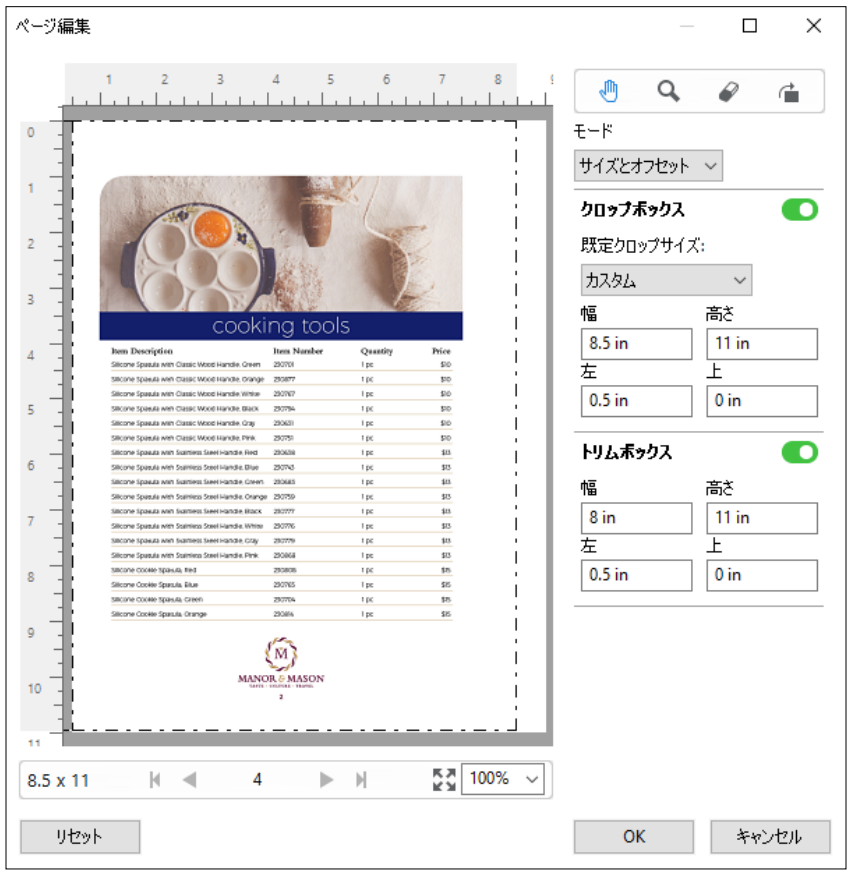
以下に示す例では、4 ページの内容を右に移動して、ページの左にパンチ穴のための余白を確保する必要があります。**トリムボックス**は、左マージンの値を-0.5 インチにしてさらに左に移動し、右マージンの値を 0.5 インチにして左に移動するように調整されています。これらの調整の結果、ページ内容は右に移動され、ページの左側にパンチ穴のためのさらなる余白ができました。



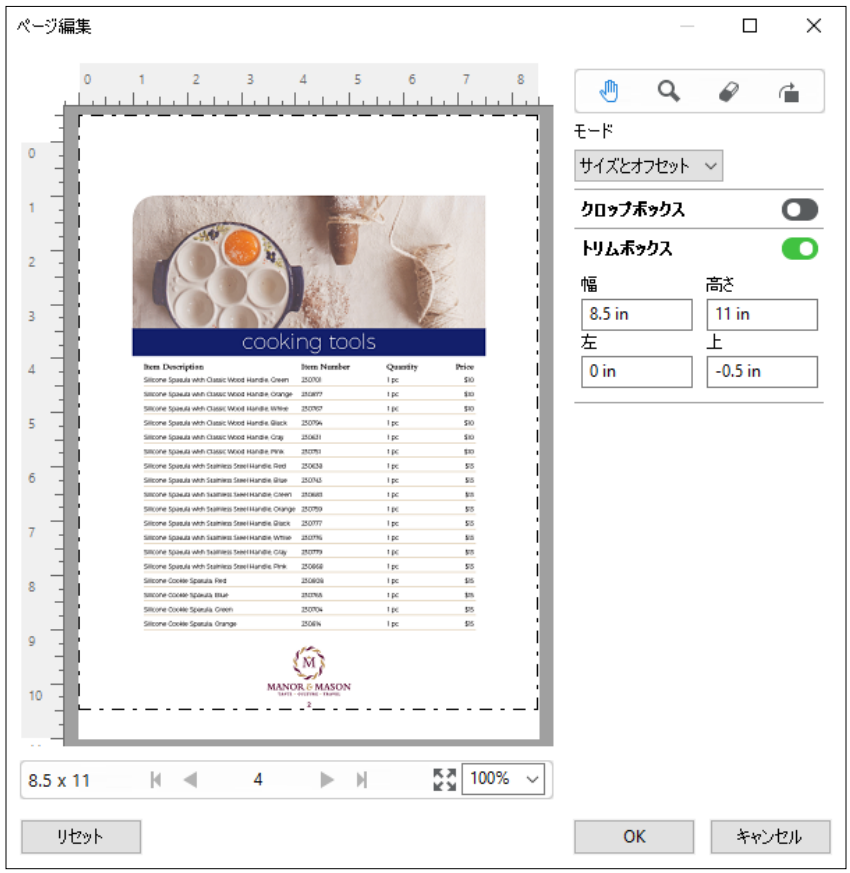
サイズとオフセット

クロップボックスが使用可能になっているときに**サイズとオフセット**を使用すると、標準のシートサイズを選択するか、または**クロップボックス**の**幅**および**高さ**を指定することにより、**クロップボックス**をカスタマイズできます。**左**および**上**は、**クロップボックス**に対する**トリムボックス**の左側と上部の間隔を指定するために使用します。**トリムボックス**が使用可能になっている場合は、**幅**および**高さ**を指定してページの**トリムボックス**をカスタマイズすることができます。

以下に示す例では、**クロップボックス** と **トリムボックス** のサイズは、最初は同じサイズ（8.5 インチ × 11 インチ）です。0.5 インチで**クロップボックス**の左オフセットの場合、**クロップボックス**は右に 0.5 インチ移動されます。**トリムボックス**は同じ位置に留まっていたため、この**トリムボックス**は左側で 0.5 インチ縮小され、その結果、幅 8 インチ、高さ 11 インチになっています。



上端のパンチ穴仕上げが必要なジョブのために、ユーザーは、**トリムボックス**の**上**フィールドに負の値を入力しています（以下に示す例を参照）。**トリムボックス**のサイズは維持されていますが、ページ内容は下に移動されているので、パンチ穴のためのさらなるスペースができています。**既定クロップサイズ**オプションが使用可能になっていませんが、ユーザーは**幅**および**高さ**フィールドの値を変更できます。



NCR マルチパートパッド印刷のワークフロー

マルチパートパッド印刷は、複数の部分から成る見積書や注文書、ラッフルチケットなどのジョブに使用します。

Fiery JobMaster では、NCR（No Carbon Required）マルチパートパッド印刷のワークフローを作成するためのオプションを利用できます。形状またはパッドは、複数の部分（通常は 2 つから 4 つ）で構成し、両面印刷と片面印刷を組み合わせたものにすることができます。たとえば、3 つの部分から成る形状で、その最初の 2 つの部分にはシート両面にテキストを配置し、3 番目の部分には前面のみにテキストを配置する、といったことができます。

作成するワークフローには、以下のステップを組み込むことができます。

- 1 セットを作るために必要な全ページが含まれているジョブから開始する
- あるページからジョブが開始される場合、そのページを**編集**メニューから**複製**を適用して複製して、1 セットを作るのに必要な部数だけ作成することが可能
- 各ページ/シートに必要な用紙またはトレイの種類を指定する
- **編集**メニューから**ジョブの複製**を適用して必要な総セット数を作成する
- 高度な番号付けをページおよびセットのカスタムスタンプに適用する
- Fiery Impose を使用してレイアウトを適用する

このワークフローを可能にする機能には、以下のものがあります。

- **編集**メニューの**複製**および**ジョブの複製**

  複製は、形状または部分を一度に 1 つずつ複製します。複数のコピーを作成するには、**複製**機能を繰り返し適用する必要があります。**ジョブの複製**は、**ジョブの複製**ウィンドウで指定した回数だけジョブを複製します。

- 高度なページ番号付けワークフローで番号付けを反復する

  これは、**ページ範囲選択**ウィンドウと、**ページ番号およびスタンプ**ペインで使用できる追加のページ範囲オプションによって実現できます。たとえば、**ページ番号のオプション** > **この範囲にカスタムページ番号を使用** > **反復数**などです。

高度なページ番号とスタンプ

高度なページ番号を使用すると、ページの任意の範囲や特定の章など、ジョブのセクションにカスタムページ番号やスタンプを追加できます。

書類のセクションごとに異なるスタイルを指定できます。たとえば、前付けや付録にはローマ数字を、書類の本文にはアラビア数字を指定できます。また、ページ番号を印字しないが、ページ数としてはカウントするといった指定もできます。

以下は、高度なページ番号機能の使用例です。

- 5 ページのジョブで各ページをカウントする場合、ページ番号は（1, 2, 3, 4, 5）のように付番されます。
- 5 ページのジョブで開始番号を 10 にして各ページをカウントする場合、ページ番号は（10, 11, 12, 13, 14）のように付番されます。
- 5 ページのジョブで増分値を 2 にして各ページをカウントする場合、ページ番号は（1, 3, 5, 7, 9）のように付番されます。
- 5 ページのジョブで最後のページのみカウントする場合、ページ番号は（x, x, x, x, 1）のように付番されます（x は、ページ数が印字されないページを示します）。
- 5 ページのジョブで最初の 2 ページ分をカウントしない場合、ページ番号は（x, x, 3, 4, 5）のように付番されます（x は、ページ数が印字されないページを示します）。
- 章立ての 10 ページのジョブで、各章 2 ページで構成される場合（全部で 5 章）、ページ番号は（1, 2, 1, 2, 1, 2, 1, 2, 1, 2）のように付番されます。[]は各章を表します。
- NCR マルチパートパッドでは、1 つのセットが 3 つの部分から成る場合、そのセット内のすべてのページは（1, 1, 1, 2, 2, 2, 3, 3, 3）のように同様に付番されます。

高度なページ番号機能で利用できるコントロールや使い方については、高度なページ番号のワークスペース（108 ページ）および高度なページ番号オプションの設定（110 ページ）を参照してください。

タイプと範囲

高度なページ番号オプションを利用する、ページまたは章の範囲、または書類全体を追加します。**タイプ**および**範囲**ペインには、次の設定があります。

タイプ	範囲
ページ	ページ番号やページ範囲をコンマで区切って入力
書類	全ページ

タイプ	範囲
章	章番号や章範囲をコンマで区切って入力

ページ番号のプロパティ

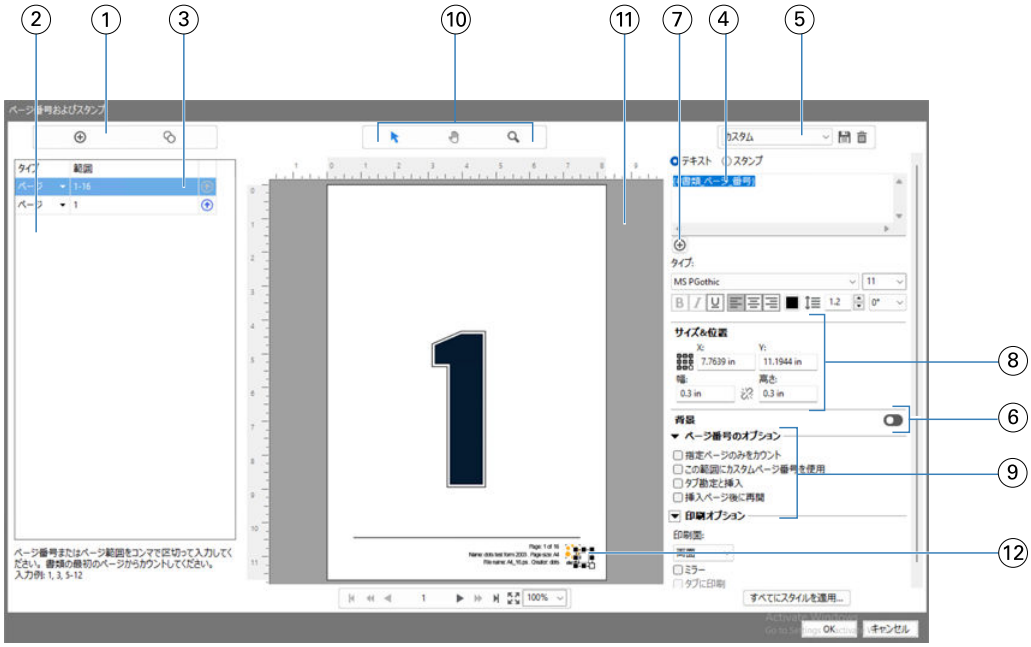
ページ番号のプロパティを範囲ごとに追加できます。次のオプションを指定できます。

要素	オプション	フォーマット
ページ	• 表示中のページ • 合計ページ数 • ページ {表示} • ページ {表示}/{合計} • ページ {表示}/{合計} • {表示}/{合計} • {表示}/{合計}	複数の書式： 1,2,3 a,b,c A,B,C i,ii,iii I,II,III
章	• 表示中のページ • 合計ページ数 • 現在の章 • すべての章	複数の書式： 1,2,3 a,b,c A,B,C i,ii,iii I,II,III
書類	名前	
日時	• 日付 • 時刻 • 日時 • 日付表示形式 • 時刻表示形式 • 日付書式指定子 • 時刻書式指定子	複数の書式

高度なページ番号のワークスペース

ページ番号およびスタンプペインは、高度なページ番号付けのためのワークスペースを提供します。

Fiery JobMaster では、**ページ表示**ペインでページ（複数可）を選択してから **アクション** > **ページ番号およびスタンプを編集** を選択することで、**ページ番号およびスタンプ**ペインにアクセスできます。



1 範囲の追加と範囲のコピーに使用する**範囲を追加します**と**範囲をコピーします**アイコンです。

2 **タイプ**と**範囲**ペインは、書類、章、ページに対して追加された範囲を表示します。

3 2 番目のセットの三点リーダーをクリックして、**範囲**および**反復**オプションを指定できるウィンドウを開きます。

4 テキストフィールドにマクロが表示されます。このマクロは、テキストフィールドの下にあるプラス記号のアイコン（）をクリックして指定するページ番号のオプション用です。マクロにテキストを追加できます。

5 プリセットメニューと、**プリセット保存**および**プリセット削除**アイコンです。

6 書類のページ番号フィールドの背景を有効/無効にするコントロールです。

7 プラス記号のアイコン（）をクリックすると、ページ番号、章番号、日時、書類の名前を指定するためのメニューが表示されます。

8 **サイズと位置**の下で、**X**、**Y**、**幅**、**高さ**の情報を入力できます。

9 ページ番号および印刷の高度なオプション。

10 プレビューペインの**選択**、**移動**、**ズーム**アイコン。

11 ジョブをプレビューします。プレビューの下に表示されるページ移動およびズームコントロール。

12 ページ番号の表示フィールド。サイズの調整、移動が可能です。

ページ範囲を追加する

ページまたはページ範囲を**ページ番号およびスタンプ**ペインに追加できます。

1 Command WorkStation でスプール済みのジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインで、ページ（複数可）を選択し**アクション** > **ページ番号およびスタンプを編集** を選択します。

3 次のいずれかの方法で、ページまたはページ範囲を追加します。

- **ページ番号およびスタンプ**ペインで、**範囲を追加します**アイコン（**タイプ**と**範囲**ペインの上にあります）をクリックします。**タイプ**メニューで範囲のタイプを選択します。**範囲**フィールドに範囲を入力します。
- **ページ表示**ペインで、ページまたはページ範囲を選択します。選択内容を右クリックし、**選択したページを追加**を選択します。
- **ジョブ概要**ペインで、ボックスのチェックをすべて外し、目的の属性でページ範囲をフィルタリングします。選択したページ（複数可）を右クリックし、**選択したページを追加**を選択します。**ジョブ概要**ペインのフィルタリングの詳細については、ジョブ概要ペインでページをフィルタリングするには（96 ページ）を参照してください。

ページ範囲を編集する

ページまたはページ範囲を編集して**ページ番号およびスタンプ**ペインに追加できます。

1 Command WorkStation でスプール済みの待機ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインで、ページ（複数可）を選択し**アクション** > **ページ番号およびスタンプを編集** を選択します。

3 ページ範囲を編集するには、次のいずれかを行います。

- **ページ番号およびスタンプ**ペインのリストでページ範囲を選択し、ページ表示ペインでページまたはページ範囲を選択します。選択内容を右クリックし、**選択したページをアップデート**を選択します。
- リスト内のページ範囲をダブルクリックし、新しいページ範囲を入力します。

高度なページ番号オプションの設定

1 Command WorkStation でスプール済みの待機ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインで、ページ（複数可）を選択し**アクション** > **ページ番号およびスタンプを編集** を選択します。

メモ：ジョブに章開始を追加する場合は、**ページ番号およびスタンプを編集**を選択する前に追加します。

3 次のいずれかの方法で、ページまたはページ範囲を追加します。

- **ページ番号およびスタンプ**ペインで、**範囲を追加します**アイコン（）をクリックします。このアイコンは**タイプ**と**範囲**ペインの上にあります。**タイプ**メニューで範囲のタイプを選択します。**範囲**フィールドに範囲を入力します。
- **ページ表示**ペインで、ページまたはページ範囲を選択します。選択内容を右クリックし、**選択したページを追加**を選択します。
- **ジョブ概要**ペインで、チェックボックスをオフにして、目的の属性でページ範囲をフィルタリングします。選択したページ（複数可）を右クリックし、**選択したページを追加**を選択します。**ジョブ概要**ペインのフィルタリングの詳細については、ジョブ概要ペインでページをフィルタリングするには（96 ページ）を参照してください。

4 範囲を複製するには、その範囲を選択して をクリックします。

5 リスト上で範囲を上に移動するには、 をクリックします。

6 範囲を削除するには、 をクリックします。

7 **ページ範囲選択**ウィンドウを開くには、**範囲**フィールドの三点リーダーをクリックします。詳細は、ページ範囲選択（97 ページ）を参照してください。

可能な設定の詳細は、タイプと範囲（107 ページ）を参照してください。

8 ページ番号のプロパティを追加するには、**テキスト**フィールドの下で をクリックします。

可能な設定の詳細は、ページ番号のプロパティ（108 ページ）を参照してください。

ページ番号の選択肢はプレビューペインのページ上に表示され、マクロは**テキスト**フィールドに表示されます。

9 ページ番号フィールドのサイズを変更したり、ページ上の別の場所に移動したりするには、プレビューペインの上部にある**選択**アイコン（ ）を使用します。

移動アイコン（ ）を使用すると、ズームインの際にプレビューペインで画像が移動します。

10 選択したページ番号プロパティをカスタマイズする場合は、**テキスト**フィールドで変更を加えることができます。

メモ：ある範囲に複数のページ番号要素（ページ番号、章番号、日時など）を追加する場合、それらの要素をメニューから選択した順で**テキスト**フィールドにマクロが追加されます。マクロ間にスペースは挿入されません。

- 番号要素の間にスペースを入れる場合は、マクロ間にスペースを挿入します。
- 複数行のページ番号表示を作成するには、Enter キーまたは Return キーを使用してマクロ間に行頭復帰を追加します。
- 選択した番号要素を除去するには、**テキスト**フィールドでマクロを削除します。
- スタティックテキストを番号要素に追加するには、マクロに関して適切な箇所にテキストを入力します。
- ページ番号をゼロ、アスタリスク、またはスペースで埋めるには、パディング文字を入力し、続けてページ番号の桁を示す数字、その後にコロンを入力します。ゼロを追加して数字を 7 桁にするには、（#07:DOCUMENT_PAGE_NUMBER）の形式でページ番号テキストを修正します。たとえば、ページ番号が 6 の場合は「0000006」になります。

11 番号フィールドに背景を追加するには、 をクリックします。ページ番号フィールドの背景のカラーと不透明度を選択します。

アイコンが に変わります。

12 **タイプ**設定（フォント、カラー、サイズ、スタイル、角度など）を選択します。

13 次の**ページ番号のオプション**からいずれかを選択します。

- **指定ページのみをカウント**：選択した範囲のページのみをカウントします。
- **この範囲にカスタムページ番号を使用**：
  - **スキップするページ**：ページをスキップすると、そのページはカウントに含まれますが、ページ番号は表示されません。
  - **開始番号**：入力した番号からページ番号を開始します。範囲内の指定したページのみをカウントするオプションを選択した場合、セクションは入力された番号からページ番号を開始します。
  - **インクリメント**：書類または範囲内の各ページについて、入力した値を単位にページ番号が前ページからインクリメントします。
  - **反復数**：範囲内でページ番号を繰り返す回数を指定します。
- **タブ勘定と挿入**：挿入されたタブまたはブランクページをページ番号計算時に含めます。
- **挿入ページ後に再開**：設定した開始番号に従って、挿入ページ後にページ番号を再開します。

14 次の**印刷オプション**からいずれかを選択します。

- **印刷面**：ページ番号を、両面、おもてページのみ、または裏ページのみに印刷するかを指定します。
- **ミラー**：見開きページの左右対称の位置にページ番号を配置します。
- **タブに印刷**：**ページ番号のオプション**で**タブ勘定と挿入**を選択した場合、挿入されたタブにページ番号を印刷できます。
- **すべてにスタイルを適用**：すべての範囲に適用するスタイルを選択します。

15 **OK** をクリックします。

ページ番号は、**Fiery JobMaster** ウィンドウの**シート表示**ペインでプレビューできます。設定をプリセットとしてプリセットメニューに保存することもできます。プリセットの詳細については、『Fiery Command WorkStation のヘルプ』を参照してください。

画像スタンプの追加

ページ、章、ページの範囲または書類全体に画像スタンプを追加できます。

1 Fiery JobMaster でシートを右クリックし、**番号およびスタンプの編集**を選択します。

2 左ペインのプラスアイコン（**範囲を追加**）をクリックします。

中央のペインが開きます。

3 **スタンプ**の横にあるボタンをクリックします。

4 **参照**をクリックして、スタンプに使用する画像の場所を参照します。

5 中央ペインの**サイズと位置**では、**X** および **Y** によってスタンプの位置（アンカーポイントの座標）を指定し、**幅**と**高さ**によってスタンプのサイズを指定します。

幅と**高さ**の間のリンクアイコンをクリックすると、スタンプの縦横比をロックできます。縦横比がロックされている場合、リンクアイコンをクリックすると、縦横比のロックが解除されます。

6 左ペインの**タイプ**では、ページ、ページ範囲（2-3 のようにダッシュを使用）、章または書類全体にスタンプを適用できます。

スタンプのサイズと位置の変更

中央ペインの**サイズと位置**にある正方形のアイコン（小さな 9 つの正方形で構成されたもの）を使用すると、スタンプのサイズと配置を変更できます。

- スタンプのサイズを変更するには、次のいずれかを実行します。
  - 隅の正方形をクリックし、その隅をドラッグしてスタンプのサイズを変更します。
  - 側面の正方形をクリックし、その側面をドラッグしてサイズを変更します。
  - 中央の正方形をクリックし、スタンプをその周囲でドラッグします。

スタンプのプリントオプションの設定

- スタンプのプリントオプションを以下に示します。
  - **印刷面**オプションでは、**両面**、**おもてのみ**、または**裏のみ**を選択します。**両面**では、シートのそれぞれの面にスタンプが印刷されます。**おもてのみ**では、シートのおもて面のみにスタンプが印刷されます。**裏のみ**では、シートの裏面のみにスタンプが印刷されます。
  - **ミラー**を選択すると、ページ上のスタンプの位置がシートの裏面にも反映されます。
  - **タブに印刷**を選択すると、タブページにスタンプが印刷されます。

スタンプの背景色の設定と背景色の不透明度の調整

- スタンプの背景色を設定して背景色の不透明度を調整するには、次の手順を実行します。
  - **背景**で、切り替えボタンをクリックして、背景色と不透明度のコントロールを開きます。
  - スタンプ背景色を選択するには、**カラー**オプションを使用します。
  - 不透明度のパーセンテージを設定するには、**不透明度**オプションを使用します。

選択ボックス内に合わせた画像スタンプの調整とスタンプの不透明度の調整

ページ番号およびスタンプペインの中央ペインでは、画像スタンプを選択ボックスの内側に合わせて調整したり、スタンプの不透明度を調整したりするコントロールを使用できます。

- スタンプを選択ボックス内で調整するには、次のいずれかを実行します。
  - 4 つの矢のアイコンを使用して、描画したボックス（選択ボックス）内に画像が完全に収まるようにします。
  - **拡大縮小**オプションを使用して、選択ボックス内でパーセンテージによる拡大縮小を実行します。
  - **回転**オプションを使用して、**0**、**90**、**180**、または **270** 度だけ画像を回転するか、カスタム回転角度を入力します。
  - **左**および**上**のコントロールで選択ボックス内での画像のオフセットを設定します。**上**には、ボックスの上端から画像までの距離を、**左**にはボックスの左端から画像までの距離をそれぞれ指定します。

  メモ：不透明度はスタンプの不透明度を示します。背景色の不透明度を設定することもできます。

タブを追加する

選択した段階の各ブックマークページ前、または章開始ページ前に、タブを挿入できます。

PDF のブックマーク位置にタブを挿入するには、インポートされたジョブが書類にブックマークを設定している Acrobat PDF である必要があります。章の開始にタブを挿入するには、Fiery JobMaster で章開始を追加します。Fiery JobMaster ライセンスをアクティベートしておく必要があります。

1. Command WorkStation の**待機**キューに PDF ジョブをインポートします。
2. **待機**キューからジョブを選択し、次のいずれかを行います。
   - **アクション**メニューで **JobMaster** を選択します。

     右クリックし、**JobMaster** を選択します。
3. **表示**メニューで**ブックマークを表示**を選択します。
   PDF のブックマークは赤いリボンで表示されます。
4. PDF に章開始を追加するには、ページを選択して、**アクション**メニューで**章開始**を選択します。
   章開始は青いリボンで表示されます。ページがブックマークと章開始の両方である場合、青いリボンと赤いリボンで表示されます。
5. **アクション**メニューから、**章とブックマークのアクション**を開き、次から一つまたは複数を選択します。

オプション	説明
ブックマークをタブに変換する	選択した段階のすべてのブックマークページ、またはすべての章開始ページがタブに変換されます。**タブ編集**ウィンドウが自動で表示され、タブテキストフィールドには各ブックマークのタイトルが自動的に入力されます。インポートした PDF にブックマークが設定されている場合、または章開始が設定されている場合にのみ有効にされます。
タブ挿入	選択した段階の各ブックマークページの前、または章開始ページの前にタブが挿入されます。**タブ編集**ウィンドウが自動で表示され、タブテキストフィールドには各ブックマークのタイトルが自動的に入力されます。インポートした PDF にブックマークが設定されている場合、または章開始が設定されている場合にのみ有効にされます。
テキストを挿入	選択したブックマーク段階のすべてのページにブックマークのタイトルが挿入されます。**ページ番号およびスタンプ**ペインが自動的に開き、タブテキストフィールドが各ブックマークのタイトルに自動的に入力され

オプション	説明
	ます。インポートされた PDF にブックマークが設定されており、インポートされた PDF で章開始ページが使用できない場合にのみ有効にされます。

メモ：

- Fiery JobMaster では、6 段階まで PDF ブックマークをサポートしています。
- 同じ段階のブックマークが 2 つ以上ページに表示されている場合、最初のブックマークのみが使用されます。
- ページに 2 つ以上異なる段階のブックマークがある場合は、最も高い段階のブックマークのみが認められます。たとえば、段階 1 と段階 2 のブックマークがページにあり、段階 2 のブックマークを選択すると、章とブックマークのアクション機能はこのページを無視します。
- ブックマークのタイトルがタブイヤーテキストフィールドに収まらないほど長い場合、タイトルの両端が切れて表示されます。
- マルチバンクタブ機能はサポートされていません。複数のタブセットが Fiery サーバーでサポートされている場合、タブは常に最初のセットに挿入されます。
- **章とブックマークのアクション**を使用して挿入されたすべてのタブには、同じタブ設定とタブ用紙プリセットがあります。
- **章とブックマークのアクション**を使用してタブを挿入する場合も、**タブ挿入**機能を使用してタブを挿入できます。

タブが書類に追加されている場合、**ページ表示**ツールバーの**タブフィルター**アイコンを使用すると、タブ付きのページのみを表示できます。

Fiery JobMaster でのタブの挿入と編集

Fiery サーバーでタブ印刷がサポートされている場合は、タブを挿入し、タブのテキスト設定と用紙設定を指定できます。**タブ用紙**ウィンドウで、用紙設定をプリセットとして保存できます。カスタムタブを定義し、その設定をプリセットに追加できます。

1 つの書類で 2 つのタブスタイルを指定できます。長い書類では、これを利用して章と節を区別できます。複数のタブスタイルを書類に追加するには（116 ページ）を参照してください。

タブ用紙ウィンドウには、タブ部分の画像が寸法入りで表示されます。1 セット内のタブ数を変更した場合は、表示されたタブの寸法が変わります。1 セットに指定できるタブの数は最大 50 個です。

普通のページをタブ付きページに変換するには、ページの**タブに変換**オプションを選択します。

1. Command WorkStation でスプール済みの待機ジョブを右クリックし、**JobMaster** を選択します。
2. タブを挿入するには、**ページ表示**ウィンドウでページ（複数ページ可）を選択し、**アクション** > **タブ挿入**をクリックします。
3. タブを編集するには、**ページ表示**または**シート表示**ペインでタブを右クリックし、**タブ編集**をクリックします。

4 **タブ編集**ウィンドウで設定を指定します。

- **テキスト** - 書類に複数のタブがある場合は、設定するタブを選択します。タブにテキストを追加する際には、**Ctrl ＋右矢印キー**（Windows）または **Cmd ＋右矢印キー**（macOS）で、次のタブや前のタブを選択できます。
- **背景色** - 有効にするには**使用不可**ボタンをクリックします。
- **背景画像** - 背景画像には、BMP、JPEG（JPG）、PNG、TIFF（TIF）、または GIF ファイルを使用できます。タブ上に配置する背景画像を選択後、不透明度、拡大縮小、回転の指定と、タブのサイズに対するマージンの設定ができます。

5 用紙設定を指定するには、**用紙プリセット**フィールドの横の**編集**ボタンをクリックし、設定を次のように指定します。

- **タブ順** - タブを印刷する順序を指定します。
- **不使用タブ紙出力トレイ** - セット内のタブを一部のみ使用するジョブを印刷する場合に、この設定を使用します。たとえば、タブが 5 個あるセットで 3 個のタブしか使用しない場合、使用しない 2 個のタブが選択したトレイに出力されます。
- **タブシフト（タブに変換）** - 既存のページから変換されたタブに使用します。

6 （オプション）用紙設定をプリセットとして保存するには、**用紙プリセット**メニューの横の**プリセット保存**アイコンをクリックし、プリセットに名前を付けます。

プリセットは**タブ用紙**ウィンドウと、**タブ編集**ウィンドウに表示されます。

メモ：デフォルトでは、**タブ用紙**ウィンドウ内のカスタム用紙プリセットは、英数字で昇順にソートされます。

7 **タブ用紙**ウィンドウで **OK** をクリックします。

8 **タブ編集**ウィンドウで **OK** をクリックします。
タブが書類に追加されている場合、**ページ表示**ツールバーの**タブフィルター**アイコンを使用すると、タブ付きのページのみを表示できます。

複数のタブスタイルを書類に追加するには

Fiery JobMaster では複数のタブスタイルを書類に追加できます（ご使用のプリンターがこの機能をサポートしている場合に限ります）。また、さまざまなタブスタイルをネスティングできます（ご使用のプリンターがこの機能をサポートしている場合に限ります）。

スプール済みジョブを Fiery JobMaster にインポートします。

複数のタブスタイルを作成してから、タブの挿入か既存ページのタブへの変換を単一ジョブで行って、タブスタイルを割り当てることができます。

1 **ページ表示**ペインで、以下のいずれかを実行します。

- 書類内の既存ページを変換する場合に、右クリックして**タブに変換**を選択する
- 新しいタブを挿入するには、ページを右クリックし、**タブ挿入**>「新規作成」を選択する（クリックしたページの前にタブが挿入されます）

ご使用のプリンターが複数のタブスタイルをサポートしている場合、使用可能なタブスタイルの一覧が表示されます。**新規作成**オプションが使用可能な場合は、これをクリックして新しいタブスタイルを作成することもできます。

2 指定するタブスタイルを選択します。

3 タブを追加し、使用可能ないずれかのスタイルを選択する作業を繰り返します。また、以下の作業を行うことができます。

- タブ用紙を変更する場合に、タブページを右クリックし、**タブ用紙変更**を選択する
- タブページを右クリックし、**タブ編集**を選択してタブスタイルを変更する（Fiery JobMaster でのタブの挿入と編集（115 ページ）を参照してください）
- **タブ編集**ウィンドウの**複数のタブセットをネスティングする**を選択して、複数のタブセットをネスティングする

  メモ：このオプションを選択しない場合、各タブスタイルは、それらがジョブにおいてどこに配置されていても、順番に割り当てられます。次の例を確認してください。

4 特定のページに対して選択したタブスタイルに関する情報を表示するには、そのタブページをクリックします。

以下は、タブスタイルの情報に使用される用語とその説明です。

- タブイヤー：用紙の端からはみ出している個々の部分
- タブバンク：一連の個々のタブイヤーのうち、多くの場合用紙の一端全体にわたるもの
- タブカット：タブバンク内にある特定のタブの位置
- タブセット：同じタブスタイルが指定され 1 つのタブのセットを構成する、複数のバンク
- タブスタイル：タブセットの用紙属性（イヤー数、最初のタブのオフセット、閲覧順）

単一ジョブに複数のタブスタイルをネスティングする場合、選択された 2 番目のタブスタイルを使用しているタブは、1 番目のタブスタイルのタブバンク内にネスティングされます。たとえば、3 つのタブセットを含む「タブバンク 1」をジョブの最初から数えて 1 番目と 2 番目のタブに割り当てます。そして、5 つのタブセットを含む「タブバンク 2」をジョブの 3 番目と 4 番目のタブに割り当てます。ジョブの 5 番目のタブを「タブバンク 1」に割り当てると、このタブはそのタブバンク内で「位置 3」となります。次に、ジョブの 6 番目のタブを「タブバンク 2」に割り当てると、このタブはそのタブバンク内で「位置 1」となります。ジョブ内で「タブバンク 2」の 1 番目のタブを「タブバンク 1」の 1 番目のタブの前に移動すると、「タブバンク 2」がプライマリスタイルとなり、「タブバンク 1」は「タブバンク 2」内にネスティングされます。タブバンク内の未使用のタブには、**タブ用紙**ウィンドウの**不使用タブ紙出力トレイ**オプションを使用します。

複数のタブスタイルを単一ジョブにネスティングしない場合は、各タブスタイルのタブがジョブで順番に割り当てられます。そして、上記の「タブバンク 1」と「タブバンク 2」の例における、「タブバンク 2」に割り当てられたジョブ内の 6 番目のタブが、そのタブバンクの「位置 3」となります。

Fiery JobMaster のブリードエッジタブ

ブリードエッジタブはタブ上ではなく、そのページに直接印刷されます。タブはトリムボックスに基づいて定義されたページの端を 1/8 インチ外側へ拡張します。ブリードエッジタブは任意の場所に配置でき、異なる内容を各タブセットに指定することもできます。

ブリードエッジタブは書類のページに適用されます。ブリードエッジタブを含んだページの前にページが追加または削除されると、ブリードエッジタブの**リスト**ビューのページ範囲がアップデートされ、新しい位置が

そのジョブの既存ページに反映されます。ブリードエッジタブのページ範囲に含まれるページ内でページの追加削除があった場合は、ページの変更を反映してページ範囲が変更されます。

ブリードエッジタブは次の種類のページには追加できません。

- 挿入されたシート
- 挿入されたタブ
- 間接的ブランク
- タブに変換されたページ

ジョブにブリードエッジタブを追加するには、最初にその内容を設定してからタブの位置を設定します。設定した内容と位置はプレビューできます。

「ブリードエッジタブ」ウィンドウの操作ツール

ブリードエッジタブウィンドウには以下を含むツールが備わっています。

- ：画像を選択します。
- ：画像を移動します。
- 100%：ズーム値を指定するか、アイコンをクリックして、ページサイズをプレビューウィンドウに合わせることができます。

また、ナビゲーション用矢印を使用するかページテキストフィールドにページ番号を入力すると、ページを移動できます。

ブリードエッジタブの内容の設定

Fiery JobMaster では、ブリードエッジタブのセットを定義し、スタイルの決まったテキスト、背景色、および画像を追加できます。

1 Command WorkStation の**待機**リストのジョブを選択し、**アクション** > **JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインで任意のページを選択し、**アクション** > **ブリードエッジタブ編集**を選択します。

ブリードエッジタブウィンドウで設定を指定する際、**プレビュー**をクリックすると設定内容をプレビューできます。

3 **ブリードエッジタブ**ウィンドウで**内容**タブから**リスト**を選択します。

4 **開始**と**終了**フィールドでページ番号を入力して、ブリードエッジタブを適用する範囲を指定します。**Enter** を押して次のセットの行を作成します。

ページ範囲は連続ページで、かつ重ならないようにしてください。章の開始からの数ページを省略できます。ページ範囲を削除するには、範囲を選択し、ウィンドウの下部にあるマイナス（-）ボタンを選択します。

5 特定の範囲内のすべてのブリードエッジタブにテキストを指定するには、範囲を選択し、**タイプ**テキストフィールドにテキストを入力します。フォントや方向などのテキスト設定を行います。

6 背景を塗りつぶす場合は、色および不透明度（%）を選択します。

背景オプションを有効にするには、**使用不可**ボタンをクリックします。

7 すべてのタブに画像を追加するには、**使用不可**ボタンをクリックして**画像**領域を有効にしてから画像を選択します。

使用可能な画像のファーマットは BMP、JPEG、TIFF、TIF、GIF、および PNG です。不透明度やタブのサイズに対するマージンのなどの設定もできます。

8 適用するタブのセットとスタイルを指定して**すべてにスタイルを適用**ボタンをクリックします。

デフォルトでは、スタイルは現在のセクションにあるタブのみに適用されます。**同じ位置にあるタブに対してスタイルを適用する**を選択すると、チェックを入れた項目が同じ位置にあるすべてのタブセクションにも適用されます。

ブリードエッジタブの位置の指定

Fiery JobMaster の**ブリードエッジタブ**ウィンドウでは、最終出力でのブリードタブの位置を指定できます。指定した位置はジョブ内のすべてのタブに適用されます。

1 Command WorkStation の**待機**リストでジョブを選択し、**アクション** > **JobMaster** を選択します。

2 **ページ表示**ペインでジョブの任意のページを選択し、**アクション** > **ブリードエッジタブ編集**を選択します。

3 **ブリードエッジタブ**ウィンドウで**位置**タブを選択します。

4 設定を指定します。**プレビュー**をクリックすれば、いつでも設定を確認することができます。

- **タブ数** - 最大 99 個のタブを指定できます。
- **用紙サイズ** - 出力する用紙サイズとプレビューを変更します。

  メモ：トリムボックスの値により、**ページ編集**機能内の元の PDF ファイル設定やトリムボックスの設定での定義に従ってブリードエッジタブが書類の横にあるトリムボックスに沿って配置されるように指定します。
- **印刷領域** - **自動**を使用すると、タブイヤーの高さと幅が用紙サイズ、タブ数、タブ間の距離に基づいて設定されます。異なる高さや幅を指定するには、**カスタム**を使用します。
- **反復スタイル** - ページに対するタブの配置パターンを変更します。

画像編集

この機能を使用すると、サードパーティ製の画像エディターアプリケーションが起動され、インポートしたスキャンページの編集が可能になります。

ビットマップ画像を編集するためのデフォルトのアプリケーションは、Windows は Microsoft ペイント、macOS はプレビューです。

デフォルトのアプリケーションは、**環境設定**ウィンドウの **JobMaster** タブで上書きできます。使用可能なアプリケーションは、**画像編集アプリケーション**ドロップダウンリストに表示されます。

たとえば、Microsoft ペイントがデフォルトのアプリケーションとして設定されている場合、**ページ表示**ペインでページを右クリックすると、**ペイントで編集**がオプションとして使用できます。

次の制限が適用されます。

- この機能を使用できるのは、ページに 1 つのスキャン画像が含まれ、その他の内容が含まれていない場合に限られます。
- 編集した画像は、元の画像と同じファイル名およびファイルの種類で保存する必要があります。そうしないと、Fiery JobMaster は、保存されたファイルを検出できません。
- 編集した画像は、フラット画像ファイルでなければなりません。画像編集アプリケーションによるレイヤーまたはオブジェクトの追加は、サポートされていません。
- Fiery JobMaster は、一般的に使用される画像編集機能の大部分をサポートしています。外部の画像編集アプリケーションでは、Fiery JobMaster と互換性のない機能がサポートされている場合があります。

トラブルシューティング Fiery Impose、Fiery Compose および Fiery JobMaster

より詳細な情報やサポートが必要な場合、登録ユーザーは Fiery Communities で質問できます。